ユーザー ガイド

日本語

レイヤー PDF バージョニング

Prinergy 3.0 用

731-00598A-JA Rev D

www.creo.com

レイヤー PDF バージョニング

Prinergy 3.0 用

ユーザー ガイド

creo™

目次

1 はじめに 1

このガイドの対象読者 2
このガイドの構成 2
新機能とその説明 3
必要なソフトウェアとライセンス 4
レイヤー PDF バージョニング 5
LPV の利点 5
レガシー バージョニングと LPV の違い 6
お問い合わせ 6

2 LPV の用語と概念 7

バージョニングに関する用語 8
LPV を理解する 10
バージョン プランの作成 10
リファイン済みページのリンク 13
バージョン ページの生成 15
レイヤーと版の違い 15
複数のベース 17
入力ファイルの必要条件 19
サポートされる入力ファイルのタイプ 19
サポートされる入力ファイル モデル 20
表記上の規則 20
カテゴリ 1 21
カテゴリ 2 22
2 つのベースを持つモデル 23

3 LPV ジョブの設定 25

はじめに 26
基本的な操作の概要 26
基本的な作業手順 27
LPV ジョブを作成する 28
LPV ジョブを作成する 28
テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成する 29
スマート ホット フォルダを使用して LPV ジョブを作成する 31
ジョブのタイプを切り替える 31
入力ファイルを追加してリファインする 33
LPV でのリファイン済みページの条件 33
代替ワークフロー 34
バージョン プランを作成する 35
バージョン プランの必要条件 35
バージョン プランを作成する 2 つの方法 36

クイック ビルダーを使用してバージョン プランを作成する ... 36
バージョン プランを変更する ... 37
バージョン ページを追加する ... 41
リファイン済みページをリンクする ... 43
リファイン済みページをリンクする ... 43
リンク方法 ... 46
行にリンクする ... 50
列にリンクする ... 51
リファイン済みページのリンクを解除する ... 53
関連付けられているページのリストを表示する ... 53
バージョン ページを生成する ... 54
生成プロセス ... 54
生成プロセス テンプレート ... 55
バージョン ページを生成する ... 58
生成ステータスを監視する ... 59
再生成を必要とする変更 ... 59
生成ステータスを表示する ... 59
生成の警告を調査する ... 62
エラー レイヤーのオブジェクト ... 62
関連付けられているリファイン済みページを修正する ... 63
生成されたページを Acrobat で表示する ... 65
バージョン ページをページ セットまたは面付けプランに割り当てる ... 67
バージョニング ホワイト オブジェクト ... 68

4 LPV ジョブから出力する 71

はじめに ... 72
出力オプション ... 73
すべてまたは選択したバージョンを出力する ... 74
すべてのバージョンを重ねる ... 74
1 つの面に複数のバージョンを出力する ... 75
バージョニング プルーフへのカラー割り当て ... 77
PDF ベクター ファイルを出力する ... 78
Virtual Proofing System ファイルを出力する ... 79
最終出力と版の指定 ... 80
可変マーク ... 82
Prinergy の指定による出力ファイル名 ... 84
出力ファイル名の最良の設定 ... 84
LPV ジョブのインポートおよびエクスポート ... 87
ハブ&スポークのワークフロー ... 87

5 LPV ジョブの自動化 89

はじめに ... 90
リファイン済みページを自動的にリンクする ... 91
ページ名パターン ... 93
後方参照を使用する ... 97

テンプレート ジョブのページ名パターン 100
リファイン済みページを設定してバージョン ページに自動リンクさせる 100
バージョン ページをページ セットへ自動的に割り当てる 102
ルール ベースの自動処理を使用する 102

A 入力ファイル モデルの動作と構造 103

入力ファイル モデルの動作と構造 104
モデル 1 のシナリオ 104
モデル 2 のシナリオ 106
モデル 3 のシナリオ 108
モデル 4 のシナリオ 109
モデル 5 のシナリオ 111

用語集 113

索引 121

著作権

Copyright © 2006 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本ドキュメントの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本ドキュメントは、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内利用を目的として PDF ファイルからマニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Distiller、Photoshop、PostScript、および PageMaker は、Adobe Systems, Inc. の商標です。

Apple、iMac、Power Macintosh、AppleShare、AppleTalk、TrueType、ImageWriter および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

PANTONE、Hexachrome、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は、Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLsetter、PEARLhdp、PEARLdry、および PEARLgold は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX®、The Document Company®、および digital X® は XEROX CORPORATION の商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「使用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害（損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません）、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、（ii）購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、（iii）製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、（iv）第三者の声明または行為、（v）製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

火曜日、2006 年 11 月 21 日

本ドキュメントのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本ドキュメントの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本ドキュメントにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害（本ドキュメンの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません）についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,412,737	5,699,174	6,014,471	6,189,452	6,396,422	6,579,660
D478,608	5,420,702	5,699,740	6,016,752	6,191,882	6,407,849	6,587,211
4,558,302	5,420,722	5,708,736	6,043,865	6,204,874	6,409,331	6,589,710
4,743,091	5,459,505	5,713,287	6,060,208	6,205,364	6,414,755	6,590,635
4,992,864	5,473,733	5,742,743	6,063,528	6,208,369	6,422,801	6,593,064
5,049,901	5,481,379	5,764,374	6,063,546	6,214,276	6,425,565	6,601,888
5,113,249	5,488,906	5,771,794	6,072,518	6,217,965	6,430,136	6,605,407
5,132,723	5,508,828	5,785,309	6,090,529	6,252,241	6,435,091	6,609,459
5,155,782	5,509,561	5,802,034	6,093,447	6,252,522	6,441,914	6,611,363
5,157,516	5,517,359	5,813,346	6,096,461	6,255,033	6,443,571	6,618,187
5,177,724	5,519,852	5,818,498	6,098,544	6,260,482	6,450,092	6,628,435
5,208,818	5,576,754	5,854,883	6,107,011	6,266,080	6,456,396	6,632,584
5,208,888	5,579,115	5,861,904	6,112,663	6,266,134	6,471,335	6,637,329
5,247,174	5,583,551	5,861,992	6,115,056	6,267,054	6,476,342	6,637,860
5,249,067	5,592,309	5,875,288	6,116,160	6,268,948	6,476,931	6,640,713
5,283,140	5,594,556	5,894,342	6,121,996	6,270,204	6,477,955	6,641,772
5,291,273	5,600,448	5,900,981	6,130,702	6,283,589	6,493,064	6,641,978
5,305,091	5,608,822	5,934,196	6,134,393	6,295,076	6,494,965	6,646,669
5,323,248	5,615,282	5,946,426	6,136,509	6,299,572	6,503,691	6,648,468
5,325,217	5,625,397	5,947,028	6,137,580	6,318,266	6,509,903	6,652,088
5,339,176	5,625,766	5,958,647	6,147,789	6,328,408	6,511,163	6,654,147
5,343,059	5,636,330	5,966,504	6,158,345	6,336,708	6,520,084	6,660,997
5,355,446	5,649,220	5,969,872	6,159,659	6,340,817	6,530,317	6,661,561
5,359,451	5,650,076	5,973,801	6,164,637	6,352,816	6,541,181	6,665,048
5,359,458	5,652,804	5,986,819	6,165,658	6,353,216	6,544,336	6,665,121
5,367,360	5,680,129	5,995,475	6,180,325	6,366,339	6,545,772	6,670,986
5,384,648	5,691,823	5,996,499	6,181,362	6,371,026	6,550,388	6,684,783
5,384,899	5,691,828	5,998,067	6,181,439	6,377,739	6,564,018	6,704,123
5,412,491	5,696,393	6,003,442	6,186,068	6,387,597	6,567,713	

Creo Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話：+1.604.451.2700
FAX：+1.604.437.9891

http://www.creo.com
731-00598A-JA Rev D

Revised 2006 年 11 月

1 はじめに

このガイドの対象読者 2
このガイドの構成 2
必要なソフトウェアとライセンス 4
レイヤー PDF バージョニング 5

このガイドの対象読者

このガイドの内容は Prinergy 3.0 のレイヤー PDF バージョニング (LPV) 機能を使用または管理するユーザーを対象としています。このガイドでは、Prinergy システムに特有の機能の使用方法について説明し、その処理手順を示します。

このガイドを使用するには、次の条件が必要になります。

- プリプレスの作業についての実際上の知識を持っていること
- Prinergy の操作、特に Prinergy プロセス テンプレートを設定してオーバープリント、ノックアウト、および透明性などの問題を解決する方法について十分に理解していること
- Windows または Macintosh オペレーティング システムの使用に精通していること

このガイドでは、次の点を想定しています。

- Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべて適切にインストールされ、ライセンスを取得し、設定され、さらに動作していること。
- Creo システムへ送信されたファイルに、フォントの不足や PostScript エラーなど、通常プリフライト中に解決されるような一般的なエラーがないこと。

このガイドの構成

このガイドの構成は、次のとおりです。

第 1 章の「はじめに」— レイヤー PDF バージョニングや必要なライセンスの説明など、総括的な情報を示します。

第 2 章の「LPV の用語と概念」— バージョニングの用語を定義し、バージョニングの概念について説明します。さらに入力ファイルの必要条件とモデルについても定義します。

第 3 章の「LPV ジョブの設定」— LPV ジョブを設定するために必要なタスクについて説明します。

第 4 章の「LPV ジョブから出力する」— LPV ジョブを出力する場合に利用できるタスクとオプションについて説明します。

第 5 章の「LPV ジョブの自動化」— LPV ジョブでタスクを自動化する方法をリストアップし、ページ名パターンを定義してバージョンページを自動的に作成する方法について説明します。

付録 A の「入力ファイル モデルの動作と構造」— 入力ファイル モデルごとのリンク作業のシナリオについて説明します。

新機能とその説明

Prinergy 3.0.3.0 以降、レイヤー PDF バージョニングは、次のように更新されています。

- 通常のバージョニング ジョブとレガシー バージョニング ジョブの LPV ジョブへの切り替えについての情報。詳細については、31 ページを参照してください。
- バージョン プラン レイヤーの 1 つの色版への 2 つのカラーの抽出についての情報。詳細については、40 ページを参照してください。
- ［バージョン ページ］表示に搭載されたステータス選択バー。詳細については、44 ページを参照してください。
- ドラッグ&ドロップによるリンク機能。詳細については、47 ページを参照してください。
- ［リンクページ］ダイアログ ボックス ―［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスと［**バージョン ページへのリンク**］ダイアログ ボックスは、［**ページのリンク**］ダイアログ ボックスからアクセスする仕様になりました。詳細については、48 ページを参照してください。
- ［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスの、追加レイヤーへリンクするための新規チェック ボックス。詳細については、51 ページを参照してください。
- バージョン付きのホワイト オブジェクトについての情報を 68 ページに追加。
- 新しい機能：1 つの面に異なるバージョンを出力できます。詳細については、75 ページを参照してください。
- 新しい機能：共通オブジェクトとは別に、差し替えオブジェクトを異なるカラーでプルーフに出力できます。詳細については、77 ページを参照してください。
- Virtual Proofing System のバージョンごとに色版を表示するための説明を 79 ページに追加。
- 「第 3 章 入力ファイルの必要条件とモデル」が「第 2 章 LPV 用語と概念」に入りました。入力ファイルのモデルに特有のリンク情報が「付録 A」に入りました。
- LPV ジョブをインポートした後の変更を LPV 表示で見るために、ウィンドウを手動で更新する必要がなくなりました。
- ［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスの［バージョン ページの範囲］ボックスで、必要なページを複数のバージョン ページにリンクする方法の説明をを 52 ページに追加。

必要なソフトウェアとライセンス

レイヤー PDF バージョニング ソフトウェアを実行するには、システムを Prinergy 3.0.3 またはそれ以降のバージョンにアップグレードし、Prinergy のライセンス「Regional Versioning」を追加する必要があります。

Prinergy のバージョニングには、Prinergy レガシー バージョニング システムと、レイヤー PDF バージョニング システムの 2 つのバージョニング システムがあります。

レイヤー PDF バージョニングは Macintosh OS 9 システムでは利用できません。

ライセンス オプション

Prinergy バージョニング システムのライセンス オプションは以下のとおりです。

- Prinergy レイヤー PDF バージョニング システム：
  - Prinergy でページの割り当てを自動化するには、APA（自動ページ割り当て）のライセンス「Advanced Production Automation」（パーツ ナンバー：22-0174）が必要です。

    注意：リファイン済みページを自動リンクし、同じ APA 構文を使用してバージョン ページを作成する場合は、APA のライセンスは必要ありません。
  - バージョン ページの生成を Prinergy で自動化するには、ライセンス「Rules Based Automation」（パーツ ナンバー：632-00289A）が必要です。
- Prinergy レガシー バージョニング システム：プルーフ用にバージョニングされた色版をマージするには、ライセンス「Color Proofing System (CPS) ソフトウェア」（パーツ ナンバー：20-0065）が必要です。

ライセンスの詳細については、Creo の担当営業までお問い合わせください。

レイヤー PDF バージョニング

レイヤー PDF バージョニング (LPV) は、入力ファイルの必要条件がフレキシブルで、手動で対処しなくても複数のバージョンを効率的に出力できるプリプレス バージョニング システムです。LPV はリファイン済みページからカラー別にオブジェクトを抽出し、必要に応じてオブジェクトをマージし、複数のバージョン（または版）を出力するシステムです。

LPV の利点

Prinergy LPV は、次の機能をサポートしています。

- さまざまな入力ファイル モデルと、それに対応するワークフローをサポートします。
- バージョン プランでバージョンとレイヤーを管理します。
- 新しいタイプの Prinergy レイヤーにより、リファインしたページの各版から差し替えるオブジェクトを抽出します。
- 次の機能により、オペレータの操作を簡略化します。
  - 1 回のプロセスですべてのバージョンのプレートを出力
  - 物理的またはデジタルでの二重焼きを行わないための簡略化された最終出力プロセス
  - 出力する版を選択したり選択解除することで生じる問題を解消するための簡略化された出力プロセス
  - 1 回のプロセスですべてのバージョンのプレートを出力、または各バージョンのプルーフを出力
  - 面付けプランを何度もインポートする必要がない
- 版と同じプルーフを出力できます。
- すべてのバージョンまたは選択したバージョンを重ねてプルーフを出力できます。これにより、バージョン ファイルの版をまとめることができます。（プルーフィングでは、Creo Proofing System ソフトウェア（CPS）がなくても、バージョン ファイルの各版をまとめることができるようになりました。）
- 1 つの面に複数のバージョンを出力する機能

- レイヤー PDF 1.5 ファイルの複数のバージョンを Adobe Acrobat 6 またはそれ以降のソフトウェアで表示します。
- 自動化のサポート — さまざまなレベルの自動化をサポートしています。詳細については、第 5 章の「LPV ジョブの自動化」を参照してください。

レガシー バージョニングと LPV の違い

Prinergy のバージョニング機能には 2 種類あります。

- Prinergy レガシー バージョニング（Prinergy 2.1 から搭載）では、レイヤー、複数の面付けプラン、および色版を使用してバージョンの管理と出力を行います。



レガシー バージョニングの詳細については、『Prinergy Regional Versioning Workflow User Guide』**（英語版）を参照してください。**

- Prinergy レイヤー PDF バージョニング（LPV）は、Prinergy 3.0 からの新しいバージョニング機能です。

Prinergy 2.1 以降で作成された Prinergy バージョニング ジョブには、Prinergy レガシー バージョニング ワークフローを使用してください。Prinergy LPV では Prinergy レガシー バージョニング ジョブを処理できません。Prinergy レガシー バージョニング ジョブがない、または新規のバージョニング ジョブを作成する場合は、LVP を使用することをお勧めします。

お問い合わせ

- ドキュメンテーション、トレーニング コース、サービスとサポートの連絡先については、Creo の www.creo.com をご覧ください。

2

LPV の用語と概念

バージョニングに関する用語 8
LPV を理解する 10
複数のベース 17
入力ファイルの必要条件 19
サポートされる入力ファイル モデル 20

バージョニングに関する用語

このガイドに記載されている内容を理解するために、次の用語をご確認ください。

バージョン — 同じ出版における別のバリエーションと一部のオブジェクトが共通しており、一部のオブジェクトが固有となっている出版のバリエーション。

たとえば共通した画像を持つ出版物で、あるバリエーションが英語のテキスト、別のバリエーションがスペイン語のテキストになっている場合、それぞれ英語バージョン、スペイン語バージョンと呼ばれます。詳細については、図 1 を参照してください。

ベース オブジェクト — すべてのバージョンで同一の（共通の）ページ内容。

たとえば、2 つのバージョンの出版で同じ画像がある場合、ベース オブジェクトは共通の画像になります。

複数のエディションがあるジョブでは、それぞれのバージョンで異なるセットのベース オブジェクトを持つこともできます。

差し替えオブジェクト—1 つのバージョンでのみ使用するページ内容。

たとえば出版物に共通の画像があり、あるバリエーションには英語のテキストが、別のバリエーションにはスペイン語のテキストが付いている場合、差し替えオブジェクトは英語のテキストとスペイン語のテキストになります。

複数のエディションがあるジョブでは、差し替えオブジェクトはバージョンや版、またはその両方に固有のオブジェクトとなります。

レイヤー — ページを構成する複数のオブジェクトを含む層。ページのレイヤーはそれぞれ、そのページの他のレイヤーと同じページ仕様となっていますが、オブジェクトは異なっています。ページには通常 2 つ以上のレイヤーが含まれます。詳細については、図 1 を参照してください。

ベース レイヤー — ベース オブジェクトを含むレイヤー。

差し替えレイヤー — 差し替えオブジェクトを含むレイヤー。

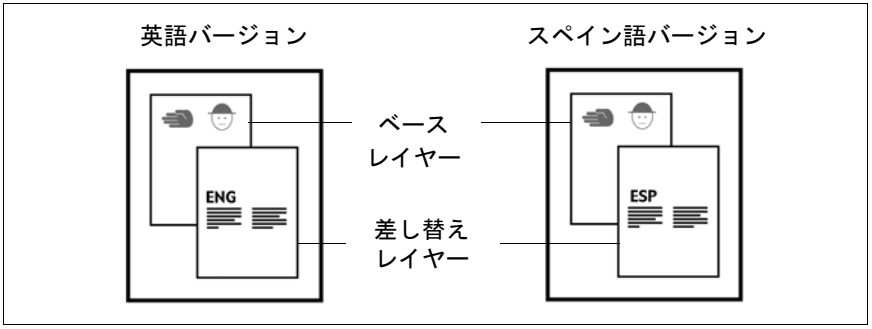


図 1: バージョンとレイヤー

バージョン ページ — ページの全バージョンを構成する、リファインされたページの集まり。各バージョンに必要なレイヤーがすべて含まれます。

版 — 版とはバージョンのセットであり、同じ出版の別のセットのバージョンとは異なるベース オブジェクトを持っています。基本的には、1 つのバージョン内にバージョンが複数ある場合にエディションと呼びます。各エディションには複数のバージョンが含まれます。詳細については、図 2 を参照してください。

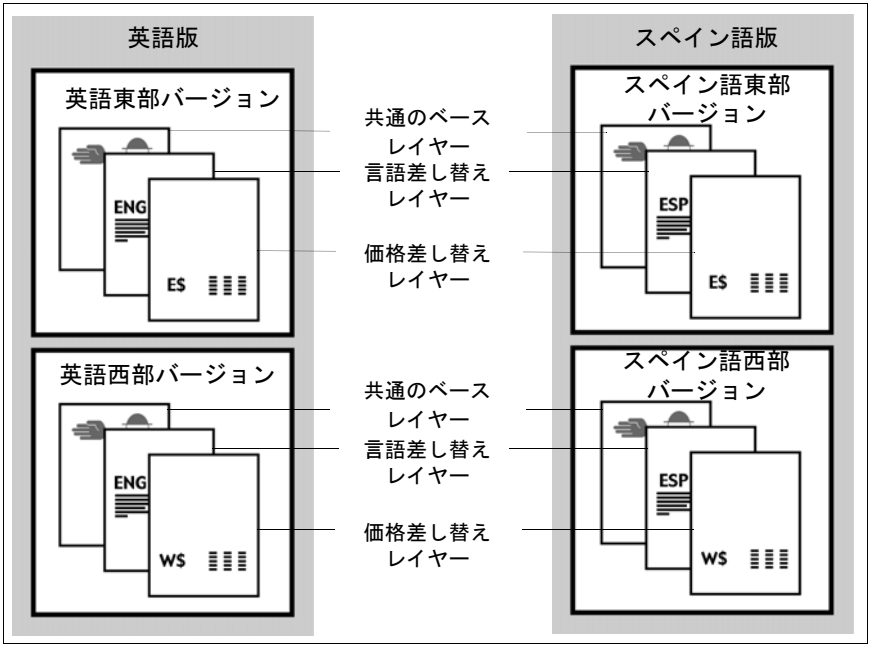


図 2: 異なるバージョンを含むエディション — 英語版とスペイン語版にはそれぞれ東部価格設定と西部価格設定の 2 つのバージョンがあります。

LPV を理解する

LPV ワークフローを理解するために、次の新しい Prinergy タスクを理解する必要があります。

- バージョン プランの作成。詳細については、次の「バージョン プランの作成」を参照してください。
- リファイン済みページのバージョン ページへのリンク。詳細については、13 ページの「リファイン済みページのリンク」を参照してください。
- バージョン ページの生成。詳細については、15 ページの「バージョン ページの生成」を参照してください。

レイヤーと版の関連についても理解する必要があります。詳細については、15 ページの「レイヤーと版の違い」を参照してください。

ここでは概念について説明します。手順の詳細については、「第 3 章、LPV ジョブの設定」を参照してください。

ショップ カタログの例

LPV ジョブでの動作について説明するために、バージョニング ジョブの例を挙げて説明します。この例は、エディションについての定義と図 2 で紹介されています。



注意 : 以下の例は、このガイド全体を通して使用します。

小売業者がカタログを英語とスペイン語の 2 つのエディションで発行しようとしています。これらのエディションにはそれぞれ東部価格と西部価格の 2 つのバージョンがあります。価格は言語によって変わりません。このため、ジョブで必要な西部価格レイヤーと東部価格レイヤーはそれぞれ 1 つだけです。すべてのバージョンで同じ画像がベース オブジェクトとして使用されます。

バージョン プランの作成

バージョン プランは、LPV ジョブの各バージョンに必要なレイヤーの構成を設定するための表です。バージョン プランはプロダクション プランに類似しています。

バージョン プランを作成するには、次を実行します。

- ジョブに必要なバージョンを設定します。
- 各バージョンに必要なレイヤーを設定します。
- 次の方法でレイヤーごとにオブジェクトを定義します。
  - レイヤーごとのオブジェクトを識別するために、リファイン済みページから使用するカラーを選択します。
  - レイヤーそれぞれの最終出力（プレート）カラーを指定します。

ショップ カタログの例では、次のようなバージョン プランを作成する必要があります。

- 4 つのバージョン（EngEast、EngWest、EspEast、EspWest）
- 5 つのレイヤー（画像には共通、英語テキストには Eng、スペイン語テキストには Esp、東部価格設定には East、西部価格設定には West）

必要な情報



重要：レイヤーそれぞれのオブジェクトを定義するには、リファインされた各ページにあるカラー、そのカラーが意味するオブジェクト、およびオブジェクトが変換される最終カラー（プレート）を識別する必要があります。

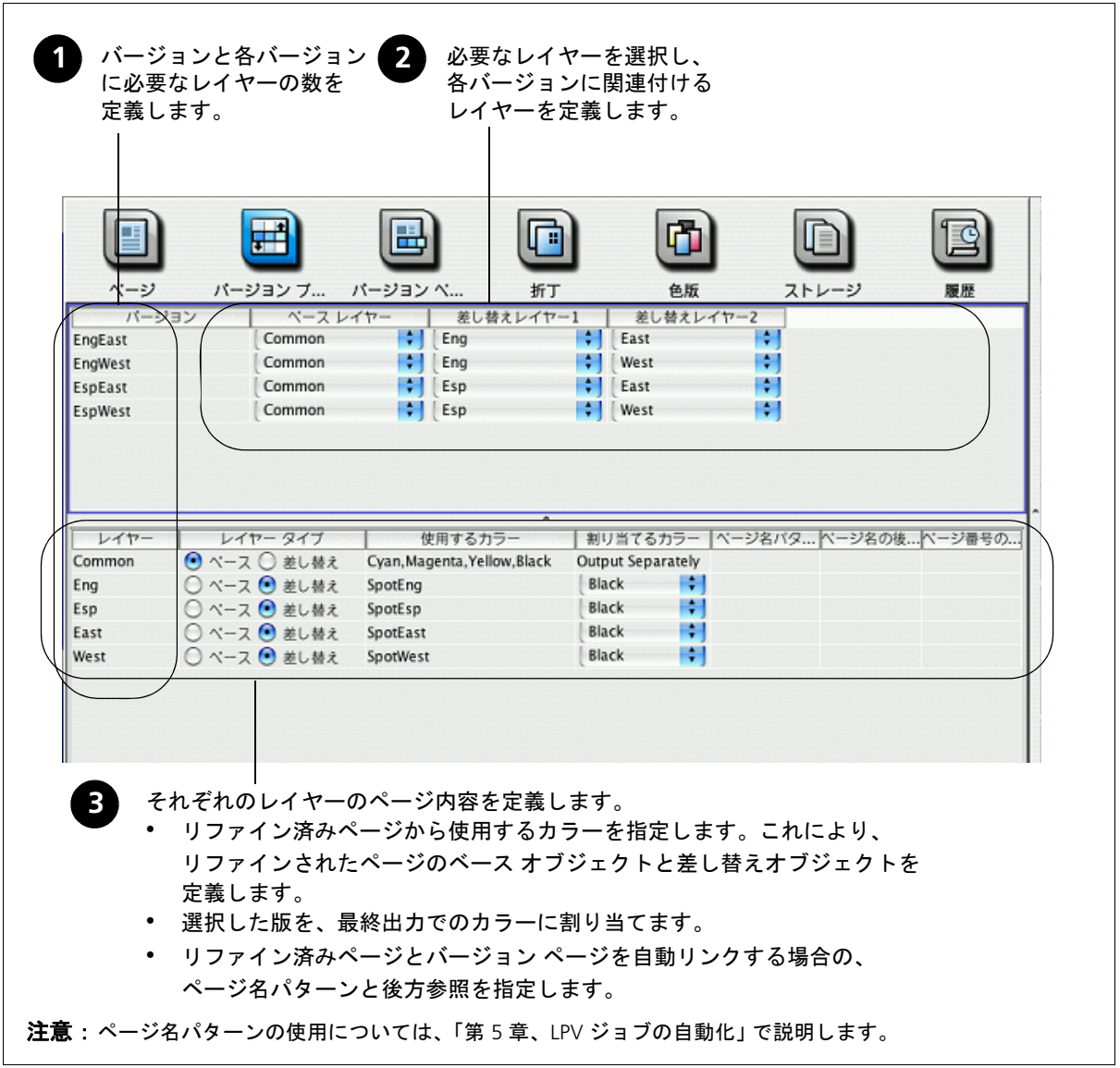
この例では、次の情報が必要です。

リファイン済みページのカラー	対応するページ内容
CMYK	共通オブジェクト
SpotEng	英語テキスト
SpotEsp	スペイン語テキスト
SpotEast	東部価格設定
SpotWest	西部価格設定

また、どのページ内容をどのカラー（版）に割り当てるかを決める必要があります。この例では、差し替えオブジェクトはすべてブラック版に印刷し、ベース オブジェクトは CMYK で印刷する必要があります。

この例では画像がすべてのバージョンで共通しているため、ベースレイヤーは 1 つです。

次の図は、このショップ カタログの例でのバージョン プランです。



注意：ページ名パターンの使用については、「第 5 章、LPV ジョブの自動化」で説明します。

図 3: バージョン プラン

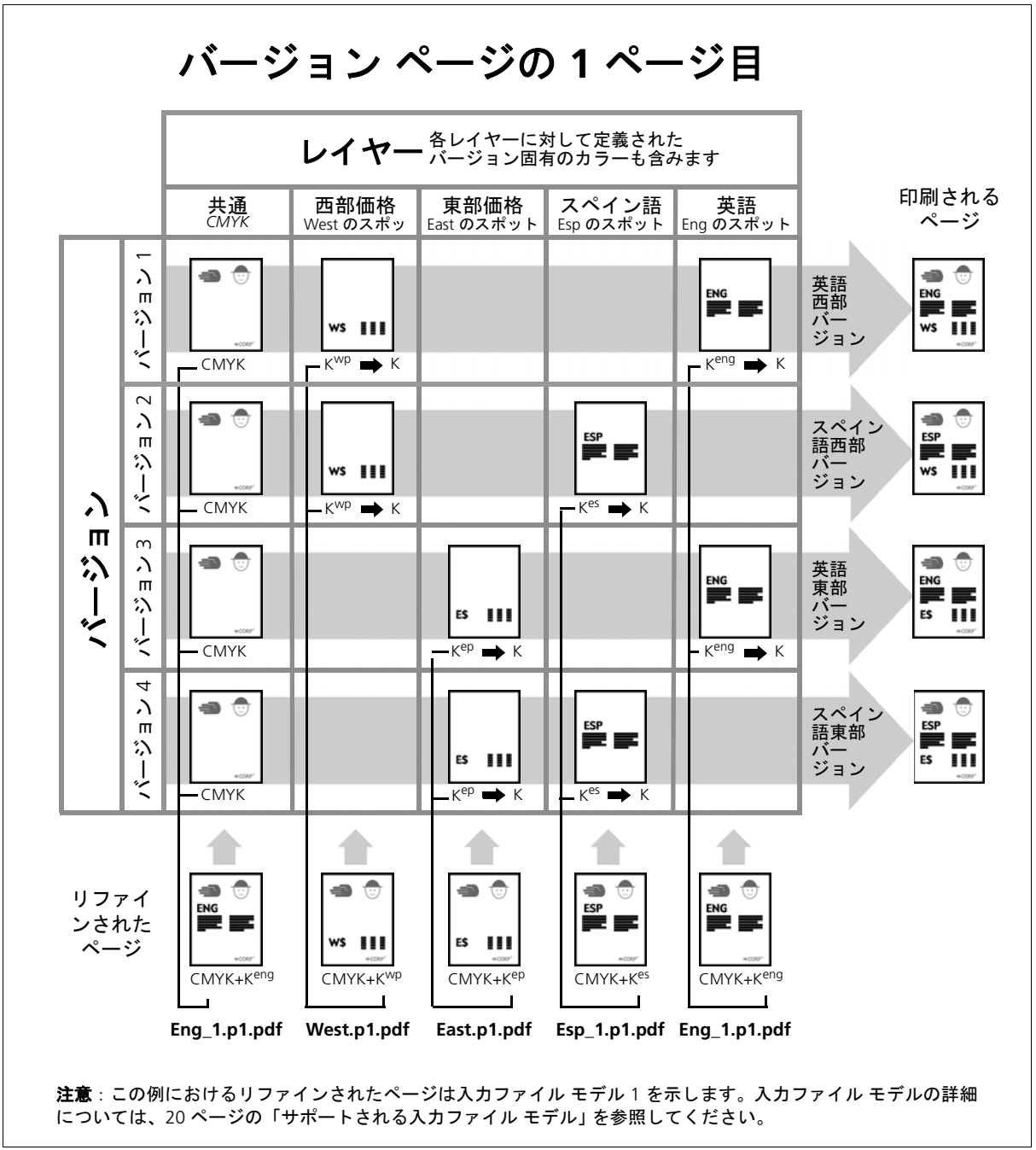
リファイン済みページのリンク

リンクはバージョン プランが作成された後に実行されます。リンクは、リファインされたページをバージョン ページの適切なレイヤーに関連付けます。これにより、Prinergy はレイヤーに含めるページ オブジェクトをどのファイルから抽出するのかを識別します。

次の表は、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目の各レイヤーに、リファイン済みページをリンクする方法です。

リファイン済みページ	リンク先
Eng_1.p1.pdf (この例では、リファイン済みページにはすべて画像オブジェクトが入っているため、どのページも共通レイヤーにリンクできます)	共通レイヤー
West.p1.pdf	West レイヤー
East.p1.pdf	East レイヤー
Esp_1.p1.pdf	Esp レイヤー
Eng_1.p1.pdf	Eng レイヤー

図 4 には、バージョンの 1 ページ目を、バージョン プランで指定されたレイヤーに基づいて作成する方法も示します。



注意：この例におけるリファインされたページは入力ファイル モデル 1 を示します。入力ファイル モデルの詳細については、20 ページの「サポートされる入力ファイル モデル」を参照してください。

図 4: バージョン ページの 1 ページ目の例（1 ページのすべてのバージョンで必要なレイヤーと関連付けられているページをすべて含む）

バージョン ページの生成

生成は、リファイン済みページをリンクして、各バージョン ページのレイヤー PDF ファイルを作成した後で行います。このタスクを実行するには、生成プロセス テンプレートを使用する必要があります。生成プロセスを実行した後は、出力プロセス テンプレートを使用してオブジェクトを出力し、Acrobat でバージョン ページを表示できます。

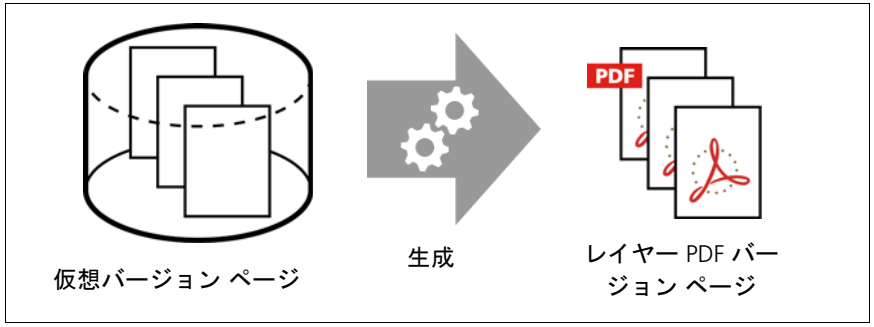


図 5: 生成プロセスによるメタデータのレイヤー PDF ファイルへの変換

詳細については、54 ページの「バージョン ページを生成する」を参照してください。

レイヤーと版の違い

Prinergy LPV のベース オブジェクトと差し替えオブジェクトのグループは、処理段階によって異なります。

- **バージョン プラン レイヤー** — バージョン プランで定義され、リファインしたページをリンクした後でページ内容に関連付けられる仮想レイヤー。
- **PDF レイヤー**—バージョン ページの生成後に作成される PDF 1.5 ファイルのレイヤー。PDF レイヤーは Adobe Acrobat 6.0 以降で表示できます。
- **分版された出力** — 最終出力または分版プルーフの出力プロセスを実行して作成されるプルーフまたはプレート。

ここでは概念について説明します。手順の詳細については、「第 3 章、LPV ジョブの設定」を参照してください。

次の図に、ショップ カタログの例を使用して、バージョン プラン レイヤー、PDF レイヤー、および版でのベース オブジェクトと差し替えオブジェクトの構成を示します。

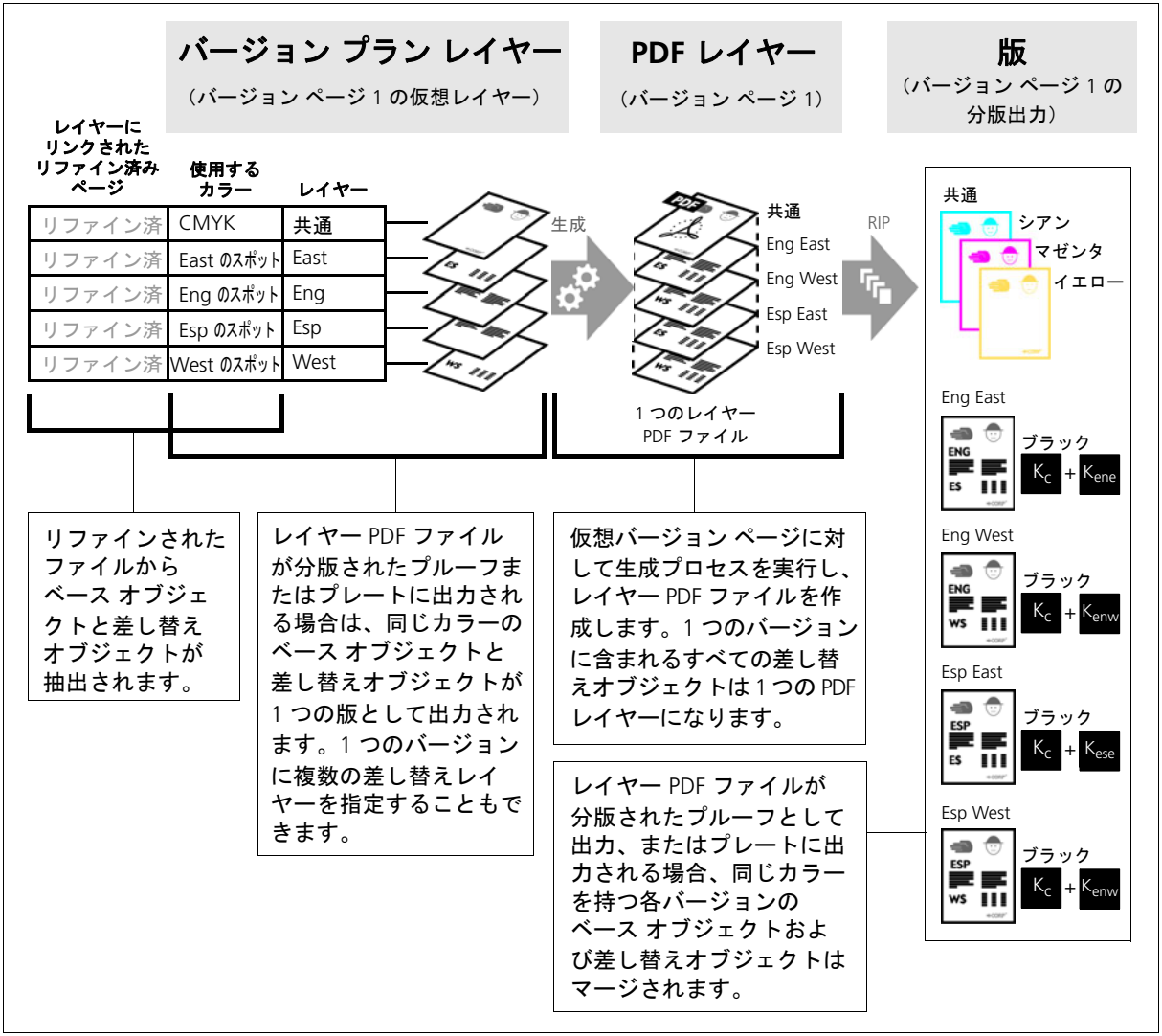


図 6: バージョン ページ 1 のバージョン プラン レイヤー、PDF レイヤー、および版の構成

複数のベース

必要に応じて、ジョブで複数のベースを使用できます。

たとえば、英語版とスペイン語版で画像が異なるショップ カタログを作成します。これには 2 つのベースが必要になります。

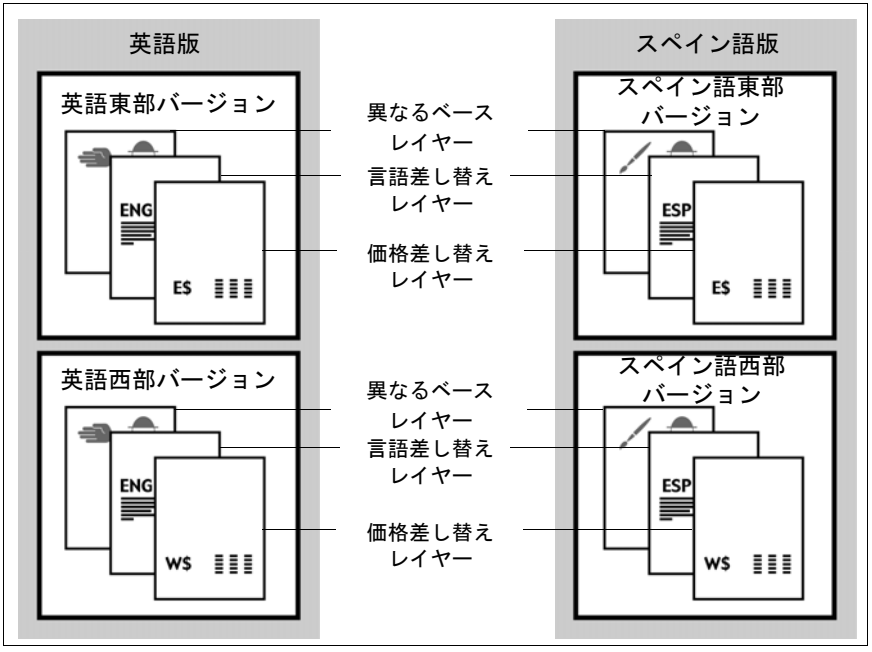
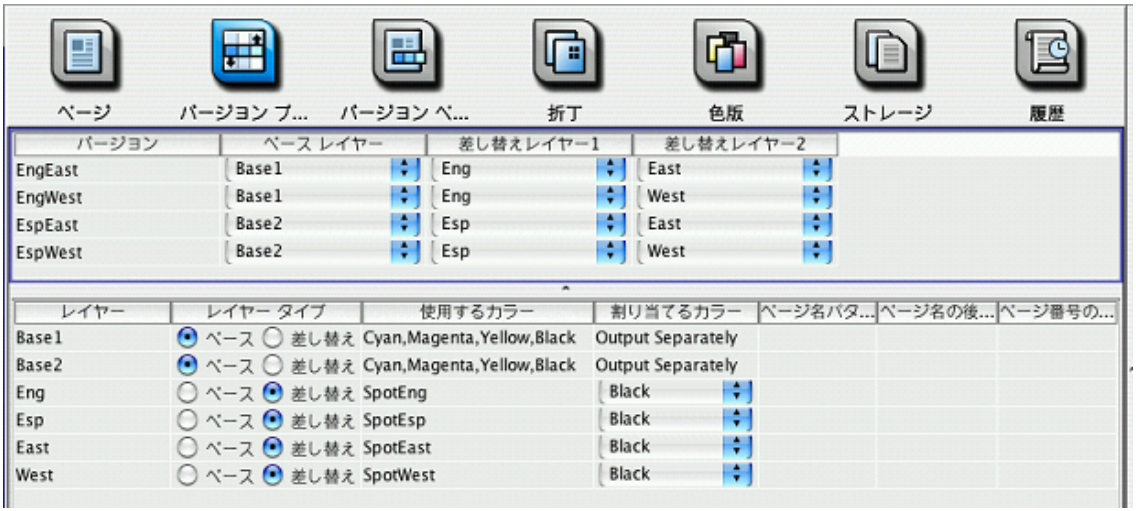


図 7: 2 つのベースを持つジョブ

バージョン プランの設定は次のようになります。



注意：この例は入力ファイル モデル 1 を示します。入力ファイル モデルの詳細については、20 ページの「サポートされる入力ファイル モデル」を参照してください。

図 8: 2 つのベースを持つバージョン プラン

入力ファイルの必要条件

使用する入力ファイルが、サポートされるタイプであることと、サポートされるモデルに適合していることを確認します。

サポートされる入力ファイルのタイプ

Prinergy LPV では次の入力ファイルがサポートされます。

- コンポジット PostScript ファイル
- コンポジット PDF ファイル
- あらかじめ分版された PostScript ファイル
- 分版された PDF ファイル

Prinergy LPV は、CT/LW（連続諧調／ライン ワーク）および CEPS ファイルに対して制限されたサポートを提供しています。



注：PostScript **入力ファイルが** Prinergy **に追加され、リファインされると、**PDF **ページ（コンポジットまたは分版）になります。**

サポートされる入力ファイル モデル

入力ファイルはさまざまな方法で作成できます。LPV はファイルの作成方法に基づいて、5 つの異なる入力ファイル モデルをサポートしています。5 つのモデルは 2 つのカテゴリに分けることができます。

- **カテゴリ 1** — このカテゴリのモデルでは、バージョンのすべてのページ内容（ベース オブジェクトと差し替えオブジェクト）が 1 つのファイルに入っています。カテゴリ 1 にはモデル 1、2、3 が入ります。
- **カテゴリ 2** — このカテゴリのモデルでは、1 つのバージョンのページ内容が複数のファイルに入っています。カテゴリ 2 にはモデル 4、5 が入ります。

入力ファイル モデルはバージョン ページを作成する方法に影響を与えます。バージョン ページが生成された後のワークフローは同じです。詳細については、「付録 A、入力ファイル モデルの動作と構造」を参照してください。

表記上の規則

この章では、次に示す表記上の規則を使用して入力ファイル モデルについて説明します。

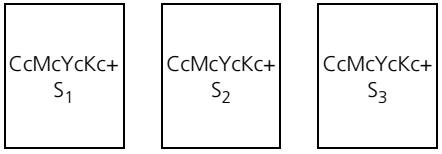
- 差し替えオブジェクトは **Kspot**、**K#**、または **S#** として表示されます。
  - **K** は他のバージョンのオブジェクトを含んでいないファイルの差し替えオブジェクトを示します。**K** は任意のプロセスまたはスポット カラーです。
  - **S** は他のバージョンのオブジェクトも含んでいるファイルの差し替えオブジェクトを示します。**S** は任意のスポット カラーです。
- **CcMcYcKc** はベースが 1 つの場合の共通オブジェクトを示します。ベースが複数ある場合は、**CbMbYbKb** と **CcMcYcKc** が異なるベース オブジェクトを示します。

カテゴリ 1

カテゴリ 1 にはモデル 1、2、3 が入ります。次の図では、ベースが 1 つであることを想定しています。ベースが 2 つあるジョブの詳細については、23 ページの「2 つのベースを持つモデル」を参照してください。

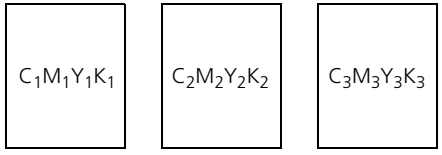
モデル 1：[Cc、Mc、Yc、Kc、S#]

各バージョンごとにベース オブジェクトと差し替えオブジェクトを含む 1 つの入力ファイルが使用され、差し替えオブジェクトがスポット カラーとして定義されています。



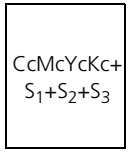
モデル 2：[C#、M#、Y#、K#]

各バージョンごとにベース オブジェクトと差し替えオブジェクトを含む 1 つの入力ファイルが使用され、すべてのオブジェクトがプロセス カラーとして定義されています。差し替えオブジェクトはカラーでは識別されません。ただし、差し替えオブジェクトがどのカラーに含まれているかを確認する必要があります。



モデル 3：[Cc、Mc、Yc、Kc + S#s]

各バージョンごとにベース オブジェクトと差し替えオブジェクトを含む 1 つの入力ファイルが使用され、各バージョンのオブジェクトはそれぞれ異なるスポット カラーで定義されています。



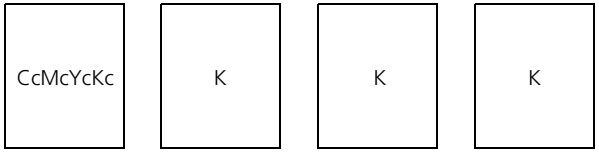
カテゴリ 2

カテゴリ 2 にはモデル 4 と 5 が入ります。次の図では、ベースが 1 つであることを想定しています。ベースが 2 つあるジョブの詳細については、23 ページの「2 つのベースを持つモデル」を参照してください。

モデル 4：[Cc、Mc、Yc、Kc]、[K#]

デスクトップ アプリケーションのレイヤー機能を使用して作成した、次のファイルを設定します。

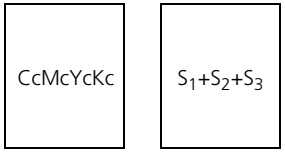
- すべてのエディションとバージョンで使用するベース オブジェクトを持つ 1 つのファイル
- 差し替えオブジェクトがプロセス カラーまたはスポット カラーで定義される、各バージョンごとに異なるファイル



モデル 5：[Cc、Mc、Yc、Kc]、[S#s]

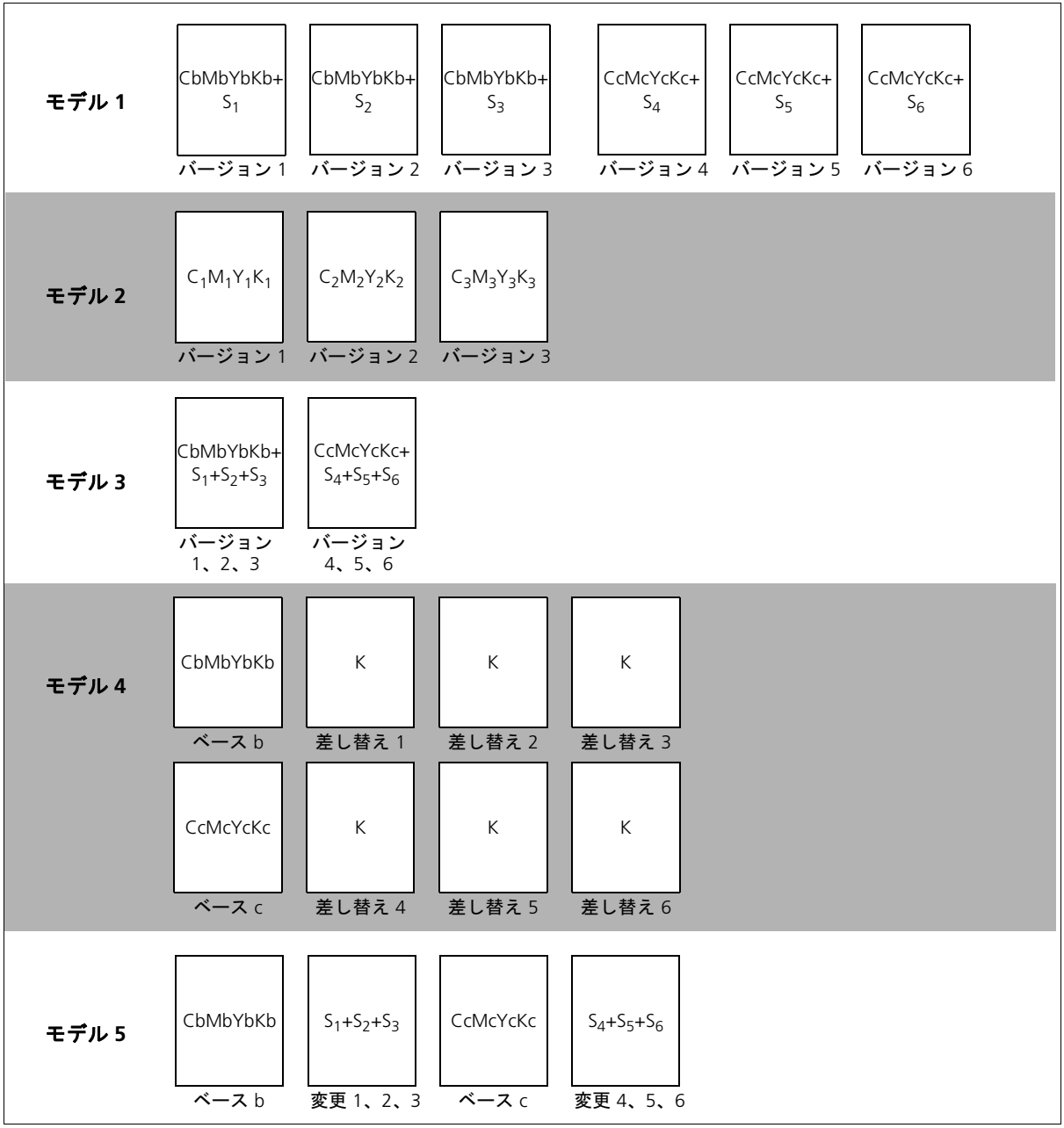
デスクトップ アプリケーションのレイヤー機能を使用して作成した、次の 2 つのファイルを設定します。

- すべてのエディションとバージョンで使用するベース オブジェクトを持つ 1 つのファイル
- 各バージョンごとのオブジェクトが異なるスポット カラーで定義される、すべての差し替えオブジェクトを含む 1 つのファイル



2 つのベースを持つモデル

ジョブで 2 つのベースが必要な場合には、それぞれのモデルで別のセットのファイルを準備してください。例を次に示します。



3

LPV ジョブの設定

はじめに 26
LPV ジョブを作成する 28
入力ファイルを追加してリファインする 33
バージョン プランを作成する 35
バージョン ページを追加する 41
リファイン済みページをリンクする 43
バージョン ページを生成する 54
生成ステータスを監視する 59
生成の警告を調査する 62
バージョン ページをページ セットまたは面付けプランに割り当てる 67

はじめに

この章では、すべてのレイヤー PDF バージョニング (LPV) ジョブを設定する際の基本的な操作について説明し、必要条件と制限についての情報を示します。これ以降の章をお読みになる前に、この章をお読みください。



ヒント：このガイドの手順では、メニュー バーを使用してタスクを実行する方法について説明します。タスクによっては、[Workshop] ウィンドウ上で右クリックし、コンテキスト メニューを使用してすばやく実行することもできます。

基本的な操作の概要

Prinergy LPV で出版物を作成および出力するには、次を行います。

1. LPV ジョブを作成します。詳細については、28 ページを参照してください。
2. 入力ファイルを追加、リファインします。詳細については、33 ページを参照してください。
3. バージョン プランを作成します。詳細については、35 ページを参照してください。
4. バージョン ページを追加します。詳細については、41 ページを参照してください。
5. リファインされたページをリンクします。詳細については、43 ページを参照してください。
6. バージョン ページを生成します。詳細については、54 ページを参照してください。
7. バージョン ページをページ セットまたは面付けプランに割り当てます。詳細については、67 ページを参照してください。
8. プルーフと最終出力を出力します。詳細については、71 ページを参照してください。

次の図に、基本的な LPV での作業の流れを示します。

基本的な作業手順

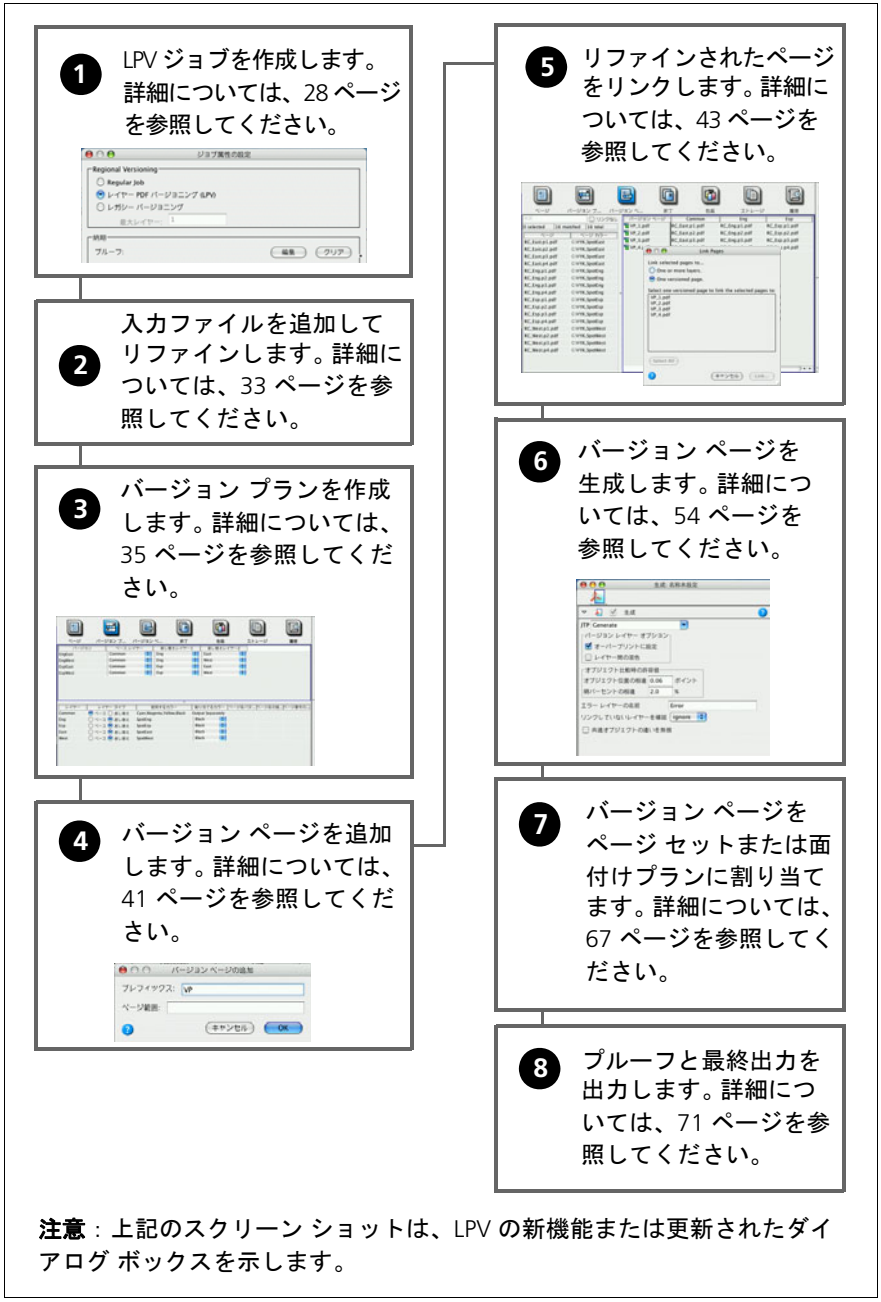


図 9: 基本的な作業手順

LPV ジョブを作成する

Prinergy で LPV ジョブを作成する最初の手順は、ジョブまたはプリジョブの作成です。次のいずれかの手順で作成します。

- 28 ページの「LPV ジョブを作成する」
- 29 ページの「テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成する」

LPV ジョブでは、バージョン ページとバージョンのないページを混在させる場合があります。

バージョニング ジョブと通常のジョブを切り替える方法については、31 ページを参照してください。

LPV ジョブを作成する

LPV ジョブまたはプリジョブを作成するには、次の手順を実行します。

1. 必要に応じていずれかを実行します。

方法	手順
ジョブの作成	ジョブ ファインダの［**ジョブ**］表示で、［**ファイル**］>［**ジョブの新規作成**］を選択します。
プリジョブの作成	ジョブ ファインダの［**プリジョブ**］表示で、［**ファイル**］>［**プリジョブの新規作成**］を選択します。

2. ［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで、新しいバージョニング ジョブを作成するグループまで移動します。
3. ［**以下の名前を付けてジョブを新規作成 <**］ボックスに、バージョニング ジョブの名前を入力します。
4. ［オプション］の設定領域を表示するには、［**オプション**］の横にある三角形をクリックします。
5. ［**オプション**］セクションで、［**ジョブ属性**］チェック ボックスをオンにします。
6. ［ジョブ属性の設定］ダイアログ ボックスで、［**レイヤー PDF バージョニング ジョブ**］チェック ボックスをオンにしてから、［**OK**］をクリックします。

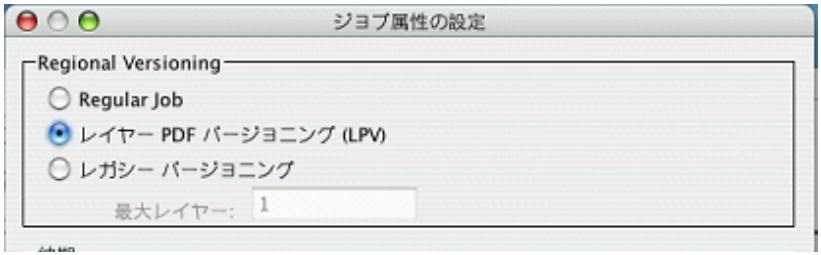


図 10: ［ジョブ属性の設定］ダイアログ ボックス

7. ［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで必要に応じて他のオプションを選択し、［**作成**］をクリックします。

   ジョブ マネージャーが次のように表示されます。

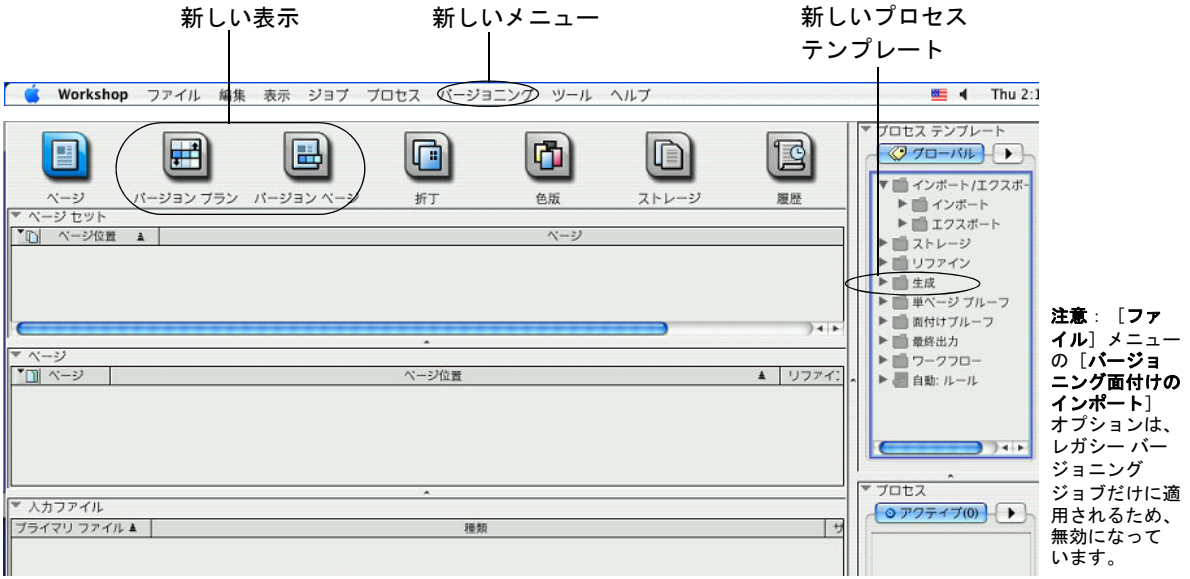


図 11: LPV ジョブの新しいユーザー インターフェイス

テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成する

たとえば、バージョン設定のある毎週発行のチラシを作成する場合など、同様のジョブが既に作成されている場合にはテンプレート ジョブから LPV ジョブを作成します。これにより、バージョン プランを再利用できます。

サポートされているテンプレート ジョブのタイプ

テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成するときに、テンプレートとしてバージョニングのないジョブを使用することも、LPV ジョブを使用することもできます。

注意：レガシー バージョニング ジョブをテンプレートとして使用することはできません。

テンプレートの LPV ジョブ属性

テンプレート ジョブが LPV ジョブの場合、テンプレート ジョブから LPV ジョブ属性を使用できます。

新規ジョブはテンプレート ジョブからバージョニング プラン全体を取り入れることができます。LPV ジョブ属性は［バージョン プラン］表示で表示できるすべてのエレメントです。次のような LPV ジョブ属性があります。

- バージョンとレイヤー
- 使用するカラー（リファイン済みページから）
- 出力する版
- ページ名パターン



注意：［バージョン ページ］表示のエレメントは、テンプレート ジョブには取り込まれていません。

バージョニング ジョブまたはバージョニング プリジョブをテンプレート ジョブから作成するには、次の手順を実行します。

1. 必要に応じていずれかを実行します。

方法	手順
ジョブの作成	［ジョブ ファインダ］の［ジョブ］表示で、［**ファイル**］メニューから［**ジョブの新規作成**］を選択します。
プリジョブの作成	［ジョブ ファインダ］の［プリジョブ］表示で、［**ファイル**］メニューから［**プリジョブの新規作成**］を選択します。

2. ［ジョブの新規作成］ダイアログ ボックスで、新しいバージョニング ジョブを作成するグループまで移動します。
3. ［**以下の名前を付けてジョブを新規作成**］ボックスに、バージョニング ジョブの名前を入力します。

4. オプションの設定領域を表示するには、[**オプション**] の横にある三角形をクリックします。
5. [**オプション**] セクションで、[**テンプレート ジョブ**] チェックボックスをオンにします。
6. [テンプレート ジョブの選択] ダイアログ ボックスで、[**レイヤー PDF バージョニング ジョブ**] チェック ボックスをオンにします。
7. テンプレートとして使用するジョブまでナビゲートし、[**OK**] をクリックします。
8. [ジョブの新規作成] ダイアログ ボックスで必要に応じて他のオプションを選択し、[**作成**] をクリックします。

スマート ホット フォルダを使用して LPV ジョブを作成する

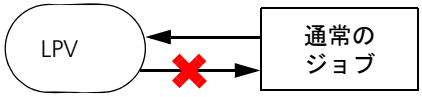
スマート ホット フォルダを設定し、自動的に LPV ジョブを作成することができます。これにより、入力ファイルを（ファイル管理ソフトウェアで）スマート ホット フォルダにドラッグ＆ドロップすると、入力ファイル名がソース ファイル名パターンの名前に一致する場合、スマート ホット フォルダは自動的に次の処理を実行します。

- テンプレート ジョブに基づいてジョブを作成して指定の名前を付け、テンプレート ジョブと同じグループ内に保存します。
- 入力ファイルをジョブに追加します。

スマート ホット フォルダの詳細については、Prinergy Workshop オンライン**ヘルプを参照してください。**

ジョブのタイプを切り替える

LPV ジョブを、通常のジョブまたはレガシー バージョニング ジョブに切り替えることはできません。たとえば、LPV ジョブを通常のジョブに切り替える場合、ジョブ全体を作成し直す必要があります。



次のような切り替えができます。

- 通常のジョブから LPV またはレガシー バージョニングへ
- レガシーから通常のジョブまたは LPV へ

通常のジョブをバージョニング ジョブに変更するには、次の手順を実行します。

1. ジョブ ファインダで、LPV ジョブに変更する通常のジョブを選択します。
2. ［**編集**］メニューから［**ジョブ属性の編集**］を選択します。
3. ［ジョブ属性の編集］ダイアログ ボックスで、［**レイヤー PDF バージョニング (LPV) ジョブ**］オプション、または［**レガシー バージョニング ジョブ**］オプションを選択します。

レガシー バージョニング ジョブを通常のジョブまたは LPV バージョニング ジョブに変更するには、次の手順を実行します。

1. ジョブ ファインダで、通常のジョブに変更するレガシー バージョニング ジョブを選択します。
2. ［**編集**］メニューから［**ジョブ属性の編集**］を選択します。
3. ［ジョブ属性の編集］ダイアログ ボックスで、必要に応じて次の処理を実行します。

ジョブの切り替え先	実行する処理
LPV ジョブ	**レイヤー PDF バージョニング (LPV) ジョブ**］をクリックします。
通常のジョブ	a.［**編集**］>［**ジョブ属性の編集**］をクリックします。 b.［**最大レイヤー** ボックスに「**1**」と入力して既存の番号を置き換え、［**OK**］をクリックします。 c.［属性の編集］ダイアログ ボックスで、［**通常のジョブ**］をクリックします。

入力ファイルを追加してリファインする

Prinergy がソース オブジェクトを参照するように、入力ファイルを Prinergy に追加します。LPV ジョブで使用するページを準備し、入力ファイルで使用されているカラーを確認するために、ファイルをリファインします。



入力ページを追加してリファインする方法の基本的な情報については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプの「入力ファイルのリファイン」を参照してください。

LPV でのリファイン済みページの条件

リファイン済みページは次の条件を満たす必要があります。

- トラッピングとカラー マッチングが完了していること
- スポット カラー名の相違が解決されていること



ヒント：リファイン済みページに含まれるカラーは、バージョン プランで出力する版に割り当てられるカラーのみにしてください。



注意：リファイン済みページは、19 ページの「入力ファイルの必要条件」に合う入力ファイルをリファインしたものを使用してください。

ファイル名の最良の設定

リファイン済みページごとに、ページ位置、ページ番号、およびレイヤーを識別できるファイル名を使用してください。これにより、リンクの操作をすばやく簡単に行うことができます。

トリミング ボックスの最良の設定

トリミング ボックスなどのジオメトリ設定は、バージョン ページのすべてのリファイン済みページで同じ設定にする必要があります。

（1 つのバージョン ページのリファイン済みページの）トリミング ボックスのサイズに違いがある場合、ページのジオメトリを編集して 2 回目のリファインを行い、同じ設定にすることができます。設定に相違がある状態で処理を行うと、生成プロセス情報で警告が表示されます。



トリミング ボックスの設定を変更する詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプ**を参照してください。**

代替ワークフロー

入力ファイルがないため、ファイルで使用されているカラーを確認できず、レイヤー カラーをどの版に出力するかを決められない場合は、後続のタスク（バージョン プランの作成）を行った後で、入力ページを追加してリファインすることもできます。

バージョン プランを作成する

バージョン、レイヤー、およびカラー変換を設定するには、バージョン プランを作成する必要があります。このタスクは、各バージョンで適切なページ内容を構成するために重要です。バージョン プランの概念については、10 ページの「バージョン プランの作成」を参照してください。

バージョン プランの必要条件

- 1 つの LPV ジョブに作成できるバージョン プランは 1 つで、バージョン プランに関連付けられるジョブは 1 つです。（テンプレート ジョブを使用すると、バージョン プランのコピーが作成されます。）
- 各バージョンには少なくとも 1 つのベース レイヤーが必要ですが、バージョン ページのベース レイヤーは空白にすることもできるため、バージョンごとにページ内容が異なる設定も可能です。
- リファイン済みページにあるカラーとそのカラーが使用されているオブジェクトを確認し、オブジェクトに割り当てる最終出力カラー（版）を指定する必要があります。



注意：リファイン済みページのカラーが一部バージョン プランで割り当てられていない場合、そのカラーは、バージョン ページが生成された後で Adobe Acrobat のエラー レイヤーに配置されます。

バージョン名の最良の設定

各バージョン名の長さは 64 文字に制限されています。ただし、特に Macintosh の Apple Filing Protocol (AFP) を使用している場合など、バージョン名の長さを最小限に抑えることをお勧めします。

AFP 向けのバージョン名の最良の設定

AFP を使用し、プルーフをファイルに出力する場合、出力ファイル名を構成するパーツの一部としてバージョン名が使用されます。このため、出力ファイル名の長さが容易に 31 文字を超過してしまうことが予測されます。バージョン名はできる限り短くし、ジョブに多くのバージョンがある場合は特にご注意ください。詳細については、85 ページの「AFP 向けの出力ファイル名の最良の設定」を参照してください。

バージョン プランを作成する 2 つの方法

バージョン プランは次の 2 つの方法で作成できます。

- **バージョン プラン クイック ビルダー** — すばやく簡単に使用できますが、以下の設定が使用されます。
  - レイヤーにバージョンと同じ名前が指定される。
  - 各バージョンの差し替えレイヤーが 1 つ作成される。
  - すべてのベースに CMYK を使用し、個別に出力する。
  - すべてのレイヤーにブラックを使用し、ブラックとして出力する。

  ジョブに上記の条件が当てはまらない場合は、必要に応じてバージョン プランを手作業で変更できます。
- **手作業** — レイヤーの削除、差し替えレイヤーの追加、レイヤーとバージョン名の編集など、バージョン プランのすべての設定を制御できます。

バージョン プラン クイック ビルダーを使用してバージョン プランを作成してから、必要に応じて手作業で変更することをお勧めします。



ヒント：このガイドの手順では、メニュー バーを使用してタスクを実行する方法について説明します。タスクによっては、［Workshop］ウィンドウ上で右クリックし、コンテキスト メニューを使用してすばやく実行することもできます。

クイック ビルダーを使用してバージョン プランを作成する

バージョン プラン クイック ビルダーを使用し、バージョンとレイヤーをすばやく設定できます。**Tab** キーを使用してバージョン プラン クイック ビルダーの連続したボックスにすばやくアクセスできます。

バージョン プラン クイック ビルダーを使用する場合の設定については、36 ページの「バージョン プランを作成する 2 つの方法」を参照してください。

バージョン プラン クイック ビルダーを使用してバージョンを作成するには、次の手順を実行します。

1. ジョブ マネージャーで、［**バージョン プラン**］をクリックします。
2. ［バージョン プラン］表示で、［**バージョニング**］メニューから、［**バージョン プラン クイック ビルダー**］を選択します。
3. ［バージョン プラン クイック ビルダー］ダイアログ ボックスで、［**既存のバージョン プランと置き換える**］をクリックします。

4. ［**ベース レイヤー**］ボックスに、ベース レイヤーの名前を入力します。
5. ［**バージョン数**］ボックスに、前の手順で名前を付けたベース レイヤーを使用するバージョンの数を入力します。
6. ［**バージョン名**］ボックスに、バージョン名を入力します。残りのバージョンにも同様に名前を付け、［**バージョンを作成**］をクリックします。

ベースが複数ある場合

7. 必要に応じていずれかを実行します。

ジョブに必要なベース	実行する手順
ベースが 1 つのみ	［**閉じる**］をクリックします。手順 8 へ進みます。
ベースが複数	［**バージョン プランに追加**］をクリックし、追加の各ベースについて手順 4 ～ 6 を繰り返して［**閉じる**］をクリックします。この後で手順 8 へ進みます。

8. バージョン プラン クイック ビルダーの条件で、特に差し替えレイヤーが 1 つであるという条件が満たされない場合、手作業でバージョン プランを変更します。次を参照してください。

バージョン プランを変更する

以下の手動の手順を実行して、バージョン プランを作成または変更できます。

- バージョンの追加。詳細については、38 ページを参照してください。
- レイヤーの追加と定義。詳細については、38 ページを参照してください。
- レイヤーのコピー。詳細については、39 ページを参照してください。
- 差し替えレイヤー列の追加。詳細については、39 ページを参照してください。
- レイヤーのバージョンへの適用。詳細については、39 ページを参照してください。
- バージョンとレイヤーの削除。詳細については、39 ページを参照してください。

バージョンを追加するには、次の手順を実行します。

1. ジョブ マネージャーで、[**バージョン プラン**] をクリックします。
2. [**バージョン プラン**] 表示で、[**バージョン**] 領域（上部）をクリックしてアクティブにし、[**バージョニング**] メニューから [**バージョンの追加**] を選択します。

   ヒント：または、[バージョン] ウィンドウ枠を右クリックしてコンテキスト メニューを表示し、バージョンを追加することもできます。
3. [**バージョン**] 列の新規バージョン行をダブルクリックし、バージョンの名前を入力します。
4. 追加する追加バージョンごとにこの処理を繰り返します。

レイヤーを追加、定義するには、次の処理を実行します。

1. [**バージョン プラン**] 表示で、[**レイヤー**] 領域（下部）をクリックし、[**バージョニング**] メニューから [**レイヤーの追加**] を選択します。

   ヒント：または、[バージョン] セクションを右クリックしてコンテキスト メニューを表示し、レイヤーを追加することもできます。
2. [**レイヤー**] 列の新規レイヤーをダブルクリックし、レイヤーの名前を入力します。レイヤー名は 64 文字に制限されています。
3. [**レイヤー タイプ**] 列で、[**ベース** または [**差し替え**] を選択し、レイヤー タイプを定義します。
4. [**使用するカラー**] 列でセルを選択し、[**使用するカラー**] ダイアログ ボックスを表示します。
5. [使用するカラーの選択] ダイアログ ボックスで、このレイヤーで使用するカラーを選択します。

   代替ワークフロー：入力ファイルをリファインする前にバージョン プランを作成する場合、[**追加**] ボタンをクリックし、[**新規カラーの追加**] ダイアログ ボックスで各オプションを設定すると、カラー名をリストに追加できます。



   重要：リファイン済みページのカラー名は [使用するカラー] 列で指定されたカラー名と一致する必要があります。カラー名では大文字と小文字を区別します。
6. [**出力する版**] 列で、レイヤー オブジェクトを出力するカラーを選択します。

   カラーを割り当てない場合、たとえば、ベース レイヤーで CMYK を使用する場合やオブジェクトを特定の色版に出力する場合は、[**個別に出力**] を選択します。

   注意：1 つのバージョン プラン レイヤーの同じ色版に複数のカラーを指定することはできません。詳細については、40 ページの「バージョン プランの 1 つのレイヤーに 2 つのカラーを指定する」を参照してください。

7. 自動リンクを使用する場合は、次の章の［**ページ名パターン**］、［**ページ名の後方参照**］、および［**ページ番号の後方参照**］ボックスを参照してください。詳細については、91 ページの「リファイン済みページを自動的にリンクする」を参照してください。
8. 残りのレイヤーに対して、この手順を繰り返します。

レイヤーをコピーするには、次の手順を実行します。

- ［**バージョン プラン**］表示でコピーするレイヤーをクリックし、［**バージョニング**］メニューから［**レイヤーの複製**］を選択します。

  ヒント：またはレイヤーを右クリックしてコンテキスト メニューを表示し、レイヤーをコピーすることもできます。

差し替えレイヤー列を追加するには、次の処理を実行します。

- **[バージョニング]** メニューから、**[差し替えレイヤーの追加]** を選択します。

  2 つ以上の差し替えレイヤー列が必要な場合は、必要な差し替えレイヤー数が追加されるまでこの手順を繰り返します。たとえば、バージョンがそれぞれ 2 つの差し替えレイヤーと 1 つのベース レイヤーで構成されている場合、2 つの差し替えレイヤー列をバージョン プランに追加します。

レイヤーをバージョンに適用するには、次の手順を実行します。

1. ［バージョン プラン］表示の［**バージョン**］ウィンドウ枠で、バージョン行の［**ベース レイヤー**］列で、そのバージョンのベース レイヤーをリストから選択します。

   注意：ベース レイヤーとして定義されたレイヤーだけがリストに表示されます。
2. ［**差し替えレイヤー 1**］列で、バージョンごとに必要な差し替えレイヤーを選択します。
3. 必要に応じて、［**差し替えレイヤー 2**］、［**差し替えレイヤー 3**］列で、バージョンごとに必要な差し替えレイヤーを選択します。

バージョン プランの概念については、10 ページの「バージョン プランの作成」を参照してください。

バージョンとレイヤーを削除する

バージョンはいつでも削除できます。ただし、レイヤーを削除する場合は、削除する前にすべてのバージョンからレイヤーの関連付けを解除し、そのレイヤーからリファイン済みページのリンクを解除する必要があります。43 ページの「リファイン済みページをリンクする」を参照してください。

バージョンを削除するには、次の手順を実行します。

1. ［バージョン プラン］表示で、削除するバージョンを選択します。
2. ［**バージョニング**］メニューから［**バージョンの削除**］を選択します。

レイヤーを削除するには、次の手順を実行します。

1. ［バージョン プラン］表示で、削除するレイヤーを選択します。
2. ［**バージョニング**］メニューから［**レイヤーの削除**］を選択します。

バージョン プランの 1 つのレイヤーに 2 つのカラーを指定する

2 つ以上のカラーを使用する場合、1 つの差し替えレイヤーを使用して同じ色版に 2 つのカラーを出力することはできません。差し替えレイヤーを 1 つ使用する場合、カラーを個別に出力する必要があります。

たとえば、同じバージョン プラン レイヤーを使用して、ブラックと特色のレッド（SpotRed）をブラック版に割り当てることはできません。バージョン プラン レイヤーに 2 つのカラーを使用する場合、Prinergy は出力を［**個別に出力**］に自動的に設定します。例を次に示します。

レイヤー	使用するカラー	出力する版
English（英語）	ブラック、SpotRed	個別に出力
Espanol（スペイン語）	ブラック	ブラック

この制限に対処するには、英語レイヤーで 2 番目のカラーに別のレイヤーを作成します。例を次に示します。

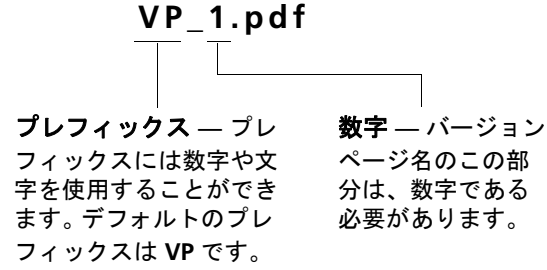
レイヤー	使用するカラー	出力する版
EnglishBlack	ブラック	ブラック
EnglishSpotRed	SpotRed	ブラック
Espanol（スペイン語）	ブラック	ブラック

バージョン ページを追加する

［バージョン ページ］表示で、必要なバージョン ページをジョブに追加します。［バージョン ページ］では、複数のリファイン済みページを 1 つのページ セット位置に配置することができます。

バージョン ページの名前

バージョン ページの名前はすべて、アンダーライン (_) で区切られたプレフィックスと番号から構成されています。



［バージョン ページの追加］ダイアログ ボックスを使用し、バージョン ページのプレフィックスを指定できます。



重要：次の処理（リファイン済みページのリンク）で、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスを使用する場合にバージョン ページを追加することもできます。詳細については、51 ページの「列にリンクする」を参照してください。



注意：自動リンク機能を使用する場合、後方参照を使用してバージョン ページ名のプレフィックスを定義できます。詳細については、97 ページの「後方参照を使用する」を参照してください。

バージョン ページを追加するには、次の手順を実行します。

1. ［バージョン ページ］表示で、［**バージョニング**］メニューから、［**バージョン ページの追加**］を選択します。
2. ［バージョン ページの追加］ダイアログ ボックスの［**プレフィックス**］ボックスに、プレフィックスを定義する場合にバージョン ページのプレフィックスを入力します。アンダーラインは入力しないでください。Prinergy はファイル名のプレフィックスと主部との間にアンダーラインを自動的に追加します。

   ヒント：［ページ］ウィンドウ枠の上部にプレフィックスを入力して、バージョン ページをソートすることができます。たとえば「**1VP**」と指定すると、次の操作を行うバージョン ページのみを簡単に表示できます。

   警告：バージョン ページに 2 つ以上のプレフィックスを使用する場合、一度にリンクするのはプレフィックスを 1 つ持つバージョン ページのみにしてください。
3. ［バージョン ページの追加］ダイアログ ボックスの［**範囲**］ボックスに、たとえば「**1-5、9、15-20**」のように、追加するバージョン ページの範囲を入力します。

リファイン済みページをリンクする

リファイン済みページをバージョン ページにリンクし、各バージョン ページのレイヤーにそれぞれオブジェクト ファイルを指定します。リンクは［**バージョン ページ**］表示で実行します。

注意：リファイン済みページを手動でリンクする前に、まずバージョン ページを追加してください。

リンクはさまざまな方法で設定できます。ここでは、関連するタスクと共に以下で説明します。

- **リファイン済みページをリンクします。**次を参照してください。
- **リンク方法**。詳細については、46 ページを参照してください。

入力ファイルのモデルが異なる場合のリファイン済みページのリンク方法については、「付録 A、入力ファイル モデルの動作と構造」を参照してください。

リファイン済みページをリンクする

［**バージョン ページ**］表示のリファイン済みページのリスト（左のウィンドウ枠）で、ページを選択します。詳細については、図 12 を参照してください。

選択の対象	実行する手順
連続的な範囲	リンクする範囲の最初のページをクリックした後、**Shift** を押しながら範囲の最後のページをクリックします。
連続しない範囲	Windows では **Ctrl** を押しながら（Macintosh では **Cmd** を押しながら）、リンクするページをクリックします。

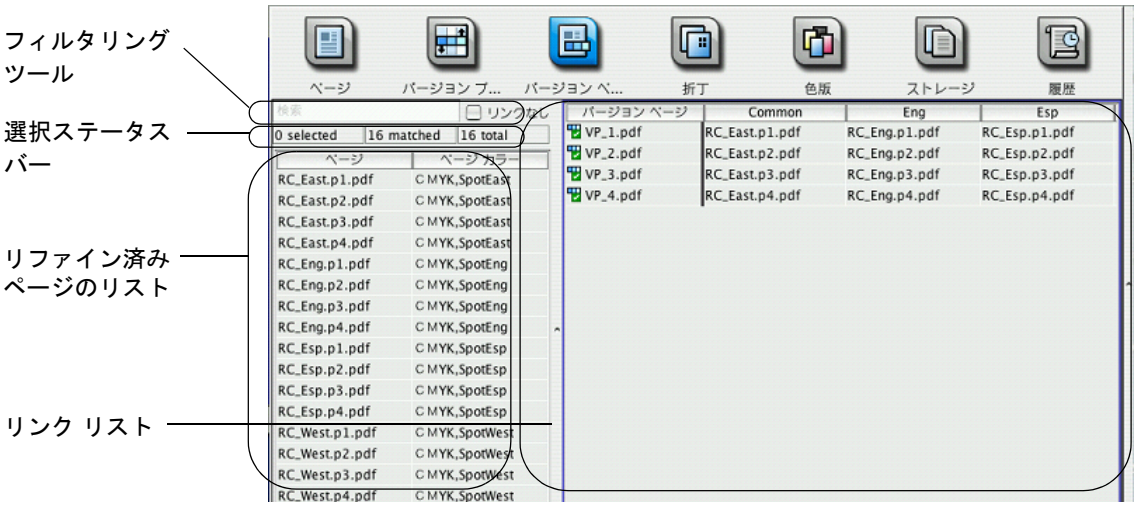


図 12: ［**バージョン ページ**］表示

選択ステータス バー

選択ステータス バーを使用し、ジョブのリファイン済みページの合計数、フィルタリング ツール（次を参照）の条件に一致しているページ数、および現在選択されているページの数をすばやく表示します。

リファイン済みページをフィルタリングする

一度に複数のページ（行または列にあるページ）にリンクできるため、フィルタリング ツールを使用してリストのページ数を減らし、適切なページをすばやく選択できます。

図 12 のフィルタリング ツールは以下の 2 つです。

- ［**検索**］ボックス
- ［**リンクなし**］チェック ボックス

［検索］ボックス

［**検索**］ボックスを使用し、指定した文字が名前に含まれるページのみを表示できます。フィルタはリファイン ページ ファイルの名前に基づいているため、関連付けられたページ番号とレイヤーを識別する、所定のリファイン済みファイルの名前が必要です。詳細については、33 ページの「ファイル名の最良の設定」を参照してください。

たとえば「**p1**」や「**共通**」のように、［**検索**］ボックスにファイル名の共通部分を入力します。一度レイヤー、またはバージョン ページをフィルタリングしたら、**［編集］> ［すべて選択］**をクリックしてリンクのために選択します。

たとえば、英語レイヤーのリファイン済みページがすべて Eng という文字が入った名前の場合、［検索］ボックスに「Eng」と入力すると、リストにそれらのリファイン済みページだけが表示されます。

［リンクなし］チェック ボックス

［**リンクなし**］チェック ボックスを使用し、バージョン ページにまだリンクされていないリファイン済みページを表示します。

リンク方法

ここでは、リンク リストのさまざまな部分の名称について説明し、さまざまなリンク方法について説明します。

- **ドラッグ&ドロップ**。詳細については、47 ページを参照してください。
- **［コンテキスト］メニュー**。詳細については、48 ページを参照してください。
- **［バージョニング］メニュー**。詳細については、48 ページを参照してください。

リンク リスト

［バージョン ページ］表示では、リファイン済みページがレイヤーおよびバージョン ページにリンクされている状態が表示されます。各レイヤーはリンク リストの列で表示され、各バージョン ページはリンク リストの行になっています。

以下は、リストの表示内容です。

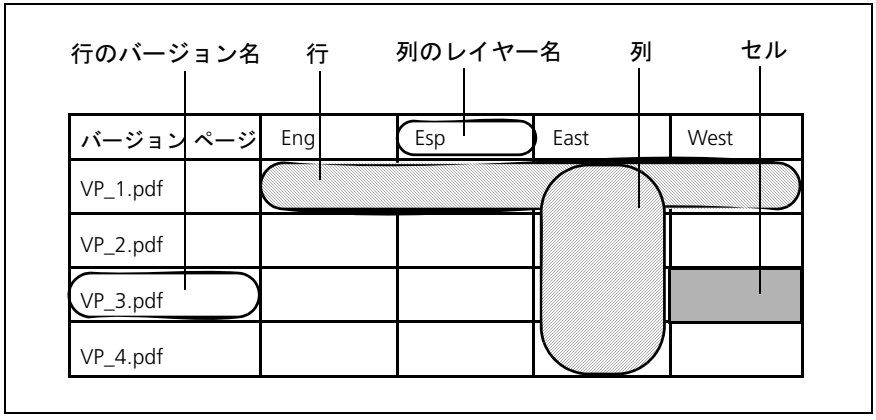


図 13: リンク リストの表示内容

このガイドでのリストの内容に関する記述では、次の点に留意してください。

- 行 = バージョン ページ
- 列 = レイヤー
- セル = 特定のバージョン ページの特定のレイヤー

ドラッグ＆ドロップ

リファイン済みページを選択してドラッグし、［**バージョン ページ**］タブの適切なセルにドロップできます。ページを次の対象にドロップできます。

- **セル**—リファイン済みの1ページを1つのセルにドラッグします。
- **列または行** — 連続的なセルの範囲。行にドロップするには、Windows では **Ctrl** キー（Macintosh では **Cmd** キー）を押しながらドロップします。

  注意：選択したページより少ない範囲に対してドラッグした場合、余分なページはリンクされません。
- **列ラベル**—［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスが表示され、連続しない範囲のセルを選択することができます。
- **行ラベル**—［バージョン ページへのリンク］ダイアログ ボックスが表示され、連続しない範囲のセルを選択できます。

行のバージョン名または列のレイヤー名にドロップする

行のバージョン名または列のレイヤー名にドラッグ＆ドロップすると、ダイアログ ボックスが表示され、連続しない範囲にページをリンクし、アルファベット順にソートされた列にページを適切にドロップできます。

たとえば、レイヤー列がアルファベット順でない場合、バージョン ページのさまざまなレイヤーにリンクする必要があるリファイン済みページは、ドラッグ＆ドロップでは適切にリンクされません。これは、列がアルファベット順であることを前提にページが配置されるためです。ページが行にドロップされる時の適切でない結果の例については、次のリストを参照してください。

表 1: 適切でないドラッグ＆ドロップの結果の例

	バージョン ページ	EspWest	EngEast	EspEast
EngEast.p1.pdf	VP_1.pdf	**EngEast.p1.pdf**	**EspEast.p1.pdf**	**EspWest.p1.pdf**
EngEast.p2.pdf	VP_2.pdf			
EngEast.p3.pdf	VP_3.pdf			
EspEast.p1.pdf				
EspEast.p2.pdf				
EspEast.p3.pdf				
EspWest.p1.pdf				
EspWest.p2.pdf				
EspWest.p3.pdf				

コンテキスト メニュー

ドラッグ＆ドロップの代わりに、コンテキスト メニューを使用できます。このメニューはウィンドウの特定の領域を右クリックすると表示されます。1 つまたは複数のリファイン済みページを選択した後で、次を右クリックしてコンテキスト メニューを表示します。

- **セル** — 1 ページが選択されると、(セルに)［**リンク**］できます。2 ページ以上を選択した場合、(行に)［**右にリンク**］、または(列に)［**下にリンク**］できます。
- **列のレイヤー名** —［**< 列 > へリンク**］し、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスを開くことができます。詳細については、51 ページの「列にリンクする」を参照してください。
- **行のバージョン名** —［**< バージョン ページ > へリンク**］し、［バージョン ページへのリンク］ダイアログ ボックスを表示できます。詳細については、53 ページの「リファイン済みページのリンクを解除する」を参照してください。
- **リファイン済みページ** —(列または行へ)［**リンク ...**］し、［ページのリンク］ダイアログ ボックスを開くことができます。詳細については、次の「[ページのリンク］ダイアログ ボックス」を参照してください。

バージョニング メニュー

1 ページまたは複数のページを選択した後で、ドラッグ＆ドロップするかコンテキスト メニューを使用する代わりに、メニュー バーにある［**バージョニング**］メニューを使用できます。

［ページのリンク］ダイアログ ボックス

リンクの指定に［**バージョニング**］メニューを使用する場合、［**ページのリンク**］ダイアログ ボックスが表示されます。［**ページのリンク**］ダイアログ ボックスで、選択されたページを次のどれにリンクするかを選ぶ必要があります。

- **バージョン ページの 1 つまたは複数のレイヤー** — 行へのリンク

バージョン ページ	レイヤー	レイヤー	レイヤー
VP_1			
VP_2			
VP_3			
VP_4			

- **1 つまたは複数のバージョン ページの同じレイヤー** — 列へのリンク

バージョン ページ	レイヤー	レイヤー	レイヤー
VP_1			
VP_2			
VP_3			
VP_4			

メニューを使用してリファイン済みページをリンクするには、次の手順を実行します。

1. ［**バージョン ページ**］表示の左のウィンドウ枠で、リファイン済みページを選択します。詳細については、43 ページの「リファイン済みページをリンクする」を参照してください。
2. ［**バージョニング**］メニューまたはコンテキスト メニューで［**リンク**］を選択します。
3. ［**> ページのリンク**］ダイアログ ボックスで、必要に応じて次の手順を実行します。

実行する内容	クリックするボタンと以降の手順
行にリンク	**バージョン ページ 1 ページ分**のボタン。ページをリンクするバージョン ページをクリックしてから、［**OK**］をクリックします。 ［**バージョン ページへのリンク**］ダイアログ ボックスが表示されます。詳細については、50 ページの「行にリンクする」を参照してください。
列にリンク	［**1 つまたは複数のレイヤー**］ボタン。ページをリンクするレイヤーをクリックしてから、［**OK**］をクリックします。 ［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスが表示されます。詳細については、51 ページの「列にリンクする」を参照してください。
すべての列へのリンク（モデル 3 に適用可能、2 つ以上のバージョン ページのすべてのレイヤーへのリンク）	［**バージョン ページ**］ボタン、次に［**すべて選択**］をクリックし、［**リンク**］をクリックします。 ［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスが表示されます。詳細については、51 ページの「列にリンクする」を参照してください。

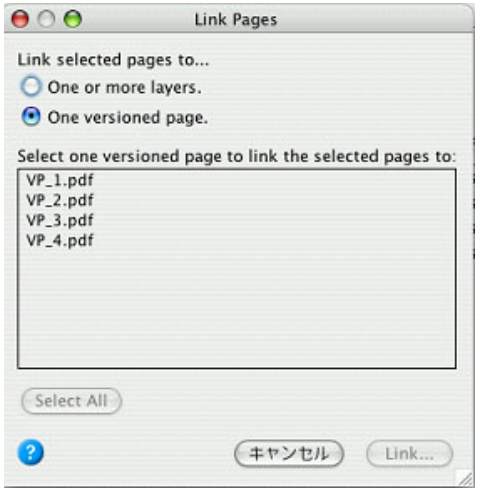


図 14: ［ページをリンク］ダイアログ ボックス

行にリンクする

行にリンクすると、バージョン ページの 1 ページ分（および多くのレイヤー）にリンクすることになります。行にリンクする場合は、［**バージョン ページへのリンク**］ダイアログ ボックスを使用します。詳細については、次の図を参照してください。

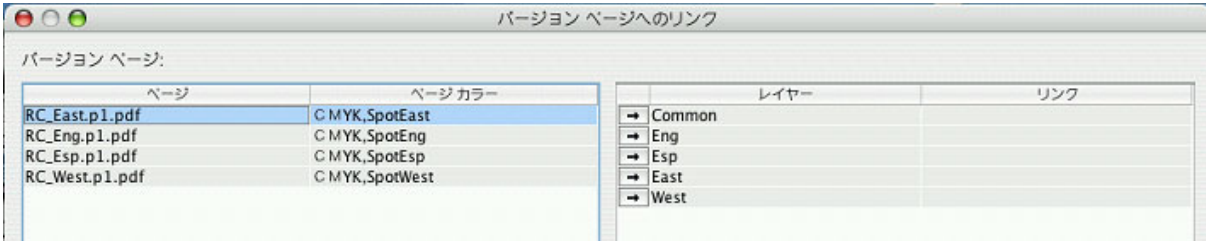


図 15: ［バージョン ページへのリンク］ダイアログ ボックス

リファイン済みページを行にリンクするには、次の手順を実行します。

1. ［**バージョン ページへのリンク**］ダイアログ ボックスの左側のリストで、リファイン済みページを選択し、ページを関連付ける必要があるレイヤーの横にある**矢印の**ボタン ➔ をクリックします。

   ヒント：誤った矢印ボタンを選択した場合には、［戻る］ ↵ ボタンを選択してリファイン済みページのリンクを解除します。

2. 選択したバージョン ページに必要な、残りのリファイン済みページに対して同じ手順を繰り返します。

リファイン済みページすべてのリンク設定を終了したら、次の手順は 54 ページの「バージョン ページを生成する」です。

入力ファイルのモデルが異なる場合の例については、「付録 A、入力ファイル モデルの動作と構造」を参照してください。

列にリンクする

列にリンクすると、1 つのレイヤー（および多くのバージョン ページ）にリンクすることになります。列にリンクする場合は、［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスを使用します。詳細については、次の図を参照してください。

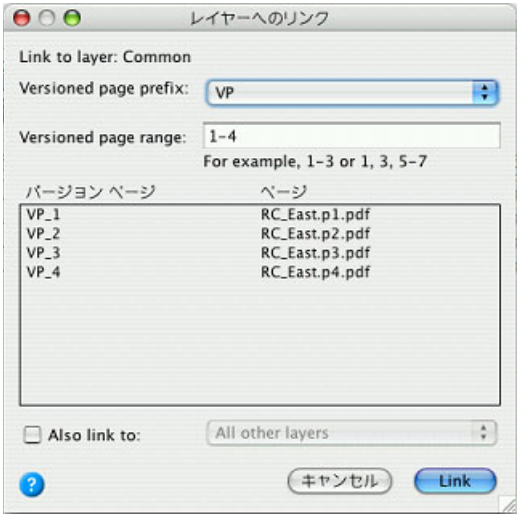


図 16: ［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックス

リファイン済みページを列にリンクするには、次の手順を実行します。

1. ［**レイヤーへのリンク**］ダイアログボックスの［**範囲**］ボックスに、リファイン済みページをリンクするバージョン ページの範囲を入力します。
2. 他のレイヤーもリンクする場合、［**追加のリンク先**］チェック ボックスをクリックし、リストからレイヤーを選択します。
3. ［**リンク**］をクリックします。



Tip: ［範囲］ボックスの詳細については、52 ページの「［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスの［範囲］ボックス」を参照してください。

リファイン済みページはリンクされたページのリストに表示されます。

リファイン済みページすべてのリンクを終了したら、次の手順は 54 ページの「バージョン ページを生成する」です。

入力ファイルのモデルが異なる場合の例については、「「付録 A、入力ファイル モデルの動作と構造」」を参照してください。

［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスの［範囲］ボックス

［**レイヤーへのリンク**］ダイアログ ボックスの［**範囲**］ボックスを使用して、次のリンクを設定することができます。

- **関連付けられているページをそれぞれバージョン ページの 1 ページ分にリンク — バージョン ページをそれぞれ指定**

  例：**1, 3, 6**
  最初の指定ページがバージョン ページの 1 ページに、2 番目に選択されたページがバージョン ページの 3 ページに、3 番目に選択されたページがバージョン ページの 6 ページにリンクされます。

- **指定のページをバージョン ページの 1 ページにリンク — バージョン ページを範囲として指定**

  例：**1-3, 6**
  最初の指定ページがバージョン ページの 1 ページに、2 番目のページがバージョン ページの 2 ページに、3 番目のページがバージョン ページの 3 ページに、4 番目のページがバージョン ページの 6 ページにリンクされます。

  注意：この構文ではバージョン ページが作成されません。たとえば、バージョン ページの 2 ページ目が存在しない場合、作成されません。バージョン ページの 2 ページ目が存在しない場合、この例では最初の指定ページをバージョン ページの 1 ページに、2 番目のページをバージョン ページの 3 ページに、3 番目のページを 6 ページにリンクします。

- **指定の各ページを複数のバージョン ページにリンク — 括弧を使用**

  例：**(1,3), 6**
  最初の指定ページをバージョン ページの 1 ページと 3 ページに、2 番目のページをバージョン ページの 6 ページにリンクします。

  例：**(1-3), 6**
  最初の指定ページをバージョン ページの 1、2、および 3 ページに、2 番目のページをバージョン ページの 6 ページにリンクします。

リファイン済みページのリンクを解除する

1. ［バージョン ページ］表示の右側のリストで、リンクを解除するリファイン済みページを選択します。

   注意：連続しない範囲を選択するには、CTRL キーを押しながらリファイン済みページを選択します。

2. ［**バージョニング**］メニューから［**リンク解除**］を選択します。

   ヒント：右クリックしてコンテキスト メニューを表示し、リファイン済みページのリンクを解除することもできます。

関連付けられているページのリストを表示する

バージョン ページに関連付けられているページのリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. バージョン ページを［**ページ**］表示の［**ページ**］ウィンドウ枠で選択します。
2. ［**ファイル**］>［**情報を見る**］をクリックします。

   ［**情報を見る**］ダイアログ ボックスで、［**リンクされたページ**］の項目に関連付けられているページが表示されます。

そのページが関連付けられているバージョン ページのリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. 関連付けられているページを［**ページ**］表示の［**ページ**］ウィンドウ枠で選択します。
2. ［**ファイル**］>［**情報を見る**］をクリックします。

   ［**情報を見る**］ダイアログ ボックスで、［**リンク先のバージョン ページ**］の項目に関連付けられているページが表示されます。

バージョン ページを生成する

バージョン ページのメタデータをレイヤー PDF ページに変換するには、バージョン ページで生成プロセスを実行する必要があります。生成プロセスを実行した後で、ページを出力し、Acrobat でバージョン ページを表示できます。

生成プロセス

生成プロセスはバージョン ページそれぞれに対して、次の処理を実行します。

- バージョン プランで割り当てられたカラーに応じて :
  - 関連付けられているページをそれぞれ比較し、ベース オブジェクトを識別します（入力ファイル モデル 1 および 2 のみ）
  - バージョン プランのベース レイヤーに基づいた名前の PDF レイヤーに、ベース オブジェクトを抽出します
  - バージョン プランで指定されたバージョンに基づいた名前の PDF レイヤーに固有のオブジェクトを抽出します
- 入力ファイル モデル 1 および 2 では、差し替えレイヤーが関連付けられているページに、ベース オブジェクトと一致するオブジェクトをマッチングしようとします。オブジェクトが指定の条件に一致しない場合、ベース レイヤー オブジェクト、および対応した一致しない差し替えレイヤー オブジェクトの両方が PDF レイヤーに抽出されます。このレイヤーはデフォルトで「**エラー**」と呼ばれます。

  詳細については、62 ページの「エラー レイヤーのオブジェクト」を参照してください。

  注意 : エラー レイヤー名はユーザー定義です。詳細については、56 ページの「生成プロセス テンプレートのオプション」**を参照してください。**
- バージョン プランのレイヤーで指定されていないカラーを持つすべてのオブジェクトを検索し、エラー レイヤーに抽出します。
- \Job\Subpage ディレクトリで、レイヤー PDF バージョン ページを保存します。

生成プロセス テンプレート

生成タスクでは、生成プロセス テンプレートを使用する必要があります。次の図に、生成プロセス テンプレートを示します。

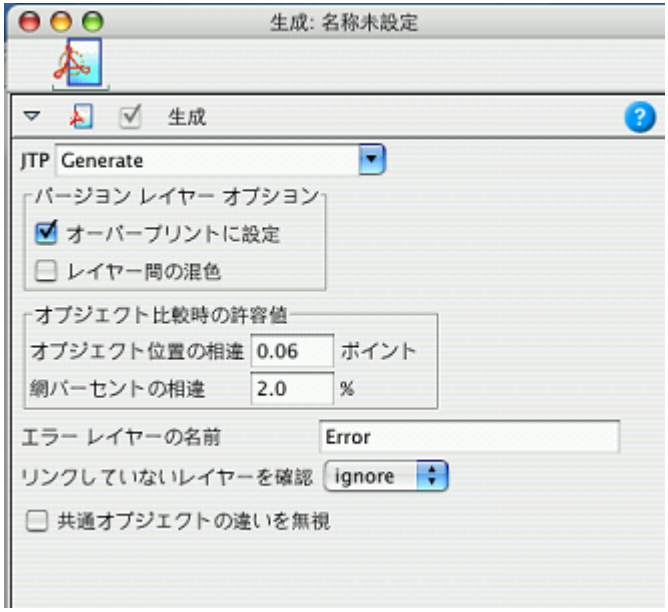


図 17: 生成プロセス テンプレート

生成プロセス テンプレートの各オプションについては、次の表を参照してください。

表 2: 生成プロセス テンプレートのオプション

オプション	説明
［**JTP**］リスト	バージョン ページで使用する JTP (Job Ticket Processor) を選択します。
バージョン レイヤー オプション • ［**オーバープリントに設定**］チェック ボックス • ［**レイヤー間の混色**］チェック ボックス	これらのオプションを使用し、すばやくノックアウトやオーバープリントの問題を修正します。 ［**オーバープリントに設定**］チェック ボックス — 差し替えレイヤーのオブジェクトがベース レイヤーにノックアウトを生み出し、そのノックアウトが各バージョンで同じではない場合には、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスにより、変更オブジェクトをすべてオーバープリントに設定できます。ここで変更オブジェクトとは、ベース レイヤー以外のレイヤーにリンクされたページのオブジェクトです。たとえば、ベース レイヤーの CMYK 画像で英語とフランス語のテキストがブラックで印刷される場合、各言語のテキストはオーバープリントである必要があります。オーバープリントでない場合には、両方の言語でのベースの CMY 版がノックアウトされ、ブラックのテキストを重ねる際に問題が生じます。 **注意：100% ホワイトのオブジェクトでは処理が異なるため、特定の色版でノックアウトされることがあります。詳細については、68 ページの「バージョニング ホワイト オブジェクト」を参照してください。** ［**レイヤー間の混色**］チェック ボックス — 差し替えレイヤーの「表示されない」オブジェクト（ページの空白部分でインキ設定が 0% のオブジェクト）が、1 つまたは複数のベース レイヤーの版との境界をぼかしたりノックアウトにする場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスは PDF の透明機能を使用してレイヤーにドロップ シャドウを適用したり、露光を数回行って二重焼きの効果をシミュレートします。このチェック ボックスを使用すると、バージョニングのオブジェクトのホワイトまたはクリアな部分を透明にし、カラーと網パーセントが設定されたオブジェクトだけがその部分の色調を決定します。 **注意：一部だけ画像にかかっているテキストがページにある場合、［レイヤー間の混色］チェック ボックスをオンにすると、画像にかかっている文字とかかっていない文字の間の違いは 300 dpi 程度の低解像度では確認できます。ここの違いは 1200 dpi 程度の高解像度では確認されません。**

オプション	説明
オブジェクト比較時の許容値 • ［**オブジェクト位置の相違**］ボックス • ［**網パーセントの相違**］ボックス	入力ファイル モデル 1 または 2 を使用している場合、［**オブジェクト位置の相違**］ボックスに、（異なるページでの）2 つの同一のオブジェクト間の最大距離を入力します。オブジェクトのずれがこの距離以内の場合は同じオブジェクトと見なされます。 入力ファイル モデル 1 または 2 を使用している場合、［**網パーセントの相違**］ボックスに、（異なるページでの）2 つの同一のオブジェクト間の最大網パーセントの相違を入力します。オブジェクトの相違がこの網パーセント以内の場合は同じオブジェクトと見なされます。
［**エラー レイヤーの名前**］ボックス	バージョン プランに割り当てられていないすべてのオブジェクトを（関連付けられているページに）含んでいる PDF レイヤーの名前を入力します。
［**すべてのレイヤーのリンクを確認**］リスト	［**警告**］を選択すると、バージョン ページに少なくとも空のレイヤーが 1 つある場合にメッセージが送られます。［処理情報］ダイアログ ボックス、および［履歴］表示でメッセージが表示されます。 これらのメッセージを受信したくない場合には、［**無視**］オプションを選択します。
［**共通オブジェクトの違いを無視**］チェック ボックス	入力ファイル モデル 1 または 2 を使用している場合、このボックスを選択すると「共通」オブジェクト間の違いが無視されます。この共通オブジェクトとは、ベース レイヤーにあるカラーで差し替えレイヤーのページにもあるオブジェクトです。 **注意：このチェック ボックスをオンにするのは、作成アプリケーションでページを調整しても修正できない問題のあるファイルを取り扱う場合だけにすることをお勧めします。** オブジェクトの見かけが同一であっても、構造が異なる場合があります。相違がある場合は、オブジェクトを作成したアプリケーションのバージョンが異なると考えられます。このチェック ボックスをオンにし、これらの相違を無視できます。 **重要：このチェック ボックスをオンにすると、共通オブジェクトの適合性を自動的にチェックするソフトウェアが無効になります。このため、バージョン ページをプルーフする際は、すべての差し替えレイヤーのオブジェクトがベース レイヤーの見当と合っているかどうかを確認することをお勧めします。**

バージョン ページを生成する

バージョン ページを生成するには、次の手順を実行します。

1. ［ページ］表示または［バージョン ページ］表示で、生成するバージョン ページを選択します。
2. ［**プロセス**］メニューから［**生成**］を選択し、使用する生成プロセス テンプレートを選択します。
3. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、必要に応じてオプションを修正します。

   必要に応じて、［**プロセス テンプレートの編集**］をクリックし、プロセス テンプレートを修正して［**OK**］をクリックすると、プロセスを開始する前にプロセス テンプレートを修正できます。プロセス テンプレート オプションの説明については、56 ページの表 2 を参照してください。
4. ［**OK**］をクリックしてプロセスを開始します。

生成ステータスを監視する

バージョン ページを一度生成した後で、関連したデータのリンクの解除など、何らかの変更を行った場合には、ページを再生成する必要があります。Prinergy LPV ではバージョン ページの横にステータス アイコンが表示され、どのバージョン ページを生成する必要があるかを識別できます。

再生成を必要とする変更

次の操作を行うと、影響を受けたバージョン ページは再度生成する必要があります。

- バージョン プランの変更（たとえば、レイヤーやバージョンを追加、削除する場合、またはカラー変換を変更する場合）
- リンクの変更（たとえば、リファイン済みページをリンクまたはリンク解除する場合）
- 関連付けられたバージョン ページが生成された後でそのページをリファインした場合
- ［ページ ジオメトリの設定］ダイアログ ボックスを使用したジオメトリの変更



重要：関連付けられているページを Acrobat で変更した場合、ページをもう一度リファインし、関連付けられたバージョン ページをもう一度生成する必要があります。

関連付けられているページが Acrobat で変更され、もう一度リファインする必要が生じても、Prinergy は警告を出しません。

生成ステータスを表示する

一度バージョン ページの生成を開始したら、［ページ］表示または［バージョン ページ］表示で生成ステータスを表示します。生成が必要なバージョン ページを出力することはできません。

［ページ］表示

［ページ］表示でのバージョン ページに関する情報は次の 2 つで表示されます。

- ［**生成が必要かどうか**］— 生成する必要があるかどうかを表示
- ［**生成プロセスの結果**］— 直前の生成プロセスが成功したかどうかを表示

生成が必要

次の列は、バージョン ページを生成する必要があるかどうかを示します。

- ［**ページ**］と［**ページ位置**］列 — 次の図に示す アイコンを表示
- ［**バージョン ページ ステータス**］列 — 「生成が必要」または「生成済み」のいずれかを表示

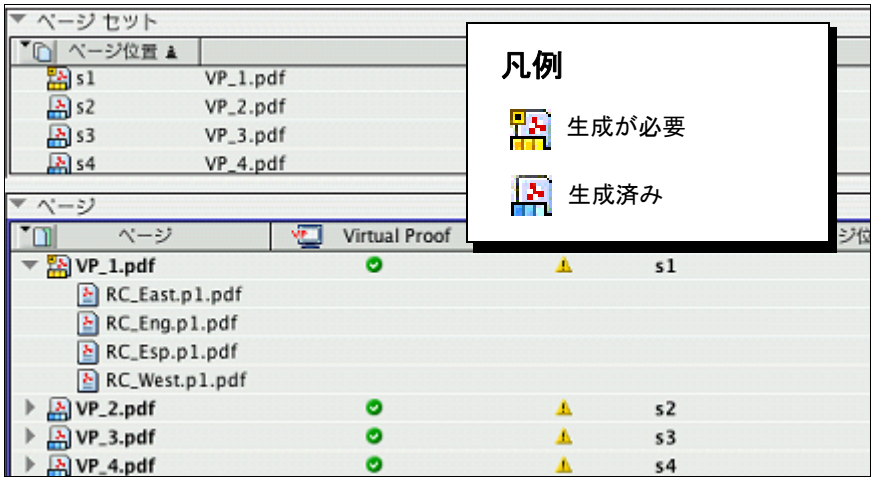


図 18: ［ページ］表示の生成ステータス アイコン

生成プロセスの結果

［**生成**］列では、直前の生成プロセスが成功したか、失敗したかを確認できます。つまり、再生成を必要とする変更を行う場合、この列のアイコンは変更しないことになります。このアイコンは生成プロセスによってのみ影響を受けます。

この列で使用されるアイコンは、他のプロセスでも使用される標準のものです。

注意：列の名前にはプロセス テンプレート グループ名が使用されます。たとえば、プロセス テンプレートの Dave グループで生成プロセス テンプレートを使用する場合、バージョン ページ生成ステータスを識別する列には Dave という名前が付けられます。

[ページ] 表示の推奨される表示項目

多くのジョブで、特定のファイル属性がページごとに異なっていないかどうか注意する必要があります。このため、[**ページ**] 表示の [**ページ**] ウィンドウ枠で、次の列を表示することをお勧めします。

- バージョン ページのステータス
- ページ カラー
- トリミング サイズ
- メディア サイズ
- オフセット

注意：LPV ジョブでは、[ページ] 表示の [ページ] ウィンドウ枠では [**入力ファイルによるグループ化**] ボタンは使用できません。[**割り当てによるグループ化**] ボタンは使用できます。

[バージョン ページ] 表示

[バージョン ページ] 表示では、アイコンは生成が必要かどうかと、生成プロセスの結果の両方を示します。アイコンは次の図のように表示されます。



図 19: [バージョン ページ] 表示の生成ステータス アイコン

生成の警告を調査する

生成プロセスが正常に実行されていても、エラーのあるページについて警告される場合があります。関連付けられているページにエラーがある場合、Prinergy は［**処理情報**］ダイアログ ボックスおよび［**履歴**］表示でページの名前を報告します。

処理時に他のファイルに影響を与えている問題のファイル

入力ファイル モデル 1 および 2 の生成中に、関連付けられているページで問題が検出されると、Prinergy はその処理を行うすべてのページを続けて検証します。これらのファイルにはエラーはない可能性があります。

ファイルにエラーがあるかどうかを確認するには、問題ファイルを削除し、残りのファイルを再生成します。エラーがない場合、ファイルは正常に処理されます。

最初の問題ファイルの後で、Prinergy が残りのファイルの検証を続けるのは、Prinergy がそれぞれのファイルを前に処理されたファイルと比較するためです。このため、あるファイルに問題があると、処理する残りのファイルはすべてそのファイルと比較され、エラーがない場合でもステータスは正しく反映されません。

エラー レイヤーのオブジェクト

Prinergy LPV は次のオブジェクトを PDF レイヤーに抽出します。これにはデフォルトで「**Error**」という名前が付きます。

- バージョン プランで指定されていないカラーで定義されているオブジェクト。たとえば、カラー Spot5 を抽出するように設定されているバージョン プラン レイヤーがない場合、Spot5 のカラーが付いたオブジェクトはエラー レイヤーに配置されます。
- 入力ファイル モデル 1 および 2 で、共通と見なされる場合でも正確には異なる、さまざまなページからのオブジェクト。たとえば、差し替えレイヤーが関連付けられているページのオブジェクトが適切に配置、サイズ設定、カラー設定されておらず、それ以外の点ではベース レイヤーのオブジェクトと同じ場合、オブジェクト（コントロール オブジェクトおよびテスト オブジェクト）が両方ともエラー レイヤーとして抽出されます。このオブジェクトは、出力において生じる可能性がある見当ずれを避けるために、エラー レイヤーとして抽出されます。

エラーを表示するには、［ページ］表示の［ページ］ウィンドウ枠で、問題のあるレイヤー PDF ページ (VP_xxx.pdf) を Adobe Acrobat で開くことができます。問題のあるページでエラー レイヤーを表示し、他の PDF レイヤーすべての表示をクリアして、エラーのあるオブジェクトを分離させてください。

オブジェクトが最初のベース オブジェクトに一致しない理由を調べる場合には、次の属性を比較してください。

- 位置
- フォント
- カラー
- 関連付けられた ICC プロファイル
- クリッピング パス
- オブジェクトがページ上で他のオブジェクトと重なる順序（Z オーダー）

オブジェクトがなぜ「エラー」レイヤーに表示されるかを判定できない場合は、Prinergy PDF Compare Acrobat プラグイン（別途ライセンスが必要です）を使用すると、オブジェクト間の相違を見つけるために役立ちます。



注意：エラー レイヤーのオブジェクトを印刷しない場合には何の処理も必要ありません。オブジェクトをエラー レイヤーに残したままにしてください。

関連付けられているリファイン済みページを修正する

関連付けられているページにエラーがある場合、問題が明白でなく、かつ他のページを生成し続ける場合には、後で問題を修正する場合があります。続けて他のページを生成するには、問題のあるバージョン ページのリンクを解除する必要があります。

エラーの理由が明白で簡単に修正できる場合、エラーをすぐに修正してください。

関連付けられているページを修正するには、次の手順を実行します。

1. 必要に応じて次の処理を実行します。

関連付けられているページを修正する場合	実行する手順
すぐに修正	次の手順に進みます。
後で修正	バージョン ページから関連付けられているページのリンクを解除します。詳細については、53 ページを参照してください。他の関連付けられているページを続けて生成します。問題のあるファイルを修正する準備ができたら、次の手順に進みます。

2. 必要に応じていずれかを実行します。

状況	実行する手順
Adobe Acrobat でエラーを修正可能	ページをダブルクリックして関連付けられているページを表示し、オブジェクトを修正します。
QuarkXpress または Adobe Illustrator などの元の作成アプリケーションでエラーを修正する必要がある	元のファイルを作成アプリケーションで表示し、オブジェクトを修正します。修正されたファイルを Prinergy ジョブに追加します。

3. 修正されたページ（バージョン ページではなく）をもう一度リファインします。
4. 必要に応じていずれかを実行します。

状況	実行する手順
問題のあるページのリンクを手順 1 で解除していない	次の手順に進みます。
問題のあるページのリンクを手順 1 で解除した	修正され、リファイン済みページを適切なバージョン ページにリンクします。

5. バージョン ページを再生成します。

Prinergy は生成が必要なバージョン ページをリストアップします。詳細については、60 ページの「生成が必要」を参照してください。

生成されたページを Acrobat で表示する

一度バージョン ページが正常に生成されると、Adobe Acrobat 6.0 またはそれ以降のバージョンでレイヤー PDF ファイルを表示できます。レイヤー PDF ファイルにより、1 つのウィンドウでバージョン ページをすべて表示できます。

レイヤー PDF ファイルのレイヤーはバージョン プランのレイヤーに対応しません。次のタイプのレイヤーをレイヤー PDF ファイルで使用できます (Acrobat)。

- ベース レイヤー — ベース オブジェクトを含みます（これはバージョン プランで使用されるベース レイヤーと同じです)。
- バージョンの差し替えレイヤー — ベース オブジェクトを除き、バージョンごとのオブジェクトを含みます。バージョン差し替えレイヤーはバージョンのレイヤーすべての組み合わせです。

たとえば、ショップ カタログの例については次のレイヤーを参照してください。

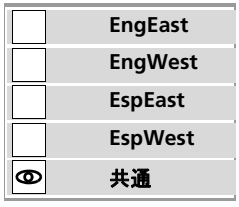


図 20: Acrobat **の** PDF **レイヤー**

デフォルトでレイヤー PDF ページは Acrobat で表示し、エラー レイヤー（該当する場合）とベース レイヤーだけを表示します。バージョン差し替えレイヤーを参照するには、対応するバージョン差し替えレイヤーの横にあるチェック ボックスをオンにします。

ジョブに 2 つ以上のベース レイヤーがある場合、ベース レイヤーはそれぞれ Adobe Acrobat で別個のレイヤーとして表示されます。たとえば、レイヤー PDF ファイルで次のレイヤーを選択できます（Acrobat で)。

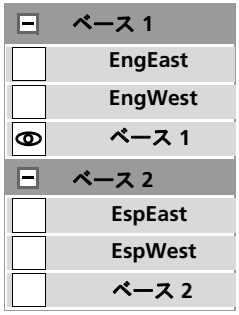


図 21: Acrobat の複数のベース レイヤー

重要：複数のベース レイヤーを一度に表示しても見えない場合があります。これはあるレイヤーが別のレイヤーを完全に覆ってしまうためです。選択するベース レイヤーは 1 つだけにしてください。表示するベース レイヤーを 2 つ選択すると、レイヤー タブで最初にリストアップされているベース レイヤーが上部に表示されます。

Acrobat で、バージョン差し替えレイヤーは、図 21 で示すように、関連付けられたベース レイヤーに応じてグループ化されます。

バージョン ページは、デフォルトでは最初のベース レイヤーのみ表示されます。他のベース レイヤーと変更レイヤーを表示するには、対応するレイヤーの横にあるチェック ボックスをオンにします。

バージョン ページをページ セットまたは面付けプランに割り当てる

バージョン ページを作成した後で、バージョン ページをページ セットまたは面付けプランに割り当てます。

LPV では、バージョン ページを割り当てる方法は、バージョニングされていないページを割り当てる方法と同じです。



重要：バージョン ページ（バージョン ページに関連付けられているページではなく）をページ位置に割り当てる必要があります。



ヒント：生成されていないバージョン ページは、ページ セットまたは面付けプランに割り当てることができます。ただし、ページは生成されるまで出力できません。

通常のジョブと同様に、バージョン ページをページ セットに割り当てる方法は 4 つあります。

- ページ セットを作成し、面付けプランとは無関係にバージョン ページを割り当て、次に［**既存のページ セットを使用する**］オプションを選択して面付けプランをインポートします。
- ページ セットを作成する面付けプランをインポートし、面付けプランのページ位置にバージョン ページを割り当てます。
- ジョブ マネージャーの［**ファイル**］メニューで［**面付けの新規作成**］を選択し、Preps ソフトウェアまたは他の認定された面付けソフトウェアを使用して、面付けプランを作成し、バージョン ページを面付けプラン ページ セットのページ位置に割り当てます。
- 新規面付けプランをインポートし、Prinergy APA を使用して、バージョン ページをページ セットに自動的に割り当てます。

ページをリファインしたら、単ページ プルーフを出力できます。面付けプランのページ位置をすべて割り当てると、面付けを出力できます。LPV ジョブからの出力の詳細については、次の章を参照してください。



ページ セットの追加方法、Prinergy APA の使用方法、面付けプランのインポート方法、および統合された面付けソフトウェアの設定方法の詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

バージョニング ホワイト オブジェクト

バージョニング ホワイト オブジェクトが別のカラー オブジェクトの上に配置されている場合、カラー付きのオブジェクトを構成するカラーはバージョン プランで抽出する必要があります。（バージョニング ホワイト オブジェクトはすべてのバージョンで表示されないホワイト オブジェクトです。）

たとえば、次のオブジェクト（シアン ボックスのホワイト テキスト）については、バージョン プランで影響を受けるバージョンそれぞれについてシアンを抽出する必要があります。

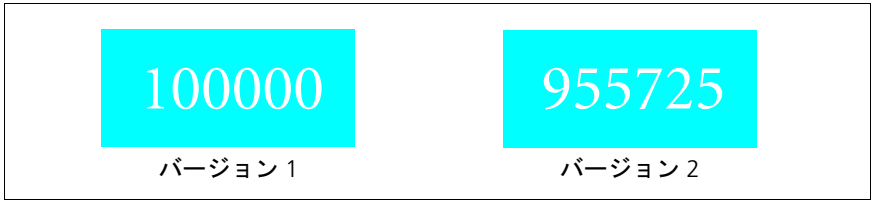


図 22: バージョンニング ホワイト オブジェクト

バージョン	使用するカラー	出力する版
共通	CMYK	個別に出力
バージョン 1	CK	個別に出力
バージョン 2	CK	個別に出力

抽出されていないバックグラウンド オブジェクト カラー

バージョン レイヤーのバックグラウンド オブジェクトを構成するカラーを抽出しない場合、予期しない出力となる場合があります。次の例を参照してください。

［オーバープリントに設定］をオフにする

シアンがバージョン レイヤーとして抽出されていない場合、［**オーバープリントに設定**］チェック ボックスをオフ（選択解除）にすると次のようになります。

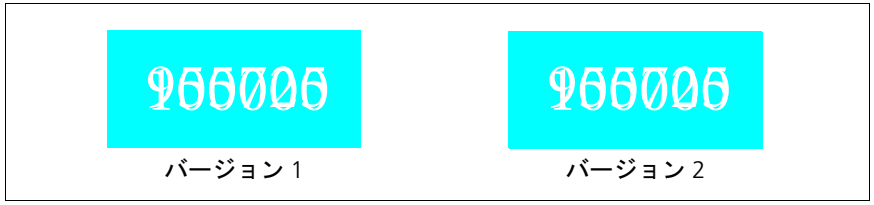


図 23: バージョニング ホワイト オブジェクト：［オーバープリントに設定］がオフの場合

ホワイト オブジェクトは Acrobat の「共通」レイヤーに含まれており、見ることができます。

［オーバープリントに設定］をオンにする

シアンがバージョン レイヤーとして抽出されていない場合、［**オーバープリントに設定**］チェック ボックスをオン（選択状態）にすると次のようになります。

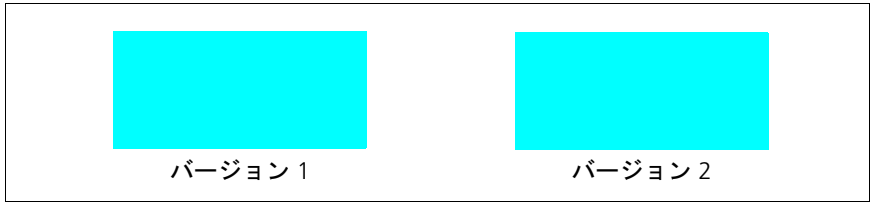


図 24: バージョニング ホワイト オブジェクト：［オーバープリントに設定］をオンにする

4 LPV ジョブから出力する

はじめに 72
出力オプション 73
PDF ベクター ファイルを出力する 78
Virtual Proofing System ファイルを出力する....79
最終出力と版の指定 80
可変マーク....82
Prinergy の指定による出力ファイル名 84
LPV ジョブのインポートおよびエクスポート 87

はじめに

この章では、レイヤー PDF バージョニング (LPV) ジョブ、および LPV ではないジョブを出力するときのオプションと考慮すべき点について説明します。。

- 出力オプション。詳細については、73 ページを参照してください。
- PDF ベクター ファイルの出力。詳細については、78 ページを参照してください。
- Virtual Proofing System ファイルの出力。詳細については、79 ページを参照してください。
- 最終出力とプレート変換。詳細については、80 ページを参照してください。
- 可変マーク。詳細については、82 ページを参照してください。
- Prinergy の指定による出力ファイル名。詳細については、84 ページを参照してください。
- 最終出力と版の指定。詳細については、84 ページを参照してください。



ヒント： このガイドの手順では、メニュー バーを使用してタスクを実行する方法について説明します。タスクによっては、[Workshop] ウィンドウ上で右クリックし、コンテキスト メニューを使用してすばやく実行することもできます。



プルーフと最終的な出力を作成する方法、およびプロセスを開始する方法については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

出力オプション

LPV ジョブの出力では、次のオプションを使用します。

- **選択したバージョンを出力します**。詳細については、74 ページを参照してください。
- **すべてのバージョンを重ねます**。詳細については、74 ページを参照してください。
- **1 つの面に複数のバージョンを出力します**。詳細については、75 ページを参照してください。
- **バージョニング プルーフにカラーを割り当てます**。詳細については、77 ページを参照してください。

注意：ここでの例では、次のようにバージョンを表記します。
EE = EnglishEast、EW = EnglishWest、SE = SpanishEast、**および** SW = SpanishWest

すべてまたは選択したバージョンを出力する

デフォルトでは、すべてのバージョンが出力されます。プルーフを作成する時には、出力する個別のバージョンを選択できます。例を次に示します。



選択したバージョンを出力するには

1. 必要に応じていずれかを実行します。

出力	実行する手順
単ページ プルーフ	出力するバージョン ページを［**ページ**］表示の［**ページ**］ウィンドウ枠で選択します。
面付けプルーフ	出力する面を［**折丁**］表示の［**面付けプラン**］ウィンドウ枠で選択します。

2. 出力プロセスを開始します。
3. ［**プロセスの開始**］ダイアログ ボックスで、［**オプション**］領域を開き、［**選択したバージョンの出力**］をクリックし、出力するバージョンを選択します。

すべてのバージョンを重ねる

プルーフ出力を作成する時に、ページのバージョンをすべて重ねるように選択できます。これにより、バージョンがすべて互いに重なり合って印刷されるようなプルーフを作成できます。例を次に示します。

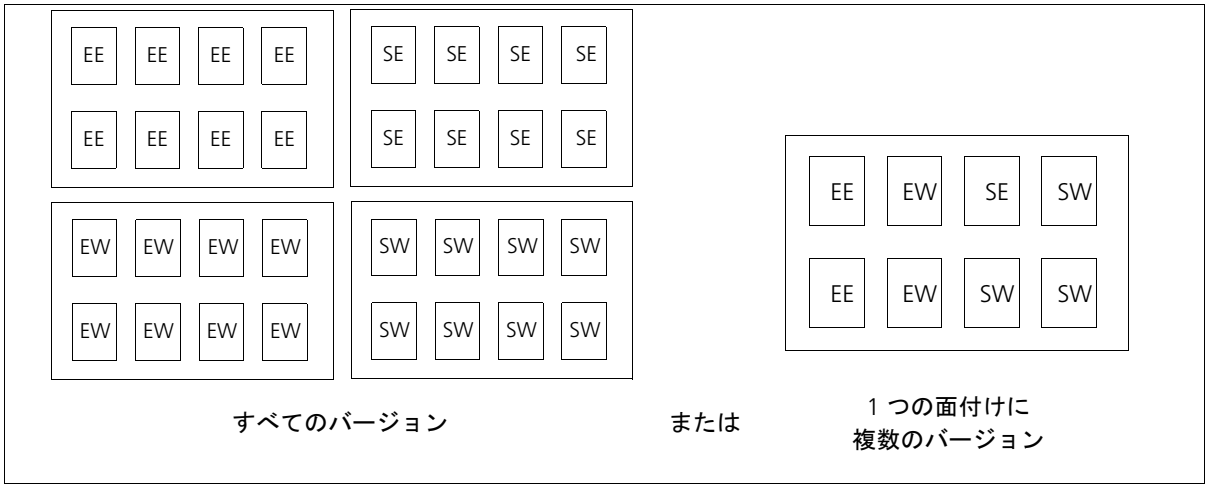


すべてのバージョンを重ねるには、次の手順を実行します。

1. バージョンを重ねてプルーフを作成する際に使用する出力プロセス テンプレートを開きます。
2. 出力プロセス テンプレートの［**レンダー**］セクションで、［**バージョン レイヤーを重ねる**］チェック ボックスをオンにします。
3. 変更したプロセス テンプレートを使用して出力プロセスを開始します。

1 つの面に複数のバージョンを出力する

面を出力する時に（面付けプルーフおよび最終出力）、さまざまなバージョンのページを 1 つの面で出力できます。デフォルトでは、面のすべてのページが同じバージョンで出力されます。



この機能の条件は次のとおりです。

- それぞれの面でのページは、以下のいずれかになります。
  - **すべてのバージョン** — バージョン プランの各バージョンに 1 つの面付けを使用します。面付けのページ位置は、すべてのバージョンで同じです。

    または

  - **1 つの特定のバージョン** — 面付けの各ページ位置ごとに内容が異なる配置で出力します。

注意：「すべてのバージョン」と特定のバージョンのみで使用されているページが同じ面に配置されて出力されると、次のエラー メッセージが表示されます。

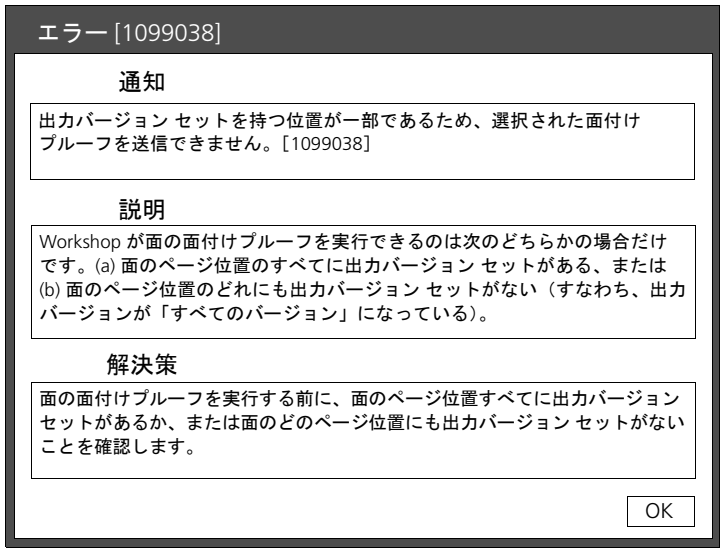


図 25: 面付けにおいて出力バージョンのタイプが混合した場合のエラーメッセージ

- 出力するバージョンのページ位置は［折丁］表示でのみ設定できます。
- 面のページ位置がすべて［**すべてのバージョン**］に設定されている場合は、74 ページの「すべてまたは選択したバージョンを出力する」で説明されているように、選択したバージョンを出力できます。
- 面付けプランを変更し、同じ名前を使用して（既にジョブにある面付けプランとして）インポートし直し、インポート プロセス テンプレートで［**既存のページ セットと面付けを維持**］を選択した場合、出力バージョンの設定は保持されます。反対に、面付けプランの名前を変更するか、インポート プロセス テンプレートで［**代替ページ セットおよび面付けの作成**］を選択する場合、関連付けられた出力バージョン設定は［**すべてのバージョン**］に変更されます。
- 同じページ セットを使用した面付けプランは同じバージョンの出力に制限されません。たとえば、面付けプラン A と B が同じページ セットを使用している場合、面付けプラン A はすべてのバージョンを出力できますが、面付けプラン B は英語バージョンとスペイン語バージョンの混合を出力します。

面付けプランを設定して複数のバージョンを出力するには、次の手順を実行します。

1. ［折丁］表示の［**面付けプラン**］ウィンドウ枠で次の項目が表示されていることを確認します。
   - ［**出力バージョン**］列
   - 面の個別のページ位置
2. 出力バージョンを別のバージョンに変更するページ位置を選択し、［**バージョニング**］メニューの［**出力バージョンの設定**］をクリックして設定するバージョンを選択します。
3. 別のバージョンとして出力するページ位置に対して、手順 2 を繰り返します。
4. 面付けプルーフまたは最終出力のプロセスを開始します。

ヒント：［面付けプラン］ウィンドウ枠でページ位置を選択して右クリックし、コンテキスト メニューを表示して出力バージョンを設定することもできます。

バージョニング プルーフへのカラー割り当て

プルーフを出力する時に、差し替えオブジェクトを出力するカラーを選択し、共通オブジェクトから区別できます。

たとえば、EngWest バージョンと共通レイヤーの両方がバージョンプランで CMYK を使用する場合、差し替えオブジェクトすべてを明るいピンクなどの特別なカラーで出力し、差し替えブラックを共通ブラックから区別できます。

選択するカラー名は、カラー ライブラリにレシピとして登録されている必要があります。Prinergy がカラー レシピを見つけられない場合、差し替えオブジェクトはグリーンで出力されます。カラー ライブラリにレシピを追加する方法の詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

差し替えオブジェクトを区別するプルーフ プロセス テンプレートを作成するには、次の手順を実行します。

1. 使用するプルーフ プロセス テンプレートを開きます。
2. ［**レンダー**］セクションの［**バージョニング プルーフを次の色に置き換える**］ボックスに、差し替えオブジェクトに割り当てるカラー名を入力します。

3. プロセス テンプレートを保存します。

   差し替えオブジェクトを指定されたカラーでプルーフ出力する場合は、このプロセス テンプレートを使用します。

PDF ベクター ファイルを出力する



PDF ベクター ファイルの詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプの「サポートされる出力ファイル タイプについて」を参照してください。

PDF ベクター ファイルに出力する際は、次の点を確認してください。

- PDF 1.5 レイヤーを保持する場合、プロセス テンプレートの［**ファイル形式**］セクションで［**PDF レイヤーを保持**］チェックボックスをオンにします。これにより、ファイルが PDF 1.3 ファイルとして書き出されるのを防ぎます。PDF 1.3 ファイルではレイヤーがフラット化されます。
- ［**ファイル形式**］セクションで、目的の［**ファイル形式**］オプション（［**マルチページ ドキュメント**］または［**シングル ページ ドキュメント**］）を選択します。
- 出力ファイル名は固有の名前になります。詳細については、84 ページの「出力ファイル名の最良の設定」を参照してください。

注意： Prinergy は、複数のバージョンを持つ面に PDF レイヤーを保持したベクター PDF の面付けプルーフをサポートしていません。

Virtual Proofing System ファイルを出力する

ページをソフト プルーフ（プレビュー）することができる Virtual Proofing System ソフトウェアは、LPV ファイルをサポートできるように更新されています。

LPV ページを Virtual Proofing System へ出力する時に、プルーフ プロセス テンプレートの［**ファイル形式**］セクションの［**特殊な TIFF タグ**］チェック ボックスをオンにします。これにより、Virtual Proofing System ソフトウェアは色版をバージョンに自動的にソートできます。

Virtual Proofing System では、それぞれの色版、または色版の組み合わせをプレビューできます。さらに Virtual Proofing System には、各バージョンに必要な色版を表示するマークもあります。バージョンごとの色版を表示するには、［**色版**］パレットの情報ボタンをクリックします。

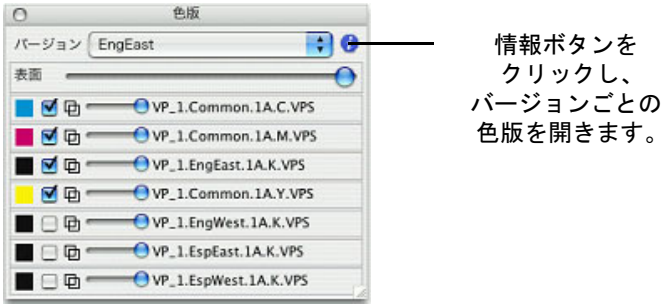


図 26：Virtual Proofing System **の［色版］パレット**

次の図に、バージョンごとの色版を示します。

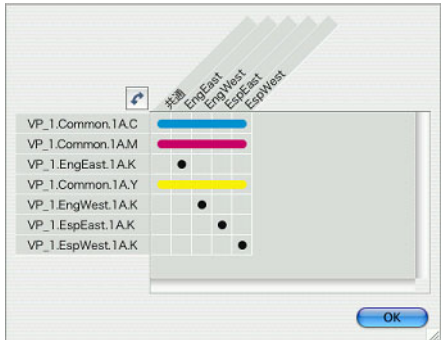


図 27：Virtual Proofing System **ソフトウェアのバージョンごとの色版**

LPV ジョブを持つ Virtual Proofing System ソフトウェアの詳細については、Virtual Proofing System オンライン ヘルプを参照してください。

最終出力と版の指定

LPV ジョブの最終出力を作成する時に、さまざまなバージョンに共通する色版が出力されるのは一度だけです。同じカラーのベース オブジェクトと差し替えオブジェクトはマージされます。

例

10 ページ で使用したショップ カタログの例では、差し替えオブジェクトがすべてブラックに変換されているため、C、M、および Y 版はすべてのバージョンに共通しています。

また、各バージョンのブラック版には、ブラックのベース オブジェクトと差し替えオブジェクトの両方が含まれています。たとえば、英語東部バージョンではブラックの最終出力の色版には英語のオブジェクト、東部価格設定のオブジェクト、およびブラックのベース オブジェクトが含まれています。色版が処理される方法については、次の図を参照してください。

図 29 に、カタログ ジョブの［**色版**］表示を示します。

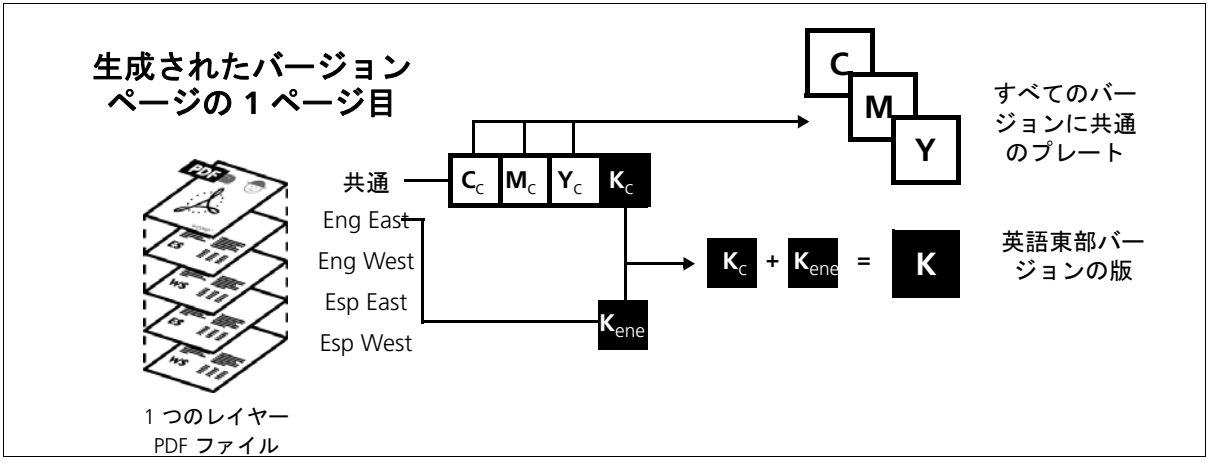


図 28：英語東部バージョンの 1 ページ目のための色版

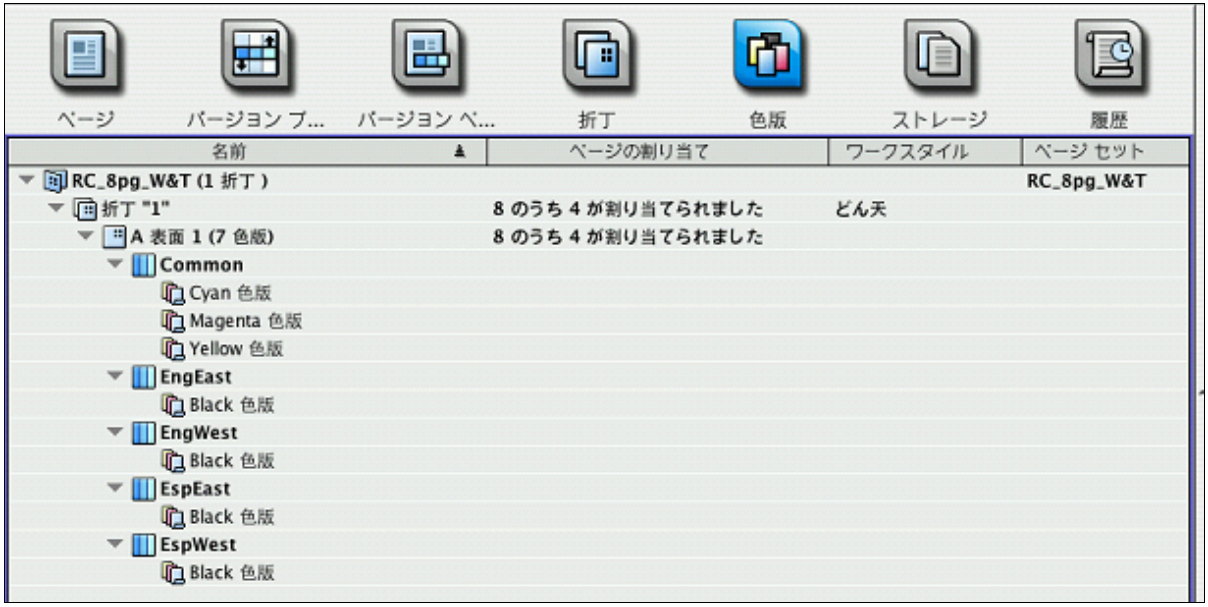


図 29：ショップ カタログの色版出力

可変マーク

長い値に置き換わる可能性がある他の可変マークと同様に、マークに置き換えられる値のために十分なスペースを確保してください。

LPV の可変マーク

追加の可変マークが LPV ジョブで利用できます。次の可変マークがあります。

マーク	説明
$[BaseLayer]	このマークはバージョンに関連したベース レイヤーの名前で置き換えられます。 このマークはコンポジット出力と色版出力で使用できます。色版に出力する場合、対応するベース レイヤー名がすべての色版に表示されます。 このマークは各面に複数のバージョンが出力される場合には効果がありません。このマークを複数のバージョンを出力する面で使用した場合は、何も印刷されません。
$［SurfaceVersion］	このマークは出力されたバージョンの名前で置き換えられます。各面に複数のバージョンが出力される場合は、このマークはマークに最も近いページ位置のバージョン名で置き換えられます。 このマークはコンポジット プルーフでのみ使用します。分版出力にこのマークを使用しないでください。
色版のためのマーク：次の LPV 可変マークは分版出力でのみ使用してください。 注意：各面に複数のバージョンが出力される際に次のマークが配置されると、各マークは、マークに最も近いページ位置に関連付けられたバージョンで置き換えられます。	
$[SeparationVersion]	すべての色版において、このマークは色版が関連付けられているバージョンの名前で置き換えられます。たとえば、色版が英語バージョンとフランス語バージョンに適用されてスペイン語バージョンには適用されない場合、ファイル名のコンポーネントは English_French となります。 **注意： このマークは版によってさまざまなテキストで置き換えられます。つまり、色版からコンポジット ページが作成されると、テキストはお互いにオーバープリントします。たとえば、** 其通ish **. となります。これを避けるために、場所によって次のようなマークを使用してください。**

マーク	説明
$[SeparationVersionUnique]	このマークを置き換えるのは、色版が固有なバージョンが 1 つだけの場合にマークが関連付けられているバージョンの名前です。たとえば、色版が関連付けられているバージョンが 1 つだけの場合に、このマークはバージョン名で置き換えられます。色版が 2 つのバージョンに関連付けられている場合、このマークは空白になります。
$[SeparationVersionCommon]	共通の色版では（すべてのバージョンで使用される色版）、このマークは「common」（共通）という語で置き換えられます。どのバージョンでも使用されていない色版では、このマークは空白になります。
$[SeparationVersionNoCommon]	共通でない色版において、このマークはそれが適用されるバージョンの名前で置き換えられます。たとえば、色版が英語バージョンとフランス語バージョンに関連付けられていて、スペイン語バージョンには関連付けられていない場合、ファイル名のコンポーネントは English_French となります。共通の色版では、このマークは空白になります。

Prinergy の指定による出力ファイル名

ファイルへ出力する場合、たとえばソフト プルーフを作成する時に、出力ファイル名を固有で意味あるものにしてください。LPV ジョブでは、出力用のデフォルトの（Prinergy の指定による）ファイル名には次のようなパターンが使用されます。

単ページ プルーフ

```
%page%.%SeparationVersion<20>%.%signature%%surface%.%color%%dotversion%%extension%
```

面付けプルーフおよび最終出力

```
%imposition%.%SeparationVersion<20>%.%signature%%surface%.%color%%dotversion%%extension%
```

ここで、

%SeparationVersion% は色版が適用されるバージョンの名前から構成されます。たとえば、色版が英語バージョンとフランス語バージョンに適用され、スペイン語バージョンには適用されない場合、ファイル名のコンポーネントは English_French となります。この場合、出力ファイル名は「**1VP_1.English_French.1A.K.1.pdf**」となります。これはちょうど 31 文字の長さになります。

%dotversion% は同じ名前のファイルの異なるリビジョンを指す番号です。最新ファイルにはリビジョンはなく、「**1VP_1.common.1A.K.pdf**」のようになります。

リビジョン番号が大きいほど古いリビジョンを指します。たとえば、「**1VP_1.common.1A.K.2.pdf**」は「**1VP_1.common.1A.K.1.pdf**」よりも前に作成されたことを指します。



ファイル名の他のコンポーネントを定義する詳細については、Prinergy Workshop **オンライン ヘルプを参照してください。**

出力ファイル名の最良の設定

ファイルに出力するときに Prinergy の指定によるファイル名を使用している場合、出力において %SeparationVersion% タグの 20 文字の文字数制限が十分であることを確認してください。詳細については、86 ページの「%SeparationVersion% タグを最小限の長さに抑える」を参照してください。

ファイルの出力時にカスタムのファイル名を使用している場合、%dotversion% タグを使用して出力ファイルが偶然に上書きされないようにしてください。また、86 ページの「%SeparationVersion% タグを最小限の長さに抑える」も参照してください。

AFP 向けの出力ファイル名の最良の設定

Macintosh の Apple Filing Protocol (AFP) を使用してファイルを出力している場合、カスタムのファイル名を使用してファイル名の長さを 31 文字以下にする必要があります。



重要：デフォルトの（Prinergy の指定による）ファイル名のパターンでは、ファイル名が 31 以下の文字数になることは保証されません。

ただし、出力ファイル名を固有で意味があり、31 文字以下の長さにする場合には、次の出力ファイル名のコンポーネントの長さを最小限にする必要があります。

- **単ページ プルーフ**の出力名については、ファイル名の「**%page%**」および「**%SeparationVersion%**」の部分を組み合わせた長さを 20 文字以下にしてください。
- **面付けプルーフ**の出力名については、ファイル名の「**%imposition%**」および「**%SeparationVersion%**」の部分を組み合わせた長さを 20 文字以下にしてください。

例を次に示します。



%SeparationVersion% タグを最小限の長さに抑える

%SeparationVersion% タグは、それが適用されるバージョン名から構成されているため、このファイル名のコンポーネントは長くなる場合があります。このため、特にジョブに多くのバージョンがある場合について、35 ページの「バージョン名の最良の設定」では、バージョン名をできる限り短くするように推奨しています。次の例を参照してください。

AFP 向けの面付け色版出力ファイル名の例

ファイル名を短くする前に

たとえば、次のバージョン名を使用する 4 つのバージョンがあります：つまり、**Vancouver（バンクーバー）**、**Toronto（トロント）**、**Montreal（モントリオール）**、および **Calgary（カルガリー）**のバージョン名です。

バンクーバー、トロント、モントリオールのバージョンに適用される色版がある場合、色版名は「Vancouver_Toronto_Montreal」となります。Prinergy の指定によるファイル名を使用している場合、出力ファイル名は次のようになります。

Impo_8pg_W&T.Vancouver_Toronto_Mo.1A.K.1.pdf （44 文字）

カスタムのファイル名を使用して面付けと SeparationVersion のコンポーネントをそれぞれ 9 文字に制限した後、

```
%imposition<9>%.%SeparationVersion<9>%.%signature%%surface%.%color%.%dotversion%.%extension%
```

ファイル名は次のようになります。

Impo_8pg_.Vancouver.1A.K.1.pdf （30 文字）

ただしこの名前では、色版がトロントとモントリオールのバージョンにも適用されることにはなりません。

バージョン名を短くした場合

バージョン名として「**Va**」、「**To**」、「**Mn**」、および「**Ca**」を使用する場合、面付け色版の出力ファイル名は次のようになります。

Impo_8pg_.Va_To_Mt.1A.K.1.pdf （29 文字）

ここで、この出力ファイル名はそれが適用されるバージョンすべてを指しています。

注意： バージョンの名前を変更する場合、既にリンク、生成されたバージョン ページをすべてもう一度生成してください。

LPV ジョブのインポートおよびエクスポート

Prinergy は LPV ジョブ全体のインポートとエクスポートをサポートしています。LPV ジョブの部分的なインポート／エクスポートはまだサポートされていません。



注意： LPV ジョブには下位互換がサポートされていません。3.0 より低いバージョンの Prinergy は LPV ジョブのバージョニング属性を読み込むことができないため、LPV ジョブのエクスポート中に［**下位互換エクスポートの作成**］チェック ボックスが選択された場合には、エラーが表示されません。

ハブ&スポークのワークフロー

ハブ&スポークのワークフローで、スポーク側（クライアント）に LPV のライセンスがない場合、LPV ジョブを出力できますが、変更することはできません。

スポーク側に LPV のライセンスおよび必要なソフトウェアがある場合、ハブと同じように LPV ジョブを変更することができます。詳細については、4 ページの「必要なソフトウェアとライセンス」を参照してください。

LPV ライセンスのないスポーク

ライセンスがない場合のスポークの機能について、次に示します。

実行できる	実行できない
• ジョブのインポート • 面付けのインポート • バージョン ページのページ セットへの割り当て／割り当ての解除 • プルーフおよびプレートの出力	• バージョン プランの表示または変更 • 関連付けられているページのリンク／リンク解除 • バージョン ページの生成
注意： スポークはライセンスなしにページをリファインしますが、この処理を実行すると、生成し直す必要が生じるバージョン ページが作成されます。スポーク側にライセンス「Regional Versioning」がない場合は生成を実行できないため、スポーク側でリファイン済みバージョン ページを出力することはできません。 スポークでバージョン ページが［生成が必要］ステータスになってしまった場合、スポークは LPV ジョブをインポートし直し、生成ステータスが［生成が必要］に変更されることを避ける必要があります。	

スポークにライセンスがない場合は、以下のいずれかの方法で LPV ジョブをスポークに送信します。

- **エクスポートされた LPV ジョブの送信** — ジョブのエクスポートにかかる時間は、面付けされたベクター ファイルの出力よりも一般的に短くなります。
- **面付けされたベクター出力の送信** — 一般的に、面付けされたベクター出力ファイルはサイズが大きくなり、エクスポートされたジョブよりも出力に時間がかかります。

5

LPV ジョブの自動化

はじめに 90
リファイン済みページを自動的にリンクする.....91
バージョン ページをページ セットへ自動的に割り当てる.....102
ルール ベースの自動処理を使用する 102

はじめに

この章では、前章の 25 ページの「LPV ジョブの設定」を既に読み終わっていることを想定しています。この章を読む前に、前章を読んで主な情報を理解しておく必要があります。

この章では、自動化が可能なレイヤー PDF バージョニング (LPV) タスクについて説明します。次に示す方法で LPV ジョブを自動化できます。

- テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成します。詳細については、29 ページの「テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成する」を参照してください。
- リファイン済みページをバージョン ページへ自動的にリンクします。詳細については、91 ページの「リファイン済みページを自動的にリンクする」を参照してください。
- バージョン ページをページ セットへ自動的に割り当てます。詳細については、102 ページの「バージョン ページをページ セットへ自動的に割り当てる」を参照してください。
- ルール ベースの自動処理を使用し、自動的にバージョン ページを生成します。詳細については、102 ページの「ルール ベースの自動処理を使用する」を参照してください。

リファイン済みページを自動的にリンクする

Prinergy LPV では、リファイン済みページに一貫したファイル名パターンがある場合に、リファイン済みページをバージョン ページへ自動的にリンクできます。レイヤーそれぞれにページ名パターンを定義して、入力ファイルでリファイン プロセスを開始できます。Prinergy はページをリファインし、バージョン ページに自動的にリンクします。さらに Prinergy は、バージョン ページがまだ存在しない場合にバージョン ページを自動的に作成します。

リファイン済みページの一貫した名前

リファイン済みページ名が一貫していない場合、スマート ホット フォルダを使用してリファイン済みページの名前を変更し、ページ名に一貫性を持たせることができます。



スマート ホット フォルダの使用の詳細については、Prinergy Workshop **オンライン ヘルプを参照してください。**

リファイン済みページを自動的にリンクするために必要な基本タスク

リファイン済みページを自動的にリンクするために必要な基本タスクを次に示します。

- **ページ名パターンの定義** — 各レイヤーにリファイン済みページ名を一致させるページ名パターンを定義します。ページ名パターンの定義方法の詳細については、93 ページの「ページ名パターン」を参照してください。
- **バージョン ページの作成** — バージョンプランでページ名パターンを設定した後で、リファイン プロセス テンプレートの［**バージョン ページの作成**］チェック ボックスを使用してファイルをリファインします。このチェック ボックスをオンにすると、ページ名パターンを使用してリファイン済みページをバージョン ページにリンクし、必要に応じてバージョン ページを作成することができます。段階的な手順については、100 ページを参照してください。

自動リンクを使用する LPV ジョブで入力ファイルをリファインすると、Prinergy は次の処理を実行します。

- リファイン済みページを、すべて最初のレイヤーのページ名パターンと比較します。
- ワイルド カードの値に基づいて、パターンに一致するリファイン済みページごとにバージョン ページを作成します（まだ作成していない場合）。バージョン ページに名前を付ける方法については、41 ページの「バージョン ページの名前」を参照してください。
- リファイン済みページを、それぞれ対応するバージョン ページのレイヤーにリンクします。
- 残りのレイヤーに対して前述の手順を繰り返します。

ページ名パターン

自動リンクの結果が予期したとおりになるように、ページ名パターンを注意深く構成します。ページ名パターンを定義した後で、リファイン済みページがバージョン ページに適切にリンクされていることを確認します。

ページ名パターンについて

ページ名パターンは、リファイン済みページ名をレイヤーに一致させるための文字セットです。リファインされた各ページごとに異なる文字と一致させるためにワイルド カードが使用されます。



重要： ページ名パターンを使用してリファイン済みページ名をマッチングします。マッチングの対象は入力ファイル名ではありません。たとえば単ページ入力ファイル RC_English.pdf は、リファインした後で RC_English.p1.pdf になります。

ワイルド カード

次のワイルド カードがサポートされています。

- **#** — 数字に一致
- **%** — 文字に一致
- **$** — 文字または数字に一致

ワイルド カードの規則

- ワイルド カードは、角括弧で囲む必要があります。たとえば [#] のようにします。
- 1 つのページ名パターンで 1 つまたは複数のワイルド カードを使用できます。



重要： パターン マッチングするワイルド カードは APA（自動ページ割り当て）で使用されるワイルド カードとよく似ていますが、Prinergy の APA エディタを使用して LPV 用のパターン マッチング式を作成することはできません。バージョン プランを使用する必要があります。

ページ名パターンのエラー

リファイン済みページがページ名パターンに一致しない場合でも、リファイン プロセスが完了し、リファイン済みページは［ページ］表示に追加されます。ただしバージョン ページは作成されず、リファイン済みページはリンクされません。

自動リンクのプロセスが失敗した後で、次の手順のいずれかを実行してリファイン済みページをリンクします。

- **ページ名パターンの修正** — 対応するページ名パターンを修正した後で、最小限のリファインをもう一度実行して自動リンクを適用します。リファイン プロセス テンプレートで［**バージョン ページの作成**］チェック ボックス（［ノーマライズ］セクション）がオンになっていることを確認します。
- **リファイン済みページをバージョン ページに手動でリンク** — 詳細については、43 ページの「リファイン済みページをリンクする」を参照してください。

自動作成されたバージョン ページの名前

ページ名パターンを後方参照なしに使用すると、自動作成されたバージョン ページの名前には ‘VP' プレフィックスが付けられます。たとえば、バージョン ページの 1 ページ目は `VP_1.pdf` という名前になります。

後方参照を使用する場合、バージョン ページ名のプレフィックスを定義できます。詳細については、97 ページの「後方参照を使用する」を参照してください。

ページ名パターンの例

次の例に、さまざまなページ名パターンの結果を示します。

単ページ入力ファイルの例 1: 正しい

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	バージョン ページへのリンク
1_RC_Eng.p1.pdf	[#]_RC_Eng.p1.pdf	VP_1.pdf
3_RC_Eng.p1.pdf		VP_3.pdf
5_RC_Eng.p1.pdf		VP_5.pdf

単一のページ入力ファイルの例 2: 正しくない

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	バージョン ページへのリンク
1_RC_Eng.p1.pdf	1_RC_Eng.p[#].pdf	VP_1.pdf
3_RC_Eng.p1.pdf		リファイン済みページの名前がパターンに一致しないため、バージョン ページはこれらのページ（3_RC_Eng.p1.pdf および 5_RC_Eng.p1.pdf）には作成されません。
5_RC_Eng.p1.pdf		

マルチページ入力ファイルの例 1: 正しい

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	バージョン ページへのリンク
1-3_RC_Eng.p1.pdf	1-3_RC_Eng.p[#].pdf	VP_1.pdf
1-3_RC_Eng.p2.pdf		VP_2.pdf
1-3_RC_Eng.p3.pdf		VP_3.pdf

マルチページ入力ファイルの例 2: 正しくない

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	バージョン ページへのリンク
1-3_RC_Eng.p1.pdf	[#]_RC_Eng.p1.pdf	リファイン済みページの名前がパターンに一致しないため、バージョン ページは作成されません。[#] タグはハイフンを認識できないためです。
1-3_RC_Eng.p2.pdf		
1-3_RC_Eng.p3.pdf		

マルチページ入力ファイルの例 3: 正しくない

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	バージョン ページへのリンク
1-3_RC_Eng.p1.pdf	[$]_RC_Eng.p1.pdf	バージョン ページ名の数字部分に整数が入らないため、バージョン ページは作成されません。つまり、VP_1-3.pdf は有効な名前ではありません。
1-3_RC_Eng.p2.pdf		
1-3_RC_Eng.p3.pdf		

ワイルド カード値の埋め込み数字

001 などの埋め込み数字をリファイン済みページの名前に使用する場合、埋め込み数字を読み込むパターン、および埋め込み数字により名前の付いたバージョン ページを指定できます。

[#:3] など、# 記号の後にコロンと数字が付いた埋め込み数字を指定します。



注意： リファイン済みページ名での指定の桁数よりも少ない場合、マッチングされません。指定よりも桁数の多い数字の付いたリファイン済みページは読み込まれますが、読み込まれるのは指定された桁数までです。詳細については、埋め込み数字の例 2：正しくないを参照してください。

埋め込み数字の例 1：正しい

リファイン済みページの名前	ページ名パターンの使用	バージョン ページへのリンク
MyFile_0001.p1.pdf	MyFile_**[#:4]**.p1.pdf	VP_0001.pdf
MyFile_0002.p1.pdf		VP_0002.pdf
MyFile_0003.p1.pdf		VP_0003.pdf

埋め込み数字の例 2：正しくない

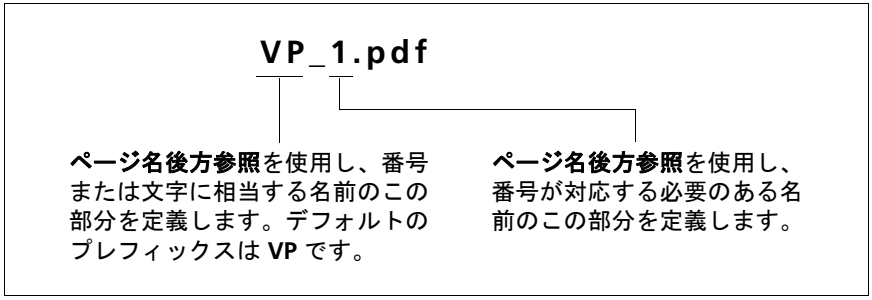
リファイン済みページの名前	ページ名パターンの使用	バージョン ページへのリンク
MyFile_**01**.p1.pdf	MyFile_**[#:4]**.p1.pdf	このリファイン済みページの名前にはページ番号を示す数字が4つないため、パターンにはマッチングしません。バージョン ページはこの時点で作成されません。
MyFile_0002.p1.pdf		VP_0002.pdf
MyFile_0003.p1.pdf		VP_0003.pdf
MyFile_**00011**.p1.pdf		VP_0001.pdf **重要**：パターンはページ番号の最初の 4 つの数字だけを読み込むため、このリファイン済みページは VP_0001.pdf バージョン ページにリンクされ、VP_00011.pdf にはリンクされません。

後方参照を使用する

後方参照はページ名パターンのオプションの要素です。後方参照はバージョン ページをリンクしたり、名前を付けるために役立ちます。後方参照には 2 種類あります。

- **ページ名後方参照** — これはバージョンの付いたページ プレフィックスに影響を与えます。この後方参照により、ページ名の一部を反映するバージョン ページ名プレフィックス**を設定できます。**詳細については、99 ページの「後方参照 1: ページ名後方参照（正しい）」を参照してください。
- **ページ番号後方参照** — これはバージョンの付いたページの番号に影響を与えます。この後方参照により、ページ名パターンの番号（[#]）に 2 つ以上のワイルド カードを使用できます。また、この後方参照では、バージョン ページ番号の定義を使用して関連付けるページ番号に加算または減算を使用できます。

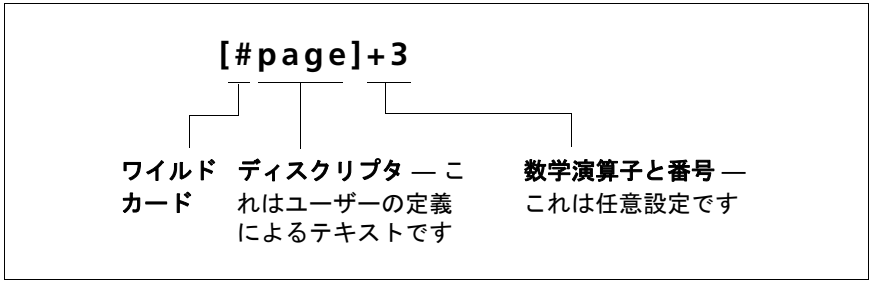
  リファイン済みページでパターンに 2 つ以上のセットの数があり、ページ番号後方参照を使用しない場合、Prinergy はバージョン ページ番号として最後の [#] ワイルド カードを使用します。詳細については、100 ページの「後方参照の例 3：後方参照なし（正しくない）」を参照してください。



重要： バージョン ページの名前がバージョンに固有でないようにします。たとえば、同じバージョン ページに割り当てる必要があるリファイン済みページには、English_1.pdf や French_1.pdf などのバージョン ページ名を付けないでください。

後方参照の構文

後方参照は、角括弧の内側にあるテキスト ディスクリプタが付いたワイルド カードです。該当する場合には、加算または減算して番号を変更できます。例を次に示します。



後方参照を作成するには、バージョン プランの適切な列に後方参照を入力します。たとえば、ページ番号の後方参照を作成するには、［**ページ番号後方参照**］列に後方参照を入力します。

必要に応じて、加算と減算の数学演算子を使用します。

次の表は、後方参照と作成されるバージョン ページ名の例です。

後方参照 1: ページ名後方参照（正しい）

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	ページ名後方参照	ページ番号後方参照	バージョンページへのリンク
1-3_RC_Eng.p1.pdf	[$range]_RC_Eng.p[#].pdf	[$range]	必須ではない	1-3_1.pdf
1-3_RC_Eng.p2.pdf				1-3_2.pdf
1-3_RC_Eng.p3.pdf				1-3_3.pdf
4-6_RC_Eng.p1.pdf				4-6_1.pdf
4-6_RC_Eng.p2.pdf				4-6_2.pdf
4-6_RC_Eng.p3.pdf				4-6_3.pdf

注意： Prinergy LPV はページ番号として [#] ワイルド カードを自動的に使用します。結果は次の例に示すようになります。

後方参照の例 2: ページ名とページ番号の後方参照（正しい）

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	ページ名後方参照	ページ番号後方参照	バージョンページへのリンク
RC_Eng1-3.p1.pdf	RC_Eng[$range].p[#page].pdf	[$range]	[#page]	1-3_1.pdf
RC_Eng1-3.p2.pdf				1-3_2.pdf
RC_Eng1-3.p3.pdf				1-3_3.pdf
RC_Eng4-6.p1.pdf				4-6_1.pdf
RC_Eng4-6.p2.pdf				4-6_2.pdf
RC_Eng4-6.p3.pdf				4-6_3.pdf

後方参照の例 3：後方参照なし（正しくない）

リファイン済みページの名前	ページ名パターン	ページ名後方参照	ページ番号後方参照	バージョンページへのリンク
1_1234.p1.pdf	[#]_[#].p1.pdf	必須ではない	必須ではない	VP_1234.pdf
2_5678.p1.pdf				VP_5678.pdf
3_5678.p1.pdf				システム メッセージ：**一部のバージョン ページは選択されたレイヤーに既にリンクしています。ページのリンク設定を行いますか？** レイヤーへのリンクを続行すると、新規のページ リンクが以前のリンクに上書きされます。

テンプレート ジョブのページ名パターン

他のジョブで使用できるページ名パターンを持つバージョン プランを作成すると、そのジョブは他のジョブのテンプレートとして使用することができます。詳細については、29 ページの「テンプレート ジョブから LPV ジョブを作成する」を参照してください。

リファイン済みページを設定してバージョン ページに自動リンクさせる

リファイン済みページがバージョン ページに自動的にリンクするように設定するには、次の手順を実行します。

1. LPV ジョブを作成します。詳細については、28 ページの「LPV ジョブを作成する」を参照してください。
2. 一貫したファイル名の入力ファイルを追加してリファインします。詳細については、33 ページの「入力ファイルを追加してリファインする」および 93 ページの「ページ名パターン」を参照してください。
3. バージョン プランを作成します。詳細については、35 ページの「バージョン プランを作成する」を参照してください。

ページ名パターンを定義する

4. ［**バージョン プラン**］表示の［**レイヤー**］領域で適切なボックスをダブルクリックし、レイヤーのページ名パターンを指定します。レイヤーのページ名パターンを入力します。ページ名パターンは 100 文字に制限されています。
5. 必要に応じて適切なボックスをダブルクリックし、レイヤーに対してページ名後方参照を入力します。レイヤーのページ名後方参照を入力します。ページ名後方参照は 100 文字に制限されています。
6. 必要に応じて適切なボックスをダブルクリックし、レイヤーに対してページ番号後方参照を入力します。レイヤーのページ番号後方参照を入力します。ページ番号後方参照は 50 文字に制限されています。
7. ［**OK**］をクリックします。
8. 残りのレイヤーに対して、手順 4 ～ 7 を繰り返します。

バージョン ページを作成する

9. ［**ページ**］表示をクリックします。
10. ［**ページ**］表示で入力ファイルをすべて選択し、［**プロセス**］メニューで［**プロセス ツール**］>［**リファイン**］の順に選択し、リファイン プロセス テンプレートにアクセスします。
11. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、［**プロセス テンプレートの編集**］をクリックします。
12. プロセス テンプレートで、［**ノーマライズ**］の横にある三角形をクリックし、セクションを開きます。
13. ［**ノーマライズ**］セクションで、［**バージョン ページの作成**］チェック ボックスをオンにし、［**OK**］をクリックします。
14. ［プロセスの開始］ダイアログ ボックスで、［**OK**］をクリックします。

    リファンされたページは関連付けられたバージョン ページに自動的にリンクされます。

バージョン ページをページ セットへ自動的に割り当てる

Advanced Production Automation (APA) を使用し、バージョン ページをページ セットに自動的に割り当てることができます。この方法は APA を使用して非バージョン ページを割り当てる方法と同じです。

APA を使用する方法の詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

ルール ベースの自動処理を使用する

ルール ベースの自動処理を使用し、ページがリファインされ、バージョン ページにリンクされた後で、バージョン ページを自動的に生成できます。ルールの例としては、次の図を参照してください。

ヒント： バージョン ページにページを自動的にリンクするように、リファイン プロセスを設定する必要があります。[**バージョン ページの作成**] チェック ボックスがリファイン プロセス テンプレートでオンになっていないと、生成プロセスでファイルを処理することができません。

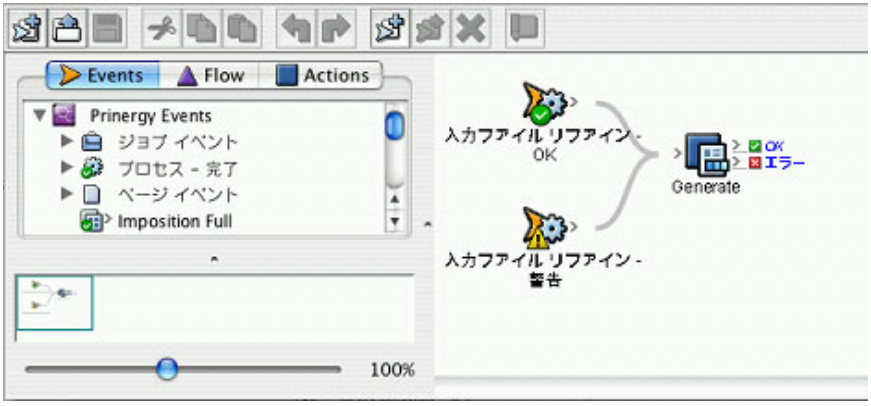


図 30：リファインの後で生成するためのルール

ルール ベースの自動処理を使用する詳細については、『Prinergy Rules-Based Automation User Guide（Prinergy ルール ベースの自動処理ユーザー ガイド)』を参照してください。

A

入力ファイル モデルの動作と構造

入力ファイル モデルの動作と構造.....104

入力ファイル モデルの動作と構造

この付録では、入力ファイルの各モデルにおいて、リファイン済みページをリンクするシナリオの詳細について説明します。このガイドで例として使用しているショップ カタログを使用し、リファイン済みページをバージョン ページにリンクする方法を示します。段階的な手順の詳細については、43 ページの「リファイン済みページをリンクする」を参照してください。

モデル 1 のシナリオ

モデル 1 では、バージョン プランは次のとおりです。

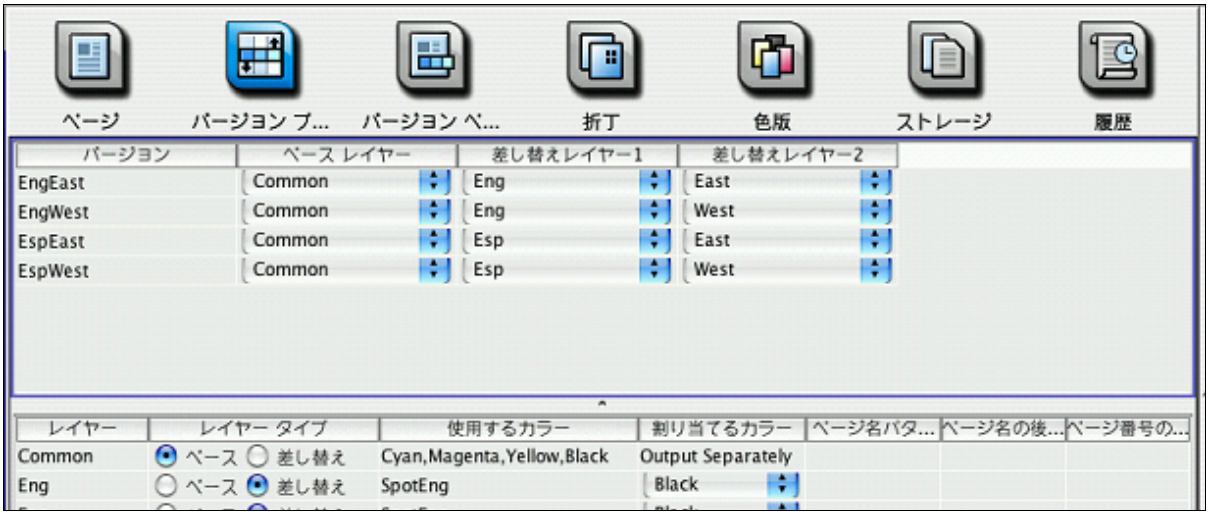
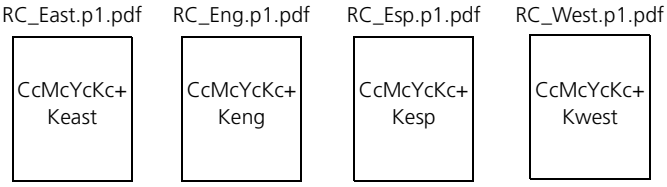


図 31：ショップ カタログのバージョン プラン

入力ファイル モデル 1 を使用した場合、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目に対するリファイン済みページは次のようになります。



モデル 1 でバージョン ページを作成する

最初に、リファイン済みページを共通レイヤーにリンクします。どのファイルもベース オブジェクトを含んでいるため、リファイン済みページのセットを 1 つ指定し（バージョン ページごとにリファイン済みページ 1 つ）、ベース オブジェクトを設定します。これにより、リファイン済みページが 2 つのレイヤーにリンクされます。このため、共通レイヤーへのリンクを設定したら、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックス閉じる前に、リファイン済みページを適切な差し替えレイヤーにもう一度リンクします。

残りのバージョン オブジェクトについては、レイヤーまたはバージョン ページ別にリファイン済みファイルをリンクできます。リンクした後にバージョン ページを生成すると、バージョン ページをプルーフする準備ができます。

次の図に、バージョン ページの 1 ページ目にリンクされる、リファイン済みページを示します。

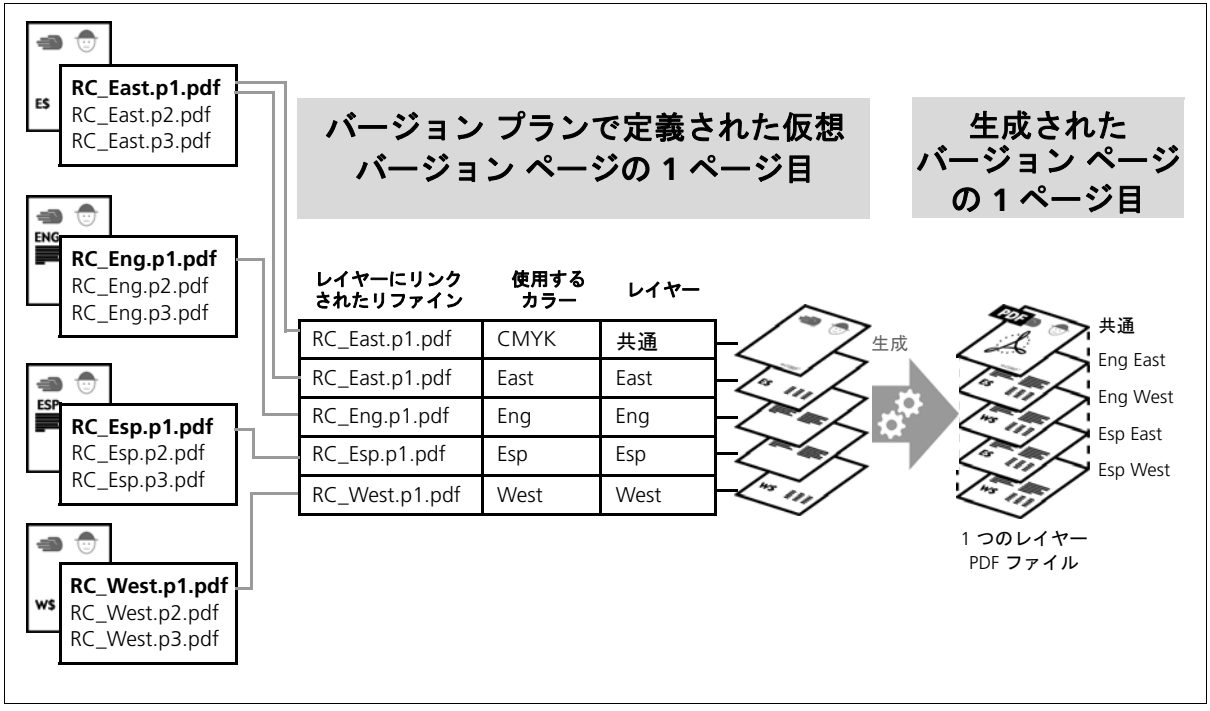


図 32：モデル 1 のリンク

モデル 2 のシナリオ

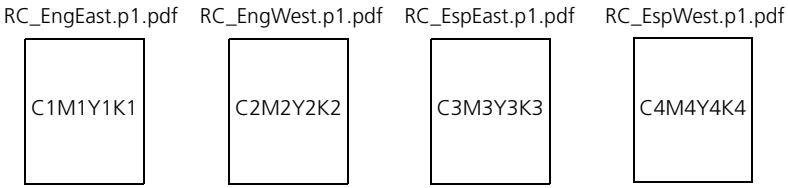
モデル 2 でのバージョン プランは次のとおりです。



図 33：モデル 2 のショップ カタログのバージョン プラン

この例では、すべてのファイルのブラック版に差し替えオブジェクトが含まれています。このため、バージョン プランのファイルはすべて、ブラック版を出力するように設定されています。

入力ファイル モデル 2 を使用した場合、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目に対するリファイン済みページは次のようになります。



モデル 2 でバージョン ページを作成する

最初に、リファイン済みページを共通レイヤーにリンクします。どのファイルもベース オブジェクトを含んでいる可能性があるため、リファイン済みページのセットを 1 つ指定し（バージョン ページごとにリファイン済みページ 1 つ）、ベース オブジェクトを設定します。これにより、リファイン済みページが 2 つのレイ

ヤーにリンクされます。このため、共通レイヤーへのリンクを設定したら、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックス閉じる前に、リファイン済みページを適切な差し替えレイヤーにもう一度リンクします。

残りのリファイン済みページについては、セットをそれぞれ適切なレイヤーにリンクします。リンクした後でバージョン ページを生成すると、バージョン ページをプルーフする準備ができます。

次の図に、バージョン ページの 1 ページ目にリンクされる、リファイン済みページを示します。

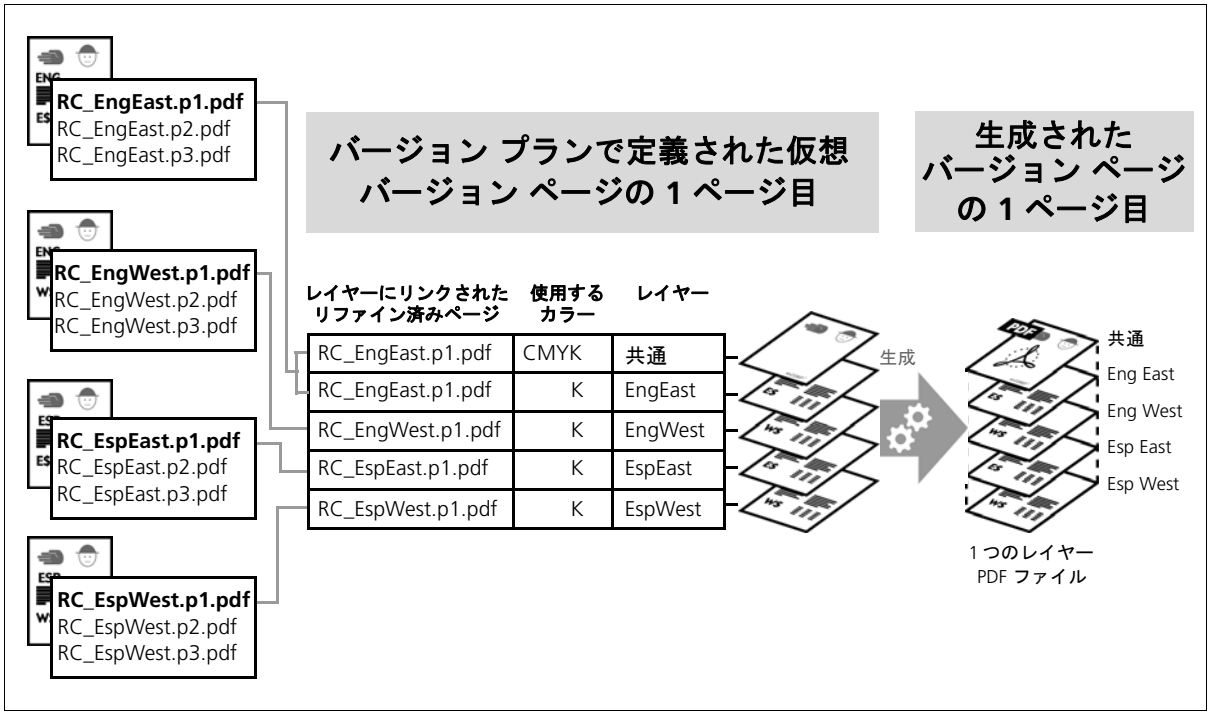


図 34：モデル 2 のリンク

モデル 3 のシナリオ

このモデル 3 の例では、バージョン プランはモデル 1 と同じです。詳細については、104 ページの図 31 を参照してください。

入力ファイル モデル 3 を使用した場合、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目に対するリファイン済みページは次のようになります。

RC_Alllayers.p1.pdf

CcMcYcKc+
Keast+
Keng+
Kesp+
Kwest

モデル 3 でバージョン ページを作成する

モデル 3 を使用した場合、バージョン ページのベース オブジェクトと差し替えオブジェクトはすべて 1 つのリファイン済みページに含まれます。このため、共通レイヤーを含めたすべてのレイヤーにリファイン済みページをリンクします。これは、リファイン済みページはすべてのレイヤーに関連付けられるためです。

レイヤーすべてに一度にリンクするには、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスで［他のすべてのレイヤー］オプションを選択し、リファイン済みページのセットをレイヤーすべてにリンクします。

次の図に、バージョン ページの 1 ページ目にリンクされるリファイン済みページを示します。

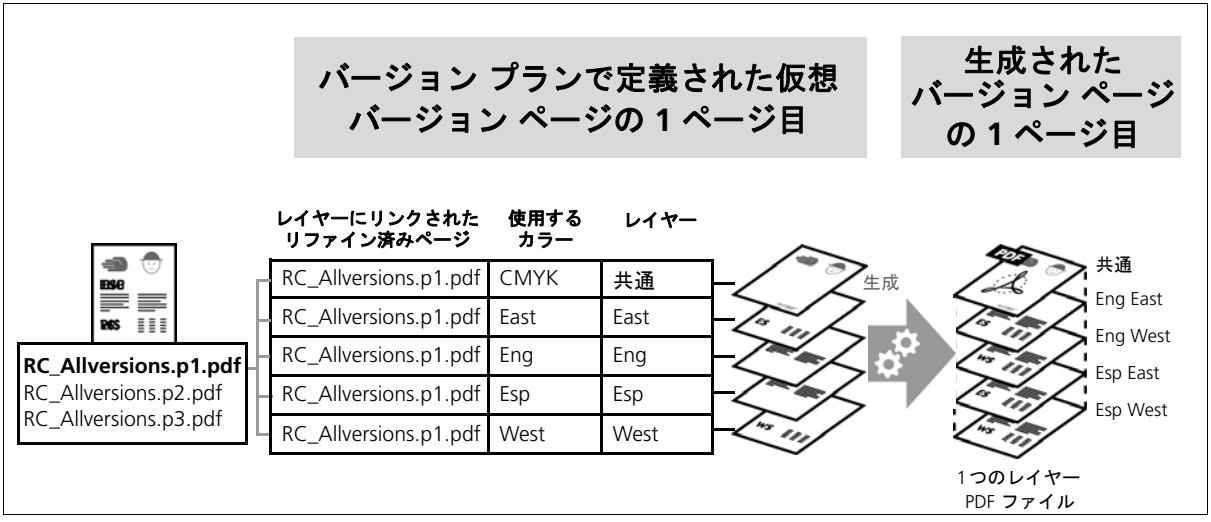
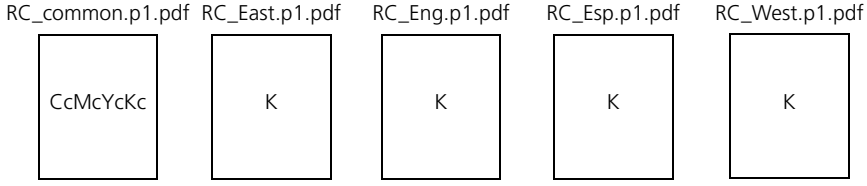


図 35：モデル 3 のリンク

モデル 4 のシナリオ

このモデル 4 の例では、バージョン プランはモデル 1 と同じです。詳細については、104 ページの図 31 を参照してください。

入力ファイル モデル 4 を使用した場合、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目に対するリファイン済みページは次のようになります。



モデル 4 でバージョン ページを作成する

必要なリファイン済みページをすべて適切なレイヤーにリンクします。レイヤーまたはバージョン ページごとに、リファイン済みファイルをリンクできます。リンクした後でバージョン ページを生成すると、バージョン ページをプルーフする準備ができます。

次の図に、バージョン ページの 1 ページ目にリンクされる、リファイン済みページを示します。

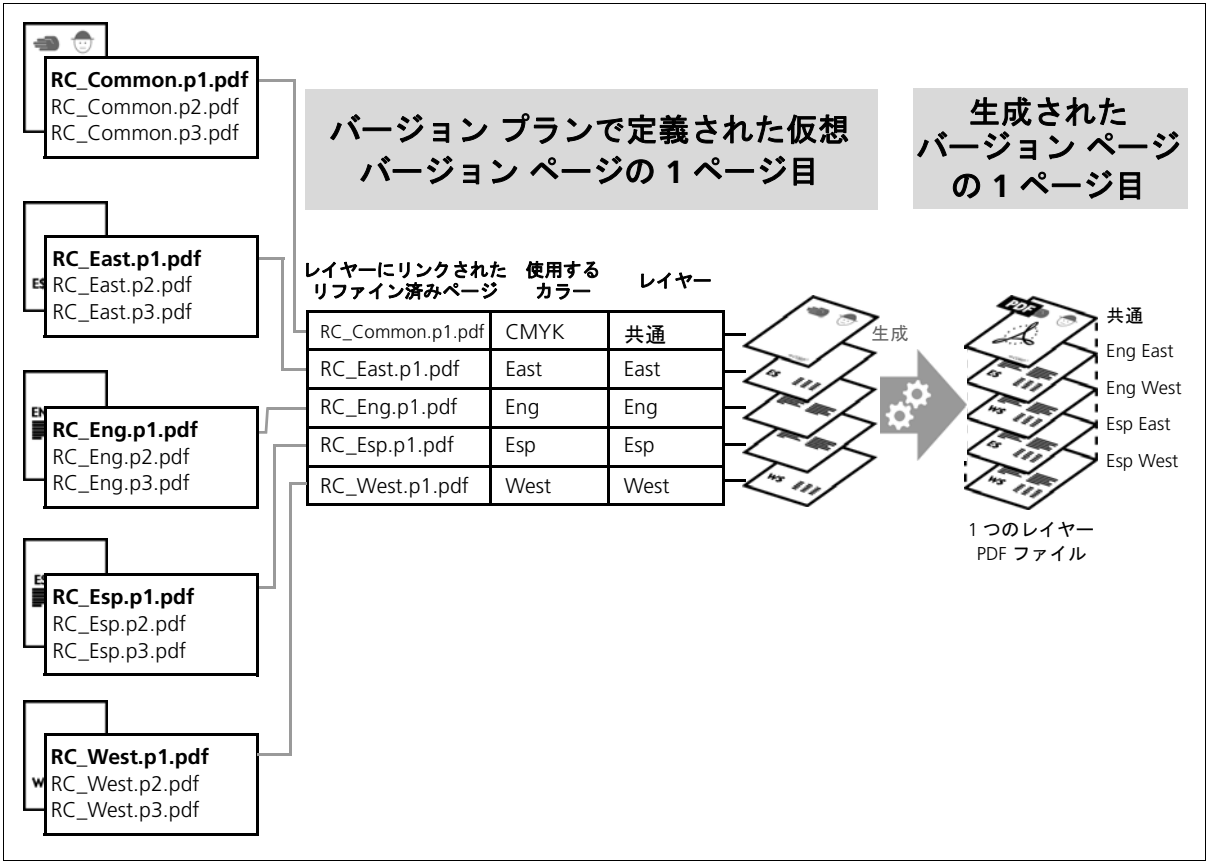
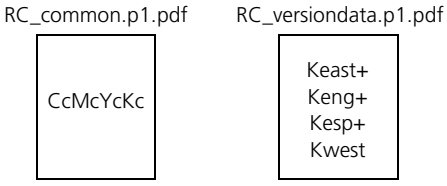


図 36：モデル 4 のリンク

モデル 5 のシナリオ

このモデル 5 の例では、バージョン プランはモデル 1 と同じです。詳細については、104 ページの図 31 を参照してください。

入力ファイル モデル 5 を使用した場合、ショップ カタログのバージョン ページの 1 ページ目に対するリファイン済みページは次のようになります。



モデル 5 でバージョン ページを作成する

必要なリファイン済みページをすべて適切なレイヤーにリンクします。レイヤーまたはバージョン ページごとに、リファイン済みファイルをリンクできます。リンクした後でバージョン ページを生成すると、バージョン ページをプルーフする準備ができます。



ヒント： リファイン済みページのリンク設定をより速く行うには、次の手順を実行します。

1. 差し替えオブジェクトを含んでいるリファイン済みページを選択し、［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスで［レイヤーへのリンク］ダイアログ ボックスで［**他のすべてのレイヤー**］オプションをオンにしてレイヤーすべてにリンクします。
2. 共通レイヤーでリファイン済みページをすべて選択し、リンクを解除します。
3. ベース オブジェクトを含むリファイン済みページを選択し、共通レイヤーにリンクします。

次の図に、バージョン ページの 1 ページ目にリンクされる、リファイン済みページを示します。

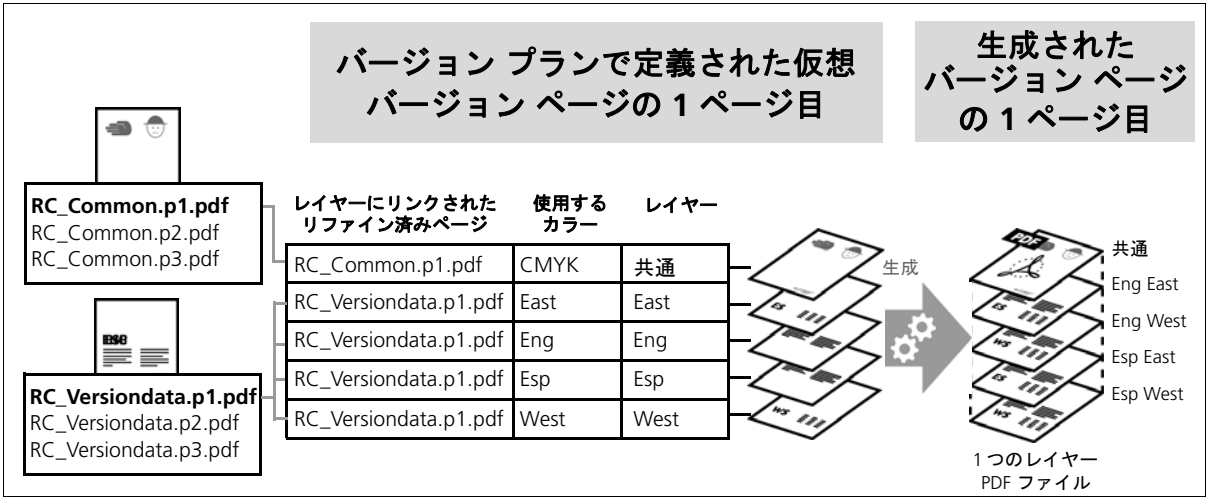


図 37 : モデル 5 のリンク

用語集

Adobe Acrobat	Adobe の PDF (Portable Document Format) で文書を作成、編集するためのデスクトップ ソフトウェア。
CT/LW	CT（連続階調）が LW（ライン ワーク）から分離したファイル形式。第 3 のファイル（レイアウト ファイルと呼ばれる）が使用され、ラインワークでの CT 画像の配置が指定されます。
Encapsulated PostScript (EPS) ファイル	EPS は PostScript 言語のサブセットです。EPS は他のドキュメントにインポートすることができるフォーマットで画像を記述します。
EPS ファイル	カプセル化した PostScript ファイル。EPS ファイルは PostScript 言語を使用してグラフィック画像を記述するために使用されます。
Job Ticket Processor (JTP)	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な特定のタスクを実行するソフトウェア。JTP は、Prinergy Administrator を使用して設定します。
JTP プール	Prinergy のワークフローの自動化を進めるためにグループ化された、1 つまたは複数の類似した JTP のグループ。JTP プールを使用することで、タスクが個々の JTP に自動的に振り分けられます。このため、どの JTP を使用するかを手動で調整する必要はありません。これは複数のジョブを同時に自動処理するために役立ちます。
PDF	Portable Document Format。PDF は、ラインアート、画像、およびテキスト（必要なフォントすべてを含む）を保存するための信頼できるファイル形式です。PDF ファイルには、イメージング解像度や面付けオプションなどのデバイス固有の設定は含まれません。
PJTF (Portable Job Ticket Format)	Adobe の Portable Job Ticket Format (PJTF) には、デバイス特有の設定の記述が含まれており、PDF ファイルからの 1 つまたは複数のページに対して該当する出力スタイルが記述されています。詳細については、「ジョブ チケット」も参照してください。
Portable Document Format	詳細については、「PDF」を参照してください。

PostScript	Adobe Systems が開発したページ記述言語。PostScript インタープリタを持つ装置で出力できるように、タイプやビジュアル エレメントを記述するために使用されます。
PostScript ファイル	PostScript ページ記述言語で作成され、ネイティブ アプリケーションで作成されたファイル。
Preps	Creo が開発した面付けソフトウェア。
Prinergy Administrator	(UADM.exe) Prinergy システム管理者のユーザー インターフェイスとなるソフトウェア。このソフトウェアを使用し、JTP の設定、サーバーの追加、削除、Prinergy Server の起動、停止、およびシステムのモニターを行います。このソフトウェアは Prinergy Server の一部としてインストールされており、プライマリおよびセカンダリのサーバーで実行されます。Windows 2000 でのみ使用可能です。
Prinergy Workshop	Prinergy システムのメイン インターフェイスとなるクライアント ソフトウェア。Prinergy Workshop から各ジョブのワークフローを管理できます。
Prinergy ワークステーション	Prinergy Workshop を実行しているコンピュータ。Prinergy Server コンポーネントは実行されません。クライアント コンピュータとも呼ばれます。 Prinergy ワークステーションとして使用できるのは Windows NT、Windows 2000、または Macintosh を OS としたコンピュータです。
RIP	Raster Image Processor。PostScript データをラスター（ビットマップ）データに変換するソフトウェア。 Prinergy の PDF ワークフローでのプロセスには、解釈とレンダリングの 2 つの段階があります。解釈は、入力ファイルが PDF にノーマライズされる時にリファイン プロセスの一部として実行されます。PDF ファイルをラスター データに変換するレンダリングは、出力プロセスの一部として実行されます。
Synapse® InSite	顧客が Prinergy 印刷ジョブのステータスの確認、ファイルの転送、インターネットでの PDF ファイルのリモートでのプルーフなどを実行できる、Web ベースのソフトウェア。lnSite は Prinergy Connect、Prinergy Powerpack、および iMPAct 用の Prinergy Satellite の追加オプションとなっています。
Workshop	詳細については、「Prinergy Workshop」を参照してください。

あらかじめ分版された PostScript または PDF ファイル

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、およびスポット カラーに分版するカラー情報が記述されている単一の PostScript または PDF ファイル。色版情報は単一の PostScript ファイルにコードで記述され、PostScript ファイルはカラーごとに分割されていません。あらかじめ分版された PostScript ファイルは一般的に QuarkXPress など、デスクトップ パブリッシング ソフトウェアによって作成されます。詳細については、「コンポジット PostScript または PDF ファイル」および「分版 PostScript または PDF ファイル」も参照してください。

オプションのソフトウェア

たとえば Prinergy バックアップ ソフトウェアなど、オプションであるか、Prinergy システムと一緒に同梱されているソフトウェア。詳細については、「標準ソフトウェア」も参照してください。

カラー マッチングする

1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合、たとえば、RGB から CMYK に変換する場合に、カラーの整合性を保持すること。Prinergy は ICC プロファイルを使用し、デバイス独立型（デバイスに依存しない）カラー スペースである L*a*b に変換します。ICC ターゲットは、ファイルの出力準備ができている場合に、デバイス スペースに変換するために使用されます。これにより、カラー モデルと出力デバイス間でカラーの整合性が保持されます。

コンポジット PostScript または PDF ファイル

色版へ分解されない、単一の PostScript または PDF ファイル。つまり、カラー情報はシアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、およびスポット カラーに色分解されません。コンポジット PostScript ファイルはデスクトップ パブリッシングと面付けソフトウェアによって作成されます。詳細については、「あらかじめ分版された PostScript または PDF ファイル」と「分版 PostScript または PDF ファイル」も参照してください。

サーバー（ソフトウェア）

Prinergy などのクライアント／サーバー アーキテクチャーにおいて、サーバー ソフトウェアは、クライアント ソフトウェア（Prinergy クライアントなど）から送られた要求を実行し、関連した情報をクライアント ソフトウェア（Prinergy Workshop など）に送ります。

サーバー（ハードウェア）

詳細については、「サーバー マシン」を参照してください。

差し替えオブジェクト
バージョンに固有のオブジェクト。
たとえば出版物に共通の画像があり、あるバリエーションには英語のテキストが、別のバリエーションにはスペイン語のテキストが付いている場合、差し替えオブジェクトは英語のテキストとスペイン語のテキストになります。
複数のエディションがあるジョブでは、差し替えオブジェクトはバージョンや版、またはその両方に固有のオブジェクトとなります。

差し替えレイヤー
差し替えオブジェクトを含むレイヤー。

サムネイル
Prinergy Workshop で表示されるページまたは折丁の低解像度サンプル画像。

ジョブ
出力するファイルを整理するために使用される単位。通常、ジョブは特定の出版のコンポーネントすべてに対応しますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy によってジョブ フォルダと、ジョブを追跡するためのエントリがデータベースに作成されます。

ジョブ サーバー
ジョブ フォルダが保存されている Prinergy サーバー。詳細については、「ホーム サーバー」も参照してください。

ジョブ フォルダ
ジョブのためのシステム ファイルをすべて保存する、Prinergy サーバー上のフォルダ（またはディレクトリ）。ジョブ フォルダには顧客からの入力ファイルが入っている場合があります。ジョブ フォルダはサーバーのディレクトリに保存されており、ジョブ情報を整理するために複数のサブフォルダを含む場合があります。

スナップイン コラム
関連したプロセスが発生した後にだけリストに表示される列。

ソフトウェア プロセス (Prinergy)
特定のタスクを実行する Prinergy Server ソフトウェアのコンポーネント。Prinergy Administrator の［Processes］ウィンドウで Prinergy プロセスのステータスを監視できます。ソフトウェア プロセスには、デーモン、JTP、および Araxi サービスなどがあります。

単ページ プルーフ
リファイン済みページの、プルーフィング デバイス（例、レーザー プリンタやカラー コピーなど）への出力、または Virtual Proofing System (VPS) ソフトウェアへの出力。

トラップする

隣接した印刷カラーを少し重ねて、空白がカラーの間に表示されないようにします。トラップの設定は、ファイルを作成した元のアプリケーション、またはリファイン プロセス テンプレートで指定できます。

入力ファイル

ページ内容を含むファイル。たとえば、QuarkXPress ファイルなどの顧客のソース ファイルを PostScript ファイルに出力することによって作成されるファイル。

ノーマライズ

入力ファイルから PDF ファイルを作成するリファイン プロセスにおける処理。作成された PDF ファイルには、リファイン済みページが含まれます。ノーマライズ処理におけるオプションには、OPI、画像最適化、フォント処理があります。

ハブ&スポーク

ハブ&スポークのワークフローが発生するのは、ある Prinergy システムがページと面付けを準備し、別の Prinergy システムによるインポート、印刷のためにジョブまたはページをエクスポートする場合です。ジョブをエクスポートする Prinergy システムはハブであり、ジョブをインポート、印刷する Prinergy システムはスポークです。この構成は複数のサイトで出力を行う場合によく使用されます。

バージョニング

出版物の複数のバージョンを作成する機能。

バージョニングは店名差し替えとも呼ばれます。

バージョン

同じ出版における別のバリエーションと一部のオブジェクトが共通しており、一部のオブジェクトが固有となっている出版のバリエーション。バージョンは、選択されたレイヤーが正しい順序で重ねられたページです。

たとえば共通した画像を持つ出版物で、あるバリエーションが英語のテキスト、別のバリエーションがスペイン語のテキストになっている場合、それぞれ英語バージョン、スペイン語バージョンと呼ばれます。

詳細については、「バージョニング」を参照してください。

バージョン プラン

バージョン プランはバージョンとレイヤーのリストから成り立ちます。1 つのジョブに作成できるバージョンは 1 つのみで、バージョン プランに関連付けることができるジョブは 1 つです。

バージョン ページ それぞれのバージョンに必要なレイヤーを含む、1 ページのバージョンはすべてを構成する、リファイン済みページを集めたもの。

版 版とはバージョンのセットであり、同じ出版の別のセットのバージョンとは異なるベース オブジェクトを持っています。基本的には、1 つのバージョン内にバージョンが複数ある場合にエディションと呼びます。各エディションには複数のバージョンが含まれます。

詳細については、「バージョニング」を参照してください。

標準ソフトウェア Prinergy での標準として、Prinergy システムの出荷時に搭載されているソフトウェア コンポーネント。これには Prinergy Server、Prinergy Workshop、および Adobe Acrobat が含まれます。詳細については、「オプションのソフトウェア」も参照してください。

ファイルの名前パターン リファイン済みファイルがこのパターンに一致した場合に、どのバージョン ページにそのファイルが配置されるを決定するパターン（APA 構文を使用）。

プリジョブ ジョブに似ていますが、複数のジョブで使用されているエレメントを保存、またはエクスポートされたジョブを処理するために使用されます。

たとえば、ある顧客用のプリジョブを作成し、その顧客がよく使用する画像をプリジョブに追加して、プリジョブに画像検索パスを設定できます。その顧客用の新規ジョブを作成する際に、画像パスをプリジョブから新規ジョブにコピーすると、新規ジョブでプリジョブの画像を使用できます。このように、Prinergy システムへの画像の追加は一度だけの実行です。また、その画像は何度も使用することが可能です。

エクスポートされたジョブを処理するには、プリジョブを作成し、ホット フォルダをプリジョブに設定します。エクスポートされたジョブをプリジョブ ホット フォルダにドロップすると、Prinergy はエクスポートされたジョブから新規ジョブを自動的に作成します。

プルーフ カラー変換 差し替えレイヤーでのプルーフで必要となる出力カラー変換。

プレート カラー変換 差し替えレイヤーでの最終出力で必要となる出力カラー変換。

プロセス テンプレート

タスクの実行方法を Prinergy に知らせる、オプションと設定が含まれるファイル。設定はあらかじめ定義されているため、プロセス テンプレートを使用すると一貫した結果を得ることができます。プロセス テンプレートは、プロセス テンプレート エディタを使用して作成します。

プロセス テンプレート エディタ

プロセス テンプレートを作成、修正、および管理するためのツール。プロセス テンプレート エディタは、Prinergy Workshop のジョブ ファインダとジョブ マネージャーの［**ツール**］メニューから使用できます。

分版 PostScript または PDF ファイル

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、およびスポット カラーに分版するカラー情報が記述されている PostScript または PDF ファイル。分版 PostScript ファイルは通常、Preps などの面付けソフトウェアによって作成されます。詳細については、「コンポジット PostScript または PDF ファイル」または「あらかじめ分版された PostScript または PDF ファイル」も参照してください。

ベース オブジェクト

すべてのバージョンで同じ（共通の）オブジェクト

たとえば、2 つのバージョンの出版で同じ画像がある場合、ベース オブジェクトは共通の画像になります。

複数のエディションがあるジョブでは、それぞれのバージョンで異なるセットのベース オブジェクトを持つこともできます。

ベース レイヤー

ベース オブジェクトを含むレイヤー。

ホット フォルダ

自動処理を起動する受信ファイルがモニターされているファイル。ファイルを処理するアプリケーションが定期的にフォルダの場所を確認し、検索されたファイルを自動的に処理します。

メディア

紙やフィルムなど、ハード コピーを作成するために使用される資材、またはテープなど、情報をバックアップまたはアーカイブするために使用されるオブジェクト。

面付け

印刷された用紙が折り込まれた後でページの順序が適切になるように、印刷用紙の表面と裏面にページを配置する方法。

リファイン済みページ

システムが入力ファイルをリファインすると、入力ファイルの各ページごとに PDF ファイルが作成されます。作成された PDF ファイルはリファイン済みページと呼ばれる場合があります。

レイヤー ページを構成する複数のオブジェクトを含む層。ページのレイヤーはそれぞれ、そのページの他のレイヤーと同じページ仕様となっていますが、オブジェクトは異なっています。ページには通常 2 つ以上のレイヤーが含まれます。

ワークステーション 詳細については、「Prinergy Workstation」を参照してください。

索引

記号

#, 93
$, 93
%, 93

A

Acrobat, 6, 65
Adobe Acrobat
　「Acrobat」を参照
Adobe Illustrator, 64
AFP, 35, 85
APA, 67, 102
Apple Filing Protocol
　「AFP」を参照

B

BaseLayer 可変マーク , 82

C

CcMcYcKc、定義された , 20
Creo Proofing System ソフトウェア, 5

K

Kspot、定義された , 20

L

LPV
　概要 , 5
　可変マーク , 82
　機能 , 5
　ジョブ、作成 , 29
　利点 , 5

M

Macintosh AFP
　「AFP」を参照

P

PDF 入力ファイル , 19
PDF ベクター ファイル , 78
PDF レイヤー , 15, 16, 65
PDF レイヤーの表示 , 65
［PDF レイヤーを保持］チェック ボックス , 78
PostScript 入力ファイル , 19
Preps ソフトウェア , 67
Prinergy PDF Compare, 63
Prinergy の指定による出力ファイル名 , 84
Prinergy リリース , 4
Prinergy リリース、以前 , 87

Q

QuarkXPress, 64

S

SeparationVersion, 85
　可変マーク , 82
　ファイル名タグ , 84
　ファイル名のコンポーネント, 86
SeparationVersionCommon 可変マーク , 83
SeparationVersionNoCommon 可変マーク , 83
SeparationVersionUnique 可変マーク , 83
SeparationVersion タグを最小限の長さに抑える , 86
SeparationVersion ファイル名のコンポーネント , 85
Subpage ディレクトリ , 54
SurfaceVersion 可変マーク , 82

V

Virtual Proofing System ソフトウェア , 79
VP プレフィックス , 94

Z

Z オーダー , 63

あ

表示 , 61, 60
新しい Prinergy タスク , 10
新しいユーザー インターフェイス , 29
［網パーセントの相違］ボックス , 57
アンダーライン , 41

い

［以下の名前を付けてジョブを新規作成］ボックス , 28
位置 , 63

う

埋め込み数字 , 96

え

エラー
　複数 , 62
　ページ名、パターン , 93
エラーレイヤー , 35, 54, 57, 63
［エラー レイヤーの名前］ボックス , 57
エレメント、テンプレートからの , 30

お

オーバープリント , 56
［オーバープリントに設定］チェック ボックス , 56
［オブジェクト位置の相違］ボックス , 57
オブジェクトの違い , 57
オブジェクトのマッチング , 54, 62, 63
オブジェクト比較時の許容値 , 57
［オフセット］列 , 61

か

下位互換性 , 87
概要、手順 , 26, 27

角括弧 , 93
加算 , 98
カスタムのファイル名 , 85
括弧、角 , 93
カテゴリ 1、入力ファイル モデル , 20
カテゴリ 2、入力ファイル モデル , 20
可変マーク , 82
カラー , 54, 63
　必要条件 , 35
　必要な情報 , 11
カラー マッチング , 33
カラー名 , 38
関連付けられた ICC プロファイル , 63

き

［既存のページ セットを使用］オプション , 67
基本的な操作、概要 , 26, 27
［共通オブジェクトの違いを無視］チェック ボックス , 57
共通でない色版 , 83
共通の色版 , 83
共通の色版、可変マーク , 83
許容値、オブジェクト比較時 , 57

く

クイック ビルダー
　概要 , 36
　制限 , 36
　手順 , 36
クリッピング パス , 63

け

［警告］オプション , 57
警告オプション、すべてのレイヤーがリンク済み , 57
［検索］ボックス , 44
減算 , 98

こ

構文
　後方参照 , 98
ダイアログ ボックス , 52
後方参照 , 97
　構文 , 98
　なしに , 94
［個別に出力］オプション , 38
個別のバージョン、出力 , 74
固有の色版、可変マーク , 83
コンテキスト メニュー, 26, 36, 38, 39, 48, 53, 72, 77
コンポジット入力ファイル , 19
コンポジット ページ , 82

さ

最終出力
　作成 , 80
　ファイル名 , 84
再生成 , 59, 86
最良の設定
　出力ファイル名 , 85
　生成ステータスの表示 , 59
　バージョン名 , 35
差し替えオブジェクト
　定義 , 8
　入力ファイルで , 20
差し替えレイヤー
　Acrobat で , 65
　指定する , 38
　定義 , 8
　列 , 39
［差し替えレイヤーの追加］メニュー オプション , 39

し

ジオメトリ , 59
自動処理
　概要 , 90
　生成 , 4, 102
　リンク , 4, 91, 100
　割り当て , 102
出力する版 , 80
［出力する版］列 , 38
出力する版、テンプレート ジョブから , 30
出力ファイル名
　Prinergy の指定による , 84
　カスタマイズ , 84
　最小限に押さえた例 , 86
　最良の設定 , 85
出力名
　色版 , 86
　単ページ プルーフ , 85
　面付けプルーフ , 85
出力、分版 , 15, 16
使用するカラー
　テンプレート ジョブから , 30
　列 , 38
［使用するカラーの選択］ダイアログ ボックス , 38
章の説明 , 2
色版 , 80
　共通 , 83
　共通でない , 83
　ファイル名 , 86
色版の出力 , 80
［色版］表示 , 80
ショップ カタログの例 , 10
ジョブ属性
　テンプレートから , 30
［ジョブ属性］チェック ボックス , 28
ジョブのインポート , 87
ジョブのエクスポート , 87
ジョブの例 , 10
［処理情報］ダイアログ ボックス , 62
［新規カラーの追加］ダイアログ ボックス , 38

す

数学演算子 , 98
数字
　埋め込み , 96, 97
　バージョン ページ , 97
数字、埋め込み , 96, 97
ステータス
　生成 , 59
ステータス バー、選択 , 44
すべてのバージョン、出力 , 74
［すべてのレイヤーのリンクを確認］リスト , 57
スポーク＆ハブ , 87
スポット カラー名 , 33
スマート ホット フォルダ , 31, 91

せ

生成
エラー , 63
概要 , 15, 54
警告 , 62
自動処理 , 102
ステータス アイコン , 61
手順 , 58
必要なステータス , 59
表示ステータス , 59
プロセス , 54
プロセス結果 , 59
プロセス テンプレート , 55, 56
列 , 60
生成エラーの修正 , 63
[生成が必要] ステータス , 60
[生成済み] ステータス , 60
[生成] メニュー オプション , 58
選択ステータス バー , 44

た

だいあろぐぼっくす], 52
代替ワークフロー , 34, 38
タイプ、入力ファイル , 19, 103
タグ、ファイル名 , 84
単ページ プルーフ
出力名 , 85
ファイル名 , 84

ち

違い、オブジェクト , 57

て

ディレクトリ、Subpage, 54
手作業、バージョン プランの作成 , 36
手順
概要 , 26, 27
関連付けられているページの修正 , 64
生成 , 58
バージョン プランの作成、クイック ビルダー , 36
リンク , 50, 51
リンク解除 , 53
テンプレート ジョブ
LPV ジョブ属性 , 29
ページ名パターン , 100

と

透明のオブジェクト , 56
[特殊な TIFF タグ] チェック ボックス , 79
ドラッグ&ドロップによるリンク , 47
トラッピング , 33
[トリミング サイズ] 列 , 61
トリミング ボックス、最良の設定 , 33

な

名前
カラー , 38
出力 , 84
スポット カラー , 33
バージョン , 35
バージョン ページ , 41, 94
パターン , 93
レイヤー , 38

に

二重焼き , 5, 56
入力ファイル
準備できていない , 34
タイプ , 19
追加してリファイン , 33
名前 , 93
必要条件 , 19, 103
モデル、「モデル」を参照 , 54
[入力ファイルによるグループ化] ボタン , 61

の

ノックアウトの修正 , 56
ノックアウト、修正 , 56

は

[バージョニング] メニューでのリンク指定 , 48
バージョン
削除 , 39
追加 , 38
定義 , 8
テンプレート ジョブから , 30
名前、最良の設定 , 35
レイヤーの適用 , 39
列 , 38
アイコン
生成ステータス、, 61
[バージョン数] ボックス , 37
バージョン差し替えレイヤー , 65
[バージョンの削除] メニュー オプション , 40
バージョン プラン
クイック ビルダー , 36
作成 , 10, 35, 36
定義 , 10
必要条件 , 35
変更 , 59
例 , 12
レイヤー , 15, 16
[バージョン プラン] 表示 , 101
バージョン ページ , 67
仮想 , 15, 54
数字 , 52, 97
追加 , 41
定義 , 9
名前 , 41, 94
プレフィックス , 97
[バージョン ページ ステータス] 列 , 60, 61
[バージョン ページの作成] チェック ボックス , 91, 101, 102
[バージョン ページの追加] ダイアログ ボックス , 41, 42
[バージョン ページの追加] メニュー オプション , 42
[バージョン ページ] 表示、フィルタリング , 43
バージョン ページへのリンク
手順 , 50
[バージョン名] ボックス , 37
[バージョン レイヤーを重ねる] チェック ボックス , 75
パターン、ページ名 , 91, 93
ハブ&スポーク , 87
[範囲] ボックス、[バージョン ページの追加] ダイアログ ボックス , 42
[範囲] ボックス、[レイヤーへのリンク] ダイアログ ボックス , 52

版とレイヤーの違い , 15, 16
版の指定 , 80
版、定義 , 9

ひ

必要条件
　バージョン プラン , 35
必要な情報 , 11
表記上の規則 , 20
ひょうじ], 60, 61
表示項目、推奨される , 61
表示されないオブジェクト , 56

ふ

ファイル , 19
［ファイル形式］オプション , 78
［ファイル形式］セクション , 78, 79
ファイル タイプ , 19
ファイル名
　コンポーネント , 85
　最良の設定 , 33
　出力 , 84
　タグ , 84
　入力 , 93
フィルタリング、［バージョン ページ］表示 , 43
フォント , 63
複数の生成エラー , 62
複数のベース , 17, 23, 65
プリジョブ , 28
プルーフ , 79
　ファイル名 , 84
プレート出力 , 80
プレフィックス , 94, 97
［プレフィックス］ボックス , 42
プレフィックス、バージョン ページの名前 , 41, 42
プロセス テンプレート
　グループ名 , 60
　生成 , 55, 56
［プロセス テンプレートの編集］ボタン , 58
［プロセスの開始］ダイアログ ボックス , 58
プロダクション プラン , 10
分版された入力ファイル , 19
分版出力 , 15, 16

へ

アイコン
　生成ステータス、, 60
［ページ位置］列 , 60
［ページ カラー］列 , 61
ページ内容
　色版 , 80
　入力ファイルで , 20
　フローチャート , 16
　マージされた , 80
　レイヤーの , 15
ページ番号後方参照 , 97
［ページ番号の後方参照］ボックス , 39
［ページ］表示 , 59
ページ ファイル名のコンポーネント , 85
ページ名後方参照 , 97
［ページ名の後方参照］ボックス , 39
ページ名パターン
　エラー , 93
　使用 , 91
　テンプレート ジョブから , 30
　文字制限 , 101
［ページ名パターン］ボックス , 39
［ページ］列 , 60
ベース
　複数 , 65
ベース オブジェクト
　定義 , 8
　入力ファイルで , 20
ベース レイヤー , 66
　指定する , 38
　定義 , 8
　必要条件 , 35
　ボックス , 37
　列 , 39
ベース、複数 , 17, 23
ベクター PDF ファイル , 78

ほ

［他のすべてのレイヤー］オプション , 108

ま

マーク、可変 , 82
マージされたオブジェクト , 80
［マルチ ページ ドキュメント］オプション , 78

み

右クリック
　コンテキスト メニュー , 26, 36, 38, 39, 48, 53, 72, 77

む

［無視］オプション , 57
無視オプション、すべてのレイヤーがリンク済み , 57

め

［メディア サイズ］列 , 61
［面付けの新規作成］メニュー オプション , 67
面付けファイル名のコンポーネント , 85
面付けプルーフ
　出力名 , 85
　ファイル名 , 84

も

モデル、入力ファイル
　概要 , 20
　複数のベース , 23
　モデル 1, 21, 54, 57, 62, 104
　モデル 2, 21, 54, 57, 62, 106
　モデル 3, 21, 108
　モデル 4, 22, 109
　モデル 5, 22, 111
問題ファイル , 62

ゆ

ユーザー インターフェイス、新規 , 29

よ

用語と定義 , 8
用語の定義 , 8

り

リビジョンのファイル名タグ , 84
リファイン済みページ
　オブジェクトの抽出 , 54
　必要条件 , 33
　命名 , 91
　リンク , 13, 43, 104
　リンク解除 , 53
　リンクの自動処理 , 91, 100
リファイン済みページからのオブジェクトの抽出 , 54, 62
リファイン済みページをフィルタリング , 44
[履歴] 表示 , 62
リンク
　概要 , 13
　自動処理 , 91, 100
　シナリオ , 104
　図 , 14
　ツール , 43
　複数のバージョン ページ , 52
　変更 , 59
　方法 , 46
　リンク解除 , 53
リンク解除 , 53
[リンクなし] チェック ボックス , 44, 45
リンクの解除 , 39

る

ルール ベースの自動処理 , 4, 102

れ

例 , 10
レイヤー
　PDF, 15, 16, 65
　エラー , 35, 54
　削除 , 39
　差し替え , 38
　追加と定義 , 38
　定義 , 8
　テンプレート ジョブから , 30
　名前 , 38
　バージョン差し替え , 65
　バージョン プラン , 15, 16
　バージョンへの適用 , 39
　版との違い , 15, 16
　ベース , 35, 38, 65, 66
　列 , 38
レイヤー PDF バージョニング
　「LPV」を参照
レイヤー PDF ファイル , 15
[レイヤー タイプ] 列 , 38
[レイヤーの削除] メニュー オプション , 40
レイヤーのバージョンへの適用 , 39
レイヤーへのリンク
　手順 , 51
構文、, 52
[レイヤーへのリンク] ダイアログ ボックス , 52
[レイヤー間の混色] チェック ボックス , 56
レガシー バージョニング , 6, 30
レガシー バージョニングと LPV の違い , 6
列、推奨される , 61

わ

ワークフロー
　代替 , 38
ワークフロー、代替 , 34
ワイルド カード、ページ名パターン , 93
[割り当てによるグループ化] ボタン , 61
割り当てられていないカラー , 35

www.creo.com | creo™